

第八十二回
帝國議會
貴族院

戰時行政特例法案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十八年二月二十四日(水曜日)午前十時七分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員

會ヲ開キマス、本日企畫院總裁ガオイデニ
ナツテ居リマスカラ、企畫院總裁ニ御質問ノ
分ヲ先ニ願ヒマス

○伍堂卓雄君 企畫院總裁ニ御尋ネシマス、

先達テ資料ヲ要求致シマシタガ、書面デハ
答ヘルコトハ御困難ノヤウナ御言葉ガ法制
局長官カラゴザイマシタ、口頭デ御答ガ願
ヘレバ結構デアリマス、先達テ御尋ネシマ
シタヤウニ、軍需産業ニ付テ陸軍ノ管理ス
ル部分ノ全軍需産業ニ對スル割合ガデ宜
シイノデアリマス、ソレカラ海軍ノ管理ス
ル部分ノ全軍需産業ニ對スル割合、ソレカ
ラ次ニ五ツノ指定産業ニ付テ前同様、陸軍
ノ管理スル部分ノ五ツノ指定産業ノ全體ニ
對スル割合、同じク海軍ノ管理スル五ツノ
指定産業ニ付テノ全體ニ對スル割合ヲ承リ
タイ

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ

○伍堂卓雄君 法制局長官ノ説明ニ依リマ
スルト、職權特例第一項ニアリマス總理大
臣ノ關係各省大臣ニ對スル指示並ニ第二項
ノ職權委讓ハ軍機軍令ニ關スルモノヲ除ク
ト言ハレマシタガ、其ノ軍機軍令ニ關スル
モノヲ除クト云フ意味ヲモウ少シ具體的ニ
ドウ云フモノヲ除クト云フコトヲ御説明ヲ
願ヒタイ

○政府委員(森山銳一君) 只今ノ御質問、

チヨット外ノ方ノ用足シラシテ居リマシテ
能ク伺ハナカッタカラ、或ハ御質問ノ趣旨ヲ
聽キ違ヘテ居ルカモ分リマセヌガ、一應私
ノ理解シタ所デ御答ヘ申シマスガ、戰時行
政職權特例ノ第一條ニ該當スル内閣總理大
臣ノ關係各省大臣ニ對スル所ノ指示ハ、軍
令系統ノ仕事、即チ統帥ノ作用ニ對シテハ
指示ヲ行ハナイト云フコトニナルノデアリ
マス、而シテ統帥ノ作用ガ何デアリカト云
フコトヲ具體的ニ之ヲ説明スルコトニナリ
マスルト、チヨット今私トシテハ困難デアリ
マスガ、御存ジノヤウニ陸軍大臣ハ、一般
的ニハ是ハ軍政ノ機關デアリマシテ、普通ノ
行政官廳ト同ジデアリマスケレドモ、陸軍
大臣ハ一方ニ於テ統帥機關タル所ノ職掌モ
持ツテ居リマスカラ、其ノ陸軍大臣ノ統帥機
關タル面ニ對シテハ指示權ガ及バナイト云
フ趣旨デアリマス、海軍大臣ニ付テモ全ク
同様デアリマス、之ヲ尙モウ少シ細カク申
シマス陸軍大臣、海軍大臣ノ職掌ノ中
ニハ純然タル統帥ノ部分ハ、例ヘバ軍令
ノ公布、發布ト云フヤウナコトニ關スルモ
ノハ、是ハ純然タル統帥ノ面デアリマスガ、
ソレト對立シテ純然タル軍政ト云フモノハ
明確ニアル譯デアリマス、處デ此ノ中間デ
普通之ヲ混成事項トカ、混合事項ト云ッテ居
リマスガ、軍令事項デアリカ、軍政事項デ
アルカト云フコトガハッキリシナイ部面ガ
アルノデス、是ハ既ニ御存ジノヤウニ同ジ
ヤウナコトデアッテモ、例ヘバ學校ノ問題ニ

ナリマス云フト、海軍デハ軍政事項デ扱ッ
テ居ラレルガ、陸軍デハ軍令事項デ扱ッテ居
ラレルト云フコトデアリマス、結局制度ノ
上ニ於テ果シテ是ガ軍令事項デアリカ、
軍政事項デアリカト云フコトノ分ラナイモ
ノガ實際アルノデアリマス、混合、化合シ
タヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマス、サウ
云フモノガアルノデアリマスガ、サウ云フ
面ハ實際ニ於テ是ハ軍令事項、即チ統帥ノ
作用デアリカト云フ風ニ考ヘテ、其ノ面ニハ
指示權等ハ及バナイ、サウ云フヤウニ運用
シテ行クコトガ宜シイノデハナイカト思フ
ノデアリマス、ハッキリシタ記憶ヲ持ッテ居
リマセヌガ、總理大臣ハ衆議院ノ豫算總會
デアツカト思ヒマスガ、サウ云フ風ナ趣旨
ノコトヲ政府ノ答辯トシテセラレタヤウニ

角仕事ノ量トシマシテハ、相當大ナル部分
ヲ陸海軍ガ直接管理シテ居ラレルヤウニ考
ヘルノデゴザイマスガ、此ノ指示權ハ現在
陸海軍ガ各、管理シテ居ル工場ニドウ云フ
關係ヲ持チマスガ、ソレニ及ビマスガ、及
バナイカ、伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 私共ハ普通陸海

軍ノ管理工場ト申シテ居リマスノハ、總動
員法ノ發動ニ依リマシテ總動員法ノ規定ニ
依ル管理ヲ爲シテ居ルモノヲ申シテ居ルノ
デアリマスガ、其ノ總動員法ノ發動ニ依ッテ
陸海軍ガ管理シテ居リマス所ノ工場ニ對ス
ルコトハ、是ハ殆ド全部ト申上ゲテ宜イト
思ヒマスガ、是ハ軍政事項デアリマス、統
帥事項デアリマセヌ、從ヒマシテ此ノ陸
海軍ノ管理シテ居ラレル工場ニ關スル行政
ニ付キマシテハ、總理大臣ノ指示權ハ概ネ
及ブコト考ヘテ居リマス

○伍堂卓雄君 此ノ問題ニ付キマシテハ總

理大臣カラ直接御答ヲ戴クコトヲ保留シテ
置キマス、次ニ企畫院總裁ニ御伺ヒ致シタ
イノデアリマスガ、二月十二日ノ衆議院本
會議ニ於ケル豫算委員長ノ報告ノ中ニ、原
價計算制ニ付テ言及サレマシタガ、其ノ中
ニ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、「先ツ
原價計算制、勞務制度ニ付テハ政府ハ依然
原價計算制ヲ採ル旨ノ答辯デアリカ、全面
的ニ此ノ方針ガ續ケラル、限り遺憾ナガラ
生産増強ハ豫期ノ如ク行ハレナイデアラウ、
是カラ「ソ」聯ノ例ナドヲ舉ゲテ述ベテ居
レマスガ、ソレカラ「政府ハ此ノ原價計算

制ヲ一部廢止スル考ハナイカ、經理統制令
ヤ賃金統制令等ノ制約ヲ乘リ越エテ高能率
第一主義ヲ採用スルノ英斷ニ出デラレテハ
如何トノ問ニ對シ、鈴木企畫院總裁ハ、原
價計算ヲ全面的ニ持ッテ行クカドウカト云
フ問題、最高能率ヲ發揮スルヤウニ、是等
ノ各問題ヲ取扱フ點ニ付テハ篤ト研究シテ
參リ、御意見ノ如キ方法ニ進マムトシテ居
ル、但原價計算ヲ悉ク止メテシマフ譯ニハ
參ルマイトノ答辯デアリマシテ、雙方ノ意
見ハ殆ド接近シテ參リマシタ、何レ是ガ是
正ヲ見ルコトト存ジマス、國家ノ爲幸慶ノ
至リニ堪ヘマセヌ、斯ウ云フ報告ガアリマ
シタ、ソコデ新聞記事ハ之ヲ取上ゲマシテ
二月九日ノ中外商業、二月九日ノ夕刊ノ讀
賣新聞ハ「原價計算制ノ緩和」、此ノ内容ハ此
處ニ申上ゲマセヌガ、斯ウ云フ表題ヲ掲ゲ
マシテ、企畫院總裁ハ原價計算制ノ緩和ト
云フコトヲ言明サレテ居ル、又昨日ノ讀賣
新聞ガ繰返シテ此ノコトヲ取上ゲマシテ、
「戰力擴充ハ總進軍、議會成果」ト云フ表題ガ
アリマシテ、其ノ最後ノ締メ括リト致シマ
シテ「能率利潤ノ方策」トシテ、最後ニ物
價問題ニ一言觸レル、低物價政策ト生産基
本物資トノ關聯ガ相變ラズ論議ノ的トナッ
タガ、勿論基本物資ノ二重價格制ハ妥當ナ
モノデハナク、年々補償金ノ額ガ増加スル
傾向ハ喜バシイモノトハ言ヘナイ、出來レ
バ適正價格ニ振換ヘタイトハ、議員側ノ言フ
通りデアアル、併シ物價ノ安定感ト云フ絶對
的要請ノ前ニハ値上ハ絶對ニ避クベキデア
ルトスル政府側ノ意見モ亦尊重スベキデア
ラウ、ダガ執拗ニ繰返サレル物價問題ニ對
シテハ更ニ斷乎タル低物價政策ガ闡明サレ
ル要ガアル、此ノ時僅カニ鈴木企畫院總裁

ニ依ッテ「原價計算制ノ緩和、能率利潤ヘノ適
正ナル方策」ガ言明サレタノハ一收穫デアッ
タ、併シ此ノ場合トテ單一原價計算制ヲ執
ルカ、個別的な原價計算制ヲ執ルカハ企業ノ
實情ニ應ジテ實施サレルコトガ要望サレル、
斯クノ如ク原價計算制ノ緩和ト云フヤウニ
世間ニ響イテ居リマシテ、是ハ相當重大ナ
問題ダト考ヘマスルノデ、企畫院總裁カラ
モウ一應其ノ時ノ御答辯ノ眞相ヲ一ツ御話
シ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(鈴木貞一君) 此ノ問題ハ出發

ノ原點ガ物價問題ヲ中心シテ發展ヲシテ
參リマシテ、低物價政策ヲ堅持シナガラ
而モ他方生産ヲ高メル、斯ウ云フ事情カラ
シテ從來ノ原價計算制ト云フモノト物價問
題、價格問題ト云フモノヲドウ云フ關聯
以テ取扱フテ行クカト云フコトニ論議ノ
中心ガアツタト思フノデアリマス、ソコデ現在
政府ガ物價問題ニ對スル態度ハ、飽ク迄國
民ニ物價ノ安定感ヲ持タス、是ハ全體ノ物
價水準ノ問題デアリマス、併シ生産ハ活潑
ニヤラナケレバナラヌ、ソコデ問題ハ國
民ノ産業ナリ經濟ナリニ對スル思想乃至感
覺ニ依ルト思フノデアリマス、之ヲドウ云
フ風ニシテ行クカ、原價計算制ハ、各産業ヲ
シテ合理的ニ而モ能率ヲ高メテ行クト云フ
爲ニ此ノ制度ト云フモノハ採用サレテ居ル、ソ
レバ價格ノ面ニドウ云フ風ニ反映シテ行クカト
云フコトハ、國民ノ物價ト云フモノト生産ト云
フモノニ對スル感覺ニ依ッテ此ノ取扱方ニ手
心ヲ加ヘル必要ガ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデ
アリマス、ト申シマスノハ産業ヲ經營シテ
居ル人ガ眞ニ國家本位デアリ、一切ノ利潤
ヲ追求シナイト云フ性格デアラナラ、是ハ
モウ原價計算制ヲ最モ嚴密ニヤッテ、例ヘバ

陸海軍ノ工場ノ如キモノハ徹底的ニ原價計
算制ヲヤルベキモノデアアル、サウシテソ
コニチヨットノ無駄モナイヤウニシナクチ
ヤナラヌ、併シナガラ民間ノ經濟ハ、今
日迄發展シテ來タ事情カラ見レバサウ云フ
所迄進シテ居ラナイ、サウスル此ノ生産
ヲ活潑ニスル爲ニ、其ノ産業經營人ノ心
理ニ通シテ價格ノ形成ト云フモノハヤラナ
クテハナラヌノデアリマス、斯ウ云フ風ニ
考ヘルノデ原價計算制ト云フモノハ緩和デ
ハナイ、其ノ適用ノ限度ヲ能ク産業ノ實體
ニ應ジテ取扱フテ行カクテハナラヌ、斯ウ
云フ意味ノコトヲ當時考ヘテ居ッテ述ベ
タノデアリマス、政府ハ勿論原價計算ト
云フモノヲ嚴密ニヤリ、サウシテ價格ヲ形
成スル所ノ一ツノ根據ヲ之ニ依ッテ握ッテ行
ク、他方能率ノ良イ工場ニ能率ノ惡イ工場
ヲ引張ッテ行ク、之ヲ改メテ行クト云フ爲ニ
モ此ノ制度ト云フモノハ必要デアアルノデア
リマス、唯問題ハ之ヲ價格ノ面ニ反映サス
時ニドウ云フコトヲシテ行クカト云フ問題、
單ニ原價計算デ一定ノ利潤ヲ與ヘルト云フ
ダケデアラナラバ、或非常ナ勉強ヲシテ「コ
スト」ヲ下ゲタト云フ工場ハドウ云フ結果ニ
ナルカト云フ、利潤モ同じデアアル、ソレ
カラ懶ケテ居ッテ……懶ケテ居ラスカモ知
レナイガ創意工夫モ足リナイ、努力モ足リ
ナイト云フ、同じ企業デアッテモ一定ノ利潤
ヲ貰フ、斯ウ云フ不合理ガ起ル危險性ガア
ル、ソコデ價格ノ問題ヲ取上ゲル場合、物
價問題トシテノ考ヘハ是等ノ非常ナ高
能率ヲ發揮シテ、サウシテ普通以上ニ生産
スル、或ハ非常ニ「コスト」ヲ切下ゲタト云フ
モノニ對シテハ特別ノ國家的ナ手段ヲ執
テ、之ニ褒賞のナ價格形成ヲヤラナケレバ

ナラヌデアリマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ルノデアリマス、此ノ問題ガ色々ニ紛糾ス
ルト云フコトハ、結局スル所、日本ノ産業
界ガ矢張り利潤ト云フモノハ、之ヲ「ネグレ
クト」スルコトハ出來ナイト云フ性格ニアル
所カラ、サウ云フ問題ガ非常ニ起ッテ居ル
ノデアリマス、十八年度ト云フ年ハ前々申
上ゲルヤウニ、理窟ヲ以テ律スベキ年デナ
イ、國民ノ本當ノ感覺ニ訴ヘ、國民ガ是ナ
ラバ行ケルト云フ氣持ヲ到ル處ニ展開スベ
キ年デアリマス、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル
ノデアリマシテ、先般衆議院ノ豫算總會ニ
於ケル答辯モ致シタ次第デアリマス

○伍堂卓雄君 御心持ハ能ク分ッテ居リマ

スガ、企畫院總裁ノ御答辯ヲ曲解シテ、原
價計算制ノ緩和ト云フ風ニ取ッテ居ル者ガ
相當ニアリマスカラ御尋ネシタノデアリマ
シテ、原價計算制ハ申ス迄モナイコトデア
リマスガ、二ツノ大キナ目的ガアルノデア
リマス、今日原價計算制度ノ必要性ガ重大
デアリマスコトハ、價格形成ト云フヨリモ
寧ロ能率増進ノ爲ニ必要ナノデアリマス、
原價計算制度ガ確立シテ居リマセヌケレ
バ、個々ノ企業内ニ於ケル能率増進モ行ハ
レナイノデアリマスカラ、經營者ガドウ云
フ風ニ物ト人ガ使ハレテ居ルカ、計畫通り
ニ行ッテ居ルカドウカ、又行カナイトスレ
バドウシナケレバナラヌカト云フ、其ノ尺
度、物指ハ何デ決タルカト云フ、原價計
算制度ガ確立シナケレバ決マルコトハ出來
ナイノデアリマスカラ、能率増進ト原價計
算制度ノ實施ト云フコトハ表裏一體ノモノ
デアリマス、特ニ是ガ必要ナノデア
リマス、ソレカラ價格政策ニ付キマシ
テモ只今御話ノコトハ、ソレハ單一原價

計算基準ノ價格ヲ決メルカラ起ルノデアリ
マシテ、働イテモ働カナクモ、能率ガ高
クテモ低クテモ、一ツノ原價計算ヲ基礎
トシタ物ニ利潤ヲ加ヘタモノヲ以テ價格ヲ
決メレバ、ソコニ張合ヒモ何モナイノデア
リマス、併シサウデナシニ個別的ノ原價計
算基礎價格、甲ノ製造者ハ生産條件ガ乙ヨ
リモ良クナイノダカラ、是ダケ掛ッタモノ
ニ對シテ特別ノ價格ヲ決メテヤルト云フ
コトハ必要デアルト思フノデアリマス、必
要デアレバアル程、本當ニ其ノ能率ノ悪い
工場ハ合理的ニソレダケ費用ガ掛ッタカド
ウカト云フコトヲ監査シナケレバ、唯モウ
是ダケ掛ッタカラソレニ利潤ヲ加ヘタモノ
デ價格ヲ決メテ吳レト云フヤウナコトデア
ッテハ、生産能率ハ上ゲルコトハ出來ナイ
ノダカラ、サウ云フヤウナ生産増強ノ意味
カラ申シマシテモ、原價計算ヲヤラセルト
云フコトハ、是ハ當然必要ナコトデアリマ
シテ、サウシナケレバ能率ノ好イ所ハ能
率ノ悪いモノト一緒ニサレルヤウナ虞レガ
アル、個々ノ企業内ノ生産ノヤリ方ヲ原價
計算ニ依ッテ判斷シテ、サウシテ個別的ノ
價格ヲ取上ゲテヤルト云フコトハ、今日必
要デアラウト考ヘルノデアリマス、サウ云
フヤウナ意味ニ於キマシテ、原價計算制ハ
全面的ニ必要ヲ感ジテ來テ居ルノデアリ
マシテ、ソレガ只今價格政策ノ面カラ見テ、
相當考慮ノ餘地ガアルト云フ風ニ御考ニ
ナッテ居リマスコトバドウカト思フノデス
ガ、此ノ點ニ付テ一ツ……

○國務大臣(鈴木貞一君) 今仰シヤルヤウ
ニ工場ノ能率ヲ高メル、或ハ合理的ナ價
格ヲ形成シテ行クト云フ意味ニ於テ一ツノ
基準ヲ得ルト云フ意味カラ、原價計算制ト

云フモノヲ實行スルコトハヤラナクチャ
ナラス、是ハ仰シヤル通りデアリマス、唯
之ヲ詰リ價格ノ形成ノ面ニ持ッテ行ク時ニ、
其ノ儘原價計算制ナケレバナラスト云フ
コトニナッテ來ルト、私ハ實際現在ノ日本ノ
原價計算制ヲ實行スル所ノ様態、是ハ陸海
軍ニ於テハ從來自分ノ工場ヲ持ッテ居ルノ
デ、是ハドウシテモ先程申上ゲルヤウニ、
非常ニ原價計算制ヲ嚴密ニヤラナクチャナ
ラスト云フ環境ニ置カレタ爲ニ、ソレガ非
常ニ發達シテ居ル、其ノ組織ハ出來テ居リ
マス、處ガ日本ノ全産業ト云フモノハサウ
云フ態勢ノナカッタ、私ノ承知シテ居ル所デ
ハ昨年ノ上半期ノ終リ頃ニナッテ、斯ウ云フ
モノガ段々全面的ニヤルト云フヤウナコト
ガ決ッテデアッテ、之ヲ進メテ行クコトハ
宜イガ、ソレニ依ッテデナケレバ價格ノ形成
ト云フモノハ出來ナイト云フヤウナコトニ
ナッテ來ルト、茲ニ非常ナ面倒ガ起ッテ來ル
譯デアルト考ヘルノデアリマシテ、原價計
算制ニ因ハレルコトナク、生産ニ必要ナ價
格ノ設定ト云フモノヲヤッテ、其ノ價格ノ設
定ガ十八年度ニ關スル限リハ、ドウシテモ
國民ノ感覺ニ合フヤウナヤリ方ヲシテ進ミ
タイト云フ考ヲ持ッテ居ル次第デアリマス

○伍堂卓雄君 原價計算制ガ取上ゲラレタ
ノハ昨年カラト云フ御話デアリマシタガ、
サウデハアリマセス、原價計算制ト云フモ
ノハ昔カラヤッテ居ル
○國務大臣(鈴木貞一君) 私ノ申上ゲルノ
ハ、原價計算制ヲヤルト云フコトハ前カラ
御研究デアリマセウケレドモ、サウ云フモ
ノノ準則ヲ決メテ、是デヤレト云フ指令ヲ
發シテ出掛ケタノハ昨年頃ト、確カ昨年頃
デアッタト私ノ記憶デハ思ッテ居リマスガ、

準則サヘモ、マダソレモ試験的ナ準則ヲヤッ
テ居ルト云フヤウナ事情ト承知シテ居リマ
ス

○伍堂卓雄君 同一原價制ノ必要ヲ認メテ、
其ノ準備ヲシ始メタノハ昨年デアリマスガ、
原價計算制ト云フモノハ昔カラヤッテ居ル、
而シテ其ノ原價計算ノヤリ方ニハ精粗ガ
アツタデアリマシテ、只今御話ニナリマシ
タ價格形成ニ付キマシテモ、兎ニ角請求シ
タダケノ價格デ買ッテヤルト云フコトハ出
來ナイノデアリマスカラ、殊ニ非常ニ澤山
ノ經費ヲ費シマス補助金政策ヲ以テヤッテ
居リマス、基礎産業等ニ付キマシテハ當
然同一原價計算制度ヲ採用スル如何ニ拘ラ
ズ、其ノ製造者ノ原價計算ヲ基礎トシテ、
サウシテ之ニ對シテ補助金ヲヤルト云フコ
トニシマセスケレバ、是ハモウ國費ヲ濫費ス
ルト云フ責ハ免レルコトハ出來ナイノデア
リマス、私ハドウシテモ此ノ原價計算制度
ハ今日全面的ニ採用サルベキモノデアアル、
唯原價計算ニ依ル單一價格ヲ決メテ、ソレ
ヲ以テ推シテ行クト云フコトハ、是ハ出來
ナイカモ知レナイ、價格問題カラ原價計算
制度ヲ考ヘ直ストカ、損ヲスルトカ云フヤ
ウナコトハ、到底許サルベキモノデハナイ
ト思ヒマスガ、是ガ世間ニ誤解サレテ居リ
マスカラ、御答ヘニナリマシタ企畫院總裁
ノ御考ヲ聽イタ譯デアリマス

ウシテモ是ハ今仰シヤルヤウニ國家ガ補助
ヲシ、或ハ價格ヲ決定スルト云フ所ニハ或
基準ヲ持タナクチャナラス、其ノ基準ト云
フモノハ原價計算制ニ依ッテ取得サレテ行
クノデアリマスカラ、之ヲ緩和スルト云フ
ヤウナ考ハ毛頭持ッテ居リマセス

○伍堂卓雄君 衆議院ノ御答辯ノ中ニモ緩
和ト云フ言葉ハ使ッテナイノデス、ナイノヲ
サウ云フ風ニ取ッテ新聞記事ナドニ書上ゲ
マシタコトガ誤リデアラウト思ヒマスカラ、
緩和ト云フ御考ハ毛頭ナイト云フコトヲ
一ツ言明シテ戴タレバ私ハ満足スルノデア
リマス、之ニ關聯シマシテ陸海軍ノ政府委
員カラ價格問題、原價計算ニ對スル御考ヲ
伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(栗橋保正君) 只今企畫院總裁
ヨリ御答辯ノアリマシタヤウニ、陸海軍ニ
於キマシテハ原價計算制ト云フモノハ嚴密
ニ實行致シテ居リマスシ、又將來モ致ス積
リデアリマス、殊ニ原價計算ニ依ルニ非ザ
レバ、陸軍ニ於キマシテハ價格ノ決定ノシヤ
ウガナイバカリデナク、只今伍堂委員ノ仰
セニナリマシタヤウニ、經營ノ合理化ト云
フコトガ出來ナイノデアリマス、現在軍
需産業關係ノ各工場ニ於ケル内容ヲ檢討致
シマスルト誠ニ區々デアリマシテ、新興會
社ニ於キマシテハ、殊ニ生産各過程ニ於ケ
ル原價ノ調査ト云フヤウナコトガ極メテ幼
稚デアッタデアリマス、是ガ爲ニ、眞ニ自
分ノ會社ニ製品及ビ其ノ價格等ヲ如何ニス
ベキカ、又材料ノ準備ヲ如何ニスベキカト
云フヤウナコトニ付テノ尺度ヲ持ッテ居ナ
イノデアリマス、サウ云フ點ハ誠ニ憂フベ
キ點デアリマシテ、陸軍ニ於キマシテハ原
價計算ノ方法ニ付キマシテ、陸軍自身ト致

シマシテハマダ完全トハ考ヘテ居ナカッタ
ノデアリマスルケレドモ、先ヅ率先シテ之
ヲ公ニシ、サウシテ此ノ實行ヲ促シタノデ
アリマス、其ノ結果ト致シマシテ各工場ハ、
初メハ非常ニ原價計算制ノ實施ト云フモノ
ハ煩瑣ナモノデアルト云フノ内心嫌ツテ
ハ居ッタヤウデアリマスルケレドモ、其ノ結
果ト致シマシテハ非常ニ合理化サレテ來タ
ノデアリマス、ソレデ資材ノ點ニ於キマシ
テモ努力、動力等ノ消費ノ狀況ナドガ、克
明ニ分ルヤウニナリマシテ、從ヒマシテ節
約ト云フ效果ヲ擧ゲ、又製品ノ仕損ジト
云ッタヤウナモノガ如何ナル原因ニ依ッテ、
何處ノ工程ニ於テ是ガ生ズルノデアルカト云
フヤウナコトガハッキリシタノデアリマス、
サウ云フコトニ依リマシテ、今迄各工場ノ
經營者ガ漫然トシテ、所謂勘デ仕事ヲシテ
居ッタ、又ソレデ得意ニナッテ居ッタノデア
リマス、處方原價計算ト云フ照魔鏡ニ照サ
レマシテ、自分ノ勘デヤッテ居ッタ仕事ガ如
何ニ危險デアルカト云フコトヲ、少クトモ
軍需産業ノ心アル者ハソレヲ考ヘマシテ、
自ラ進ンデ其ノ従業員ヲシテ原價計算ノ講
習ニ出席セシメ、サウシテ原價計算制ノ普
及ヲ圖ッテ居ルノデアリマス、私ノ今迄調査
致シマシタ所ニ依リマスルコト云フト、此ノ
原價計算制ノ實行ト云フコトガ、各企業者、
殊ニ其ノ首腦部ノ者ヲシテ科學的ナ經營管
理デナケレバ將來ハ駄目ナンダト云フ自覺
ヲ大ニ促シタト信ジテ居ルノデアリマス、
サウ云フ例ヲ申上ゲテモ宜シイノデア
リマスルガ、先日會計監督ヲヤリ、又原價
計算ノ職務ヲ執ッテ居ル者ヲ會同致シマシ
テ色々ト所見ヲ聽キマシタ中ニモ、如何ニ
從來ノ相當ナ企業家デアリ、産業人ヲ以テ

任ジテ居ッタ者ガ勘デ仕事ヲシテ居ッタカト
云フ、又勘デ仕事ヲシテ居ッタコトノ如何
ニ危險デアルカト云フヤウナコトニ付キマシ
テノ例ヲ知ッカリシテ、私ハ原價計算制ノ徹
底普及ト云フコトガ生産擴充ノ觀點ヨリ
致シ、又適正價格決定ノ必要カラ見マシテ
最モ肝要デアリ、又我々ガ熱ヲ入レテ實行
シナケレバナラスカト云フコトヲ痛感致シ
テ居ルノデアリマス、ソレデ陸軍ハ、古ク
カラヤッテ居リマスル工場カラ買ヒマスル値
段ト、新興工場カラ買ヒマスル値段トニ付キ
マシテハ違フノデアリマシテ、當分ノ間ハ
ドウシテモ個々ノ社會毎ニ値段ヲ變ヘテ、
サウシテ各産業工場、就中新興ノ工場ニ
對シマシテハ反面保護スルト共ニ鞭撻ヲ
シ、又古い經驗ノアル企業人ヲシテ暴利ヲ
貪ルト云フヤウナコトヲ防グト共ニ、又ソ
レ等ノ内容ヲ更ニ改善向上セシムルト云フ
コトヲヤッテ居ルノデアリマス、只今企畫院
總裁ノ御答辯中ニ、褒賞的ナ價格ト云フ言
葉ガゴザイマシタガ、陸軍ニ於キマシテハ
夙ニ優秀ナル製品ヲ出シマシタモノニ對ス
ル利潤ハ、然ラザルモノニ比シマシテ多クヤッ
テ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ所謂
褒賞的ナ意味合デノ價格決定ト云フコトハ
夙ニ實行致シテ居ルノデアリマス、唯其ノ
褒賞的ノ價格ト云フ利潤ノ差ガドウ位ヲ以
テ、本當ノ褒賞的ナ效果ガアルカドウカト
云フ其ノ程度ニ至リマシテハ、是ハ個々ノ
實情ニ即應シテ考フベキ問題デアリマスル
ガ、生産擴充ニ對シマシテ本當ノ效果アル
拍車ヲ入レル時ニハドウシタラ宜イカト云
フコトニ付キマシテハ、目下現在ノ褒賞
的ナ利潤ノ歩合ヲ増スト云フコトノ限度ニ
付キマシテハ、研究ヲ更ニ重ネテ行キタイ

ト存ジテ居ル次第デアリマス、要約致シマ
スルノニ、陸軍ハ益、原價計算制度ノ普及
徹底ヲ圖リマシテ、ソレニ依ッテ經營ノ合
理化ヲ圖リ、ソレニ依ッテ生産擴充ノ目的ヲ
達シ、又ソレニ依ッテ適正價格ト云フモ
ノヲ把握致シマシテ、ソレニ依ル暴利ノ取
締、又ヨチ／＼歩イテ居ルト云ッタヤウナ工
場ニ對シテノ保護、斯ウ云フ各種ノ目的ヲ
達成致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス
○政府委員(武井大助君) 只今陸軍省ノ政
府委員ヨリ答辯ガアリマシタノデ大體盡キ
テ居リマスガ、海軍ニ關スルコトヲ一應申
上ゲマス、衆議院デ私ニモ答辯ヲ求メラレ
マシタノデアリマスルガ、其ノ際ニ價格形
成ノ面ニ原價計算ノ結果ヲ機械的ニ採用ス
ルト云フコトハ、場合ニ依ルトハ或ハ努力ヲ
無ニスル結果ヲ生ズルト云フヤウナ缺陷モ
起リ得ルノデアリマシテ、是ハ餘程考ヘテ
參ラナケレバナライ、併シナガラモウ一
ツノ面デアル能率増進ノ基準ヲ發見スルト
云フ觀點カラ申シマスレバ、凡ソ今日以上
ニ原價計算制ノ重要ナ時期ハナイノデアッ
テ、海軍トシテ此ノ制度ノ普及徹底ヲ期待
シ、且努力シテ居ルト云フ意味ノコトヲ御
答ヘシテ居ッタノデアリマシテ、只今ノ御答
ト致シマシテモ同様ノコトヲ申上ゲルヨリ
ナイノデアリマス、私ハ寧ロ理窟ヲ申上ゲ
マスヨリモ、海軍ノ實情ヲ申上ゲタガ能
ク御了解ニ資シ得ルト思ヒマスノデ、其ノ
意味デ御答ヘ申上ゲマス、海軍ハ、此ノ制
度ガ能率ノ増進ヲ期シマスル上ニ於テ極メ
テ重要デアアル、ト云フヨリハ寧ロ殆ド唯一
トモ言フベキ方法デアルト云フコトヲ夙ニ
考ヘテ居リマシテ、海軍部内ノ工廠ニ於キ
マシテハ、既ニ三十年前ヨリ此ノ制度ヲ採

用致シマシテ、能率増進ニ資シテ參ッテ居
ルノデアリマス、部外ノ工場ニ對シマシテ
モ、關係ノ深い所ヘハ常ニ其ノ意味デ德意
ヲ致シテ參リ、殊ニ艦デモウ二十年ニモナ
リマセウガ、契約書ノ中ニ一ツノ條項ヲ設
ケマシテ、海軍ハ必要ニ應ジテ原價ノ監査
ヲヤルト云フコトヲ書上ゲテ、契約ニ依ッ
テ半バ強制スルト云フ方法ヲモ採ッテ來タ
ノデアリマス、尙、更ニ昭和十四年デアリ
マシタカ、工場事業場檢査令ノ御發布ヲ願
ヒマシテ、之ニ依ッテ法制的ニ強制スル途
ヲ拓キマシテ、今日ニ於キマシテハ既ニ七
百數十ノ工場ニ強制ヲ致シテ、監査官ナル
モノヲ設ケマシテ、必要ナル所ヘハ之ヲ出
張サセマシテ、單ニ規則ガ出來タバカリデ
ナク、其ノ規則ガドウ云フ風ニ行ハレテ居
ルカト云フコトノ監査ヲシ、又ヤリ方ニ付
テ現場ニ於テ指導スルト云フ、サウ云フ方
法ヲ採リ來ッテ居ルノデアリマス、實際ノ成
績ヲ見テ見マストマダ必ズシモ十分ニ行ッ
テ居リマセス、我々ガ見テ稍満足スベ
キ状態ニアルト思ヒマスルノハマダ半數
ニモ達シテ居ラナイノデアリマシテ、今日
尙大車輪ニナッテ指導ヲ致シテ居ルヤウナ
實情デアアルノデアリマス、尙陸軍ノ政府委
員モ一言觸レタヤウデアリマシタガ、此ノ
事ハ數年來經濟ノ統制ガ段々強化サレマシ
テ、物資ニ致シマシテモ勞務ニ致シマシテ
モ、之ガ配分、配給ト云フコトヲ計畫的ニ
行フヤウニナッテ參リマシテカラ、原價ノ
監査ヲ海軍ガ稍古クカラ行ッテ居ッタト云
フコトガ非常ニ效果ガアルト云フコトヲ發見
シテ、毎日ノ實務上ニモ喜ンデ居ルノデア
リマシテ、計畫ニ從ッテ物資ナリ勞務ナリ
ヲ配分致シマシテモ、其ノ實情ガ計畫通り

ニ行ッテ居ルカドウカト云フコトヲ常ニ監視シテ行カケレバナラス、是ガナカノ困難ナリ或ハ工賃ナリノ監査ヲ致シマシテ、ソレニ依ッテ計畫ト實際トガ何處ニ開キガアルカ、開キガアルノハドウ云フ原因ニ依ルカト云フコトガ直ニ分ッテ參ルノデアリマシテ、統制經濟ヲ實行致シマスニ付キマシテハ、原價ノ監査ト云フコトハ是非トモ是ハ行ハナケレバナラスモノデア

ルト云フコトヲ痛感シテ居ルヤウナ次第デアリマス、サウ云フ事情モアリマシテ、諄イコトハ申上ゲマセヌガ、ドウシテモ此ノ際原價計算ハ更ニ一層普及徹底ヲ圖ル必要ガアル、是モ陸軍ノ政府委員カラモ御話ガ出マシタガ、世ノ中ニハ勘デ分ル、所謂腰ダメ主義デヤッテ行ケバ或程度迄分ルト云フ人モアリマス、是ハ或ハ豊富ナ經驗ヲ持ッテ居ルナラバ或程度迄可能デアリマセウ

ガ、私共長イ間見テ參リマシタ所ニ依リマス、先ヅ工員千人位ガ止リデアリマシテ、ソレヲ越シマスル程度ノ規模ニナリマス、是ハ到底勘或ハ腰ダメハイカス、ドウシテモ根據ノアル、シッカリシタ資料ニ依ッテ能率ヲ測定スルト云フコトガ絕對ニ必要デアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ原價計算ノ重要性ト云フコトニハ必ズシモ十分ノ了解ガマダ無イ實情デア

リマシテ、原價監査ノ爲ニ大勢ノ人が要ッテ困ル、工場ハ代レバ早速生産ニ役立ツト云フコトヲ申シテ參ル工場主ガアルノデアリマスガ、是等ハ全く眼ノ前ノコトダケヲ見タ話デアリマシテ全局のカラノ考ヘ方ガ足リナイ、サウ云フ意味デ常ニ及バスナガラ指導ヲ致シテ參ッテ居ルヤウナ實情ニア

ルデアリマシテ、此ノ際我々ト致シマシテハ是非共此ノ制度ノ普及徹底ヲ圖ッテ、サウシテ軍需産業ノ健全ナル發達ヲ期待シタイ、將來ニ於テモ其ノ意味ニ於テ努力シタイト考ヘテ居リマス

○伍堂卓雄君 此ノ問題ニ對シマシテハ更ニ商工大臣ノ御答ヲ得タイト思ヒマスガ、オイデニナッテ居ラレマセヌカラ後ハ總理大臣、商工大臣ノ御出席ノ時ニ致シマス、是デ一應打切りマス

○竹下豐次君 私ハ此ノ戰時行政特別法案、ソレカラ戰時行政職權特別案ト、之ニ關係ノアリマスル内閣官制ノ解釋ニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ッテ居リマス、先ヅ内閣官制ノ方カラ御尋ネ致シマシタ方ガ後ヲ了解スルニ都合ガ好イト存ジマスカラ、ソレカラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、御尋ネ致シマスル要點ハ、内閣官制ノ第二條ニ依ッテ、内閣總理大臣ハ行政各部ノ統一ヲ保持スル爲ニ各省大臣ニ指圖ト申シマスルカ、指示ト申シマスルカ、或意思表示ヲシタ場合、ソレニ各省大臣ハ服從シナケレバナ

ラナイ義務ガアルノカナイノカ、此ノ點ヲドウ御解釋ニナッテ居リマスカ、是ガマア御尋ネスル要點デアリマス、デ其ノ點ヲ御尋ネ致シマスル私ノ氣持ヲ一ツ申上ゲテ、後デ御説明ヲ御願ヒシタイト思ッテ居リマス、此ノ第二條ヲ讀ミ下シテ見マシテ私ノ氣持ヲ作リマシタコトハ、結論ヲ申上ゲマ

スルト云フト、矢張り義務ガ生ズルノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ一應思ッテ見タノデアリマス、ト申シマスルノハ、各大臣ノ首班トシテ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ行政各部ノ統一ヲ保持ス、内閣總理大臣ニ大變重イ義務ガ、此ノ條文ニ依ッテ負擔サセラレテ居

ルヤウニ察セラレルノデアリマス、殊ニ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ統一ヲシヨウトスル場合ニ、ソレニ服從スル義務ガナイト云フヤウナコトハ、チヨット常識トシテ考ヘラレナイデヤナイカ、斯様ニ一應考ヘテ見タノデアリマスガ、併シマア先輩アタリノ御話ヲ聽イテ見ルト云フト、國務大臣トシテノ關係モ伴ッテ來ルノデ、此ノ條文ニハソレ程強イ意味ヲ持タセテ居ルノデヤナクシテ、唯

マア話合ヒシテ成ルベク統一スルコトニスルノダト云フコト位ノ意味シカ持タナイノデヤナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ聽カサレマシテ、サウ云フヤウナコトモ實ハアルノカナアト迷ッテ居ルノデアリマスガ、處ガ其ノ後衆議院ニ於キマシテ色々質問ガ出テ居ルヤウデアリマシテ、ソレニ對シマシテ法制局長官ノ御説明ノ中ニ、此ノ職權特例ハ内閣官制ニ規定シテアル總理大臣ノ

權限ヲ強化スル規定デアルト云フ言葉ヲ使ッテ居ラレルヤウデアリマスシ、ソレカラ又ウント強イ權限ヲ持タセルコトニナルノダト、斯ウ云フ風ノ御説明ヲナサッテ居ルヤウニ速記録デ拜見シタノデアリマス、是ハ言葉ヲ捉ヘテノアレニナリマスガ、言葉遣ヒニハ非常ニ深い注意ヲ拂ハレマシテ御説明ニナッテ居ラレマスノデ、特ニ私ハ其ノ點ガ氣ニナリマシテ御尋ネスル譯デアリマスガ、強化スルトカ云フ言葉ナリ、或ハ又ウント強クスルノダト云フヤウナ言葉ハ比較級ノ言葉デアリマシテ、此ノ言葉ヲ御使ヒニナ

リマシタ裏ニハ、内閣官制ノ第二條デモ或程度ノ權限、詰リ指揮權ト申シマスカ、指示權ト申シマスカ、ト云フモノガ認メテアルノダ、各省大臣ハ之ニ服從スル義務ガアルノダ、併シ此ノ規定デハ色々ナ解釋ノ疑

問モ起ルカモ知レナシ、又起ラナイニシテモ書キ方ガ弱イ、斯ウ云フヤウナ御氣持ガオアリニナル、服從義務ガ全クナイノデヤナイ、併シ弱イカラ、或ハ疑問ガ起ルカラ茲ニ一ツノ新シイモノヲ作ルノダト、斯ウ云フヤウナ氣持ガアルノデハナイカト云フ疑問ヲ起シタノデアリマス、ソレデ私トシハテ實際迷フト云フ立場ニナリマシタノデ、此ノ點ヲモウ少シハッキリ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、簡單デ結構デゴザイマスガ、服從ノ義務ガアルノダトカ、ナイノダトカ、ドウ云フ風ニ解釋シテ居ルト云フヤウナ御説明ヲ願ヘレバ宜イノデアリマス、尙其ノ解釋ノ根據ニ付キマシテ何カ古文書デ、此ノ第二條ノ解釋ヲ書イタモノデモゴザイマスナラバ、其ノ要領デモ御示シ願ヘマスレバ非常ニハッキリスルダラウト思ッテ居リマス

○政府委員(森山銳一君) 只今ノ御質問ハ内閣官制ノ解釋ノ問題デアリマスガ、御存ジノ如ク帝國憲法ノ解釋トカ、或ハ内閣官制ノ解釋等ハ、是ハ學者ノ間デ色々違ッテ意見ガアルノデアリマシテ、學說トシテハ色々ナ解釋ガアルノデアリマス、私ノ申上ゲルノハ學者ノ意見ト云フノデハナクテ、各種ノ制度ヲ綜合シテ、政府トシテハ大體斯ナ解釋ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲルノダト云フコトヲ豫メ御了承願ッテ置クノデアリマス、結論ヲ先ニ申シマスガ、現在ノ内閣官制第二條ノ規定ニ依ル内閣總理大臣ノ行政各部ノ統一ヲ保持ハ、唯文字通り行政各部ノ統一ヲ保持スルダケデアツテ、此ノ保持ノ爲ニ他ノ大臣ニ對シテ指揮命令ヲスルト云フヤウナ權能ハナイモノダト云フ解釋ヲシテ居リマス、ソレニハ若干ノ御説明ヲ

問モ起ルカモ知レナシ、又起ラナイニシテモ書キ方ガ弱イ、斯ウ云フヤウナ御氣持ガオアリニナル、服從義務ガ全クナイノデヤナイ、併シ弱イカラ、或ハ疑問ガ起ルカラ茲ニ一ツノ新シイモノヲ作ルノダト、斯ウ云フヤウナ氣持ガアルノデハナイカト云フ疑問ヲ起シタノデアリマス、ソレデ私トシハテ實際迷フト云フ立場ニナリマシタノデ、此ノ點ヲモウ少シハッキリ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、簡單デ結構デゴザイマスガ、服從ノ義務ガアルノダトカ、ナイノダトカ、ドウ云フ風ニ解釋シテ居ルト云フヤウナ御説明ヲ願ヘレバ宜イノデアリマス、尙其ノ解釋ノ根據ニ付キマシテ何カ古文書デ、此ノ第二條ノ解釋ヲ書イタモノデモゴザイマスナラバ、其ノ要領デモ御示シ願ヘマスレバ非常ニハッキリスルダラウト思ッテ居リマス

○政府委員(森山銳一君) 只今ノ御質問ハ内閣官制ノ解釋ノ問題デアリマスガ、御存ジノ如ク帝國憲法ノ解釋トカ、或ハ内閣官制ノ解釋等ハ、是ハ學者ノ間デ色々違ッテ意見ガアルノデアリマシテ、學說トシテハ色々ナ解釋ガアルノデアリマス、私ノ申上ゲルノハ學者ノ意見ト云フノデハナクテ、各種ノ制度ヲ綜合シテ、政府トシテハ大體斯ナ解釋ヲシテ居ルト云フコトヲ申上ゲルノダト云フコトヲ豫メ御了承願ッテ置クノデアリマス、結論ヲ先ニ申シマスガ、現在ノ内閣官制第二條ノ規定ニ依ル内閣總理大臣ノ行政各部ノ統一ヲ保持ハ、唯文字通り行政各部ノ統一ヲ保持スルダケデアツテ、此ノ保持ノ爲ニ他ノ大臣ニ對シテ指揮命令ヲスルト云フヤウナ權能ハナイモノダト云フ解釋ヲシテ居リマス、ソレニハ若干ノ御説明ヲ

問モ起ルカモ知レナシ、又起ラナイニシテモ書キ方ガ弱イ、斯ウ云フヤウナ御氣持ガオアリニナル、服從義務ガ全クナイノデヤナイ、併シ弱イカラ、或ハ疑問ガ起ルカラ茲ニ一ツノ新シイモノヲ作ルノダト、斯ウ云フヤウナ氣持ガアルノデハナイカト云フ疑問ヲ起シタノデアリマス、ソレデ私トシハテ實際迷フト云フ立場ニナリマシタノデ、此ノ點ヲモウ少シハッキリ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、簡單デ結構デゴザイマスガ、服從ノ義務ガアルノダトカ、ナイノダトカ、ドウ云フ風ニ解釋シテ居ルト云フヤウナ御説明ヲ願ヘレバ宜イノデアリマス、尙其ノ解釋ノ根據ニ付キマシテ何カ古文書デ、此ノ第二條ノ解釋ヲ書イタモノデモゴザイマスナラバ、其ノ要領デモ御示シ願ヘマスレバ非常ニハッキリスルダラウト思ッテ居リマス

問モ起ルカモ知レナシ、又起ラナイニシテモ書キ方ガ弱イ、斯ウ云フヤウナ御氣持ガオアリニナル、服從義務ガ全クナイノデヤナイ、併シ弱イカラ、或ハ疑問ガ起ルカラ茲ニ一ツノ新シイモノヲ作ルノダト、斯ウ云フヤウナ氣持ガアルノデハナイカト云フ疑問ヲ起シタノデアリマス、ソレデ私トシハテ實際迷フト云フ立場ニナリマシタノデ、此ノ點ヲモウ少シハッキリ御説明ヲ願ヒタイノデアリマス、簡單デ結構デゴザイマスガ、服從ノ義務ガアルノダトカ、ナイノダトカ、ドウ云フ風ニ解釋シテ居ルト云フヤウナ御説明ヲ願ヘレバ宜イノデアリマス、尙其ノ解釋ノ根據ニ付キマシテ何カ古文書デ、此ノ第二條ノ解釋ヲ書イタモノデモゴザイマスナラバ、其ノ要領デモ御示シ願ヘマスレバ非常ニハッキリスルダラウト思ッテ居リマス

申上ダタ方が宜イト思フノデアリマスガ、
是ハ所謂内閣制度、明治十八年ノ内閣制度
ノ出來タ時ニ、既ニ其ノ事が大體確立シタ
ト、斯ウ見テ居ルノデアリマス、即チ從前
ノ太政官制度ヲ止メテ、サウシテ現在ノ内
閣制度ノ基ヲ築カレタ、明治十八年ノ内閣
制度ニ於キマシテハ總理大臣ト云フモノハ、
他ノ大臣ヨリモ稍、其ノ特殊ナ地位ヲ持ッ
テ居リマシテ、其ノ地位ハ現在ノ内閣官制
ヨリモモウ少シ強イモノデアッタノデアリ
マス、二三其ノコトヲ申上ダテ見マス、
其ノ時ノ第一條ノ規定デハ、「内閣總理大臣
ハ各大臣ノ首班トシテ機務ヲ奏宣シ旨ヲ承
ケテ大政ノ方向ヲ指示シ行政各部ヲ統督ス」
ト斯ウアリマシテ、其ノ次、第二條ニ「内閣
總理大臣ハ行政各部ノ成績ヲ考ヘ其説明
ヲ求メ及ヒ之ヲ檢明スルコトヲ得」ト云フヤ
ウナ規定ガアリマシテ、現在ノ内閣官制ヨ
リモ餘程内閣總理大臣ハ他ノ大臣ヨリモ強
イ地位ヲ持ッテ居タコトガ親ハレルノデア
リマス、殊ニ「統督ス」、他ノ大臣ヲ、行政各
部ヲ統督スト云フヤウナコトカラ考ヘテ見
マス、ト云フト、或種ノ監督權ヲ持ッテ居ッ
ヤウナコトガ親ハレルノデアリマス、太政
官制度ヲ止メテ現在ノ内閣制度ニナッタ當
初ハサウ云フ風デアッタノデアリマスルガ、
數年ニシテ是ハドウモ面白クナイト云フノ
デ、詰リ内閣總理大臣ノ權限ガ少シ強過ギ
ル、内閣總理大臣ノ權限ヲ少シ弱メテ、寧
ロ各省大臣ノ權限ヲ強メナケレバイケナイ
ノダト云フノデ、是ハマア記録ヲ見レバ能
ク分ルノデアリマスガ、現在ノ内閣制度ニ
ナッタノデアリマス、詰リ總理大臣ノ權限ヲ
弱メテ、各省大臣ノ權限ヲ強メテ、各省大
臣ニ成ルベク責任ヲ負ハシテ、各省大臣ガ

何ト云ヒマスカ、ソレハ其ノ時ノ時勢ノ要
求ト申シマスカ、矢張り各部分ノ力ヲ強ク
活カスコトデ、詰リ中央ノ統制ト云フヨリ
モ各部門ノ力ヲ強ク活シテ行ク方ガ、制度ト
シテ宜シイノダト云フコトニアッタノダト思
ヒマス、併シ書イタモノヲ見マスト尙他ニ
理由ガアルヤウニ見エルノデスガ、兎ニ角
結果トシマシテハ、現在ノ内閣官制ニナッ
テ、餘程ソレガ變テ居ルノデアリマス、「行
政各部ノ統一ヲ保持ス」サウナッタ居ルノデ
アリマス、其ノ後又是ハ明治二十二年制定ノ
リマスガ、現行官制ハ明治二十二年制定ノ
モノガ大體其ノ儘行ハレテ居ルノデアリマ
スガ、其ノ後伊藤博文公ノ秘密ノ書類ダト
云フヤウナモノガ、或機會ニ外ハ出サレテ
居リマスガ、ソレナドヲ見マスト又之ニ付
テ伊藤博文公ナドハ、モウ少シ違ッタ制度ニ
シナケレバナラス、言ヒ換ヘテ見ルトモウ
少シ總理大臣ノ地位ヲ強クスルヤウニシタ
ラドウカト云フヤウナ腹案ヲ持ッテ居ラレ
タト云フコトモ知ラレルノデアリマスガ、
要スルニ現在ノ内閣官制ハサウ云フ風ナ
沿革カラ見マシテモ、内閣總理大臣ノ地位
ハ他ノ大臣ニ對シテ監督ノナ地位ヲ持ッ
ト云フコトハ出來ナイノデ、言ヒ換ヘテ見
ト幾ラカ違ッテ居ルケレドモ、サウ大キナ違
ヒハナイノダ、從ッテ行政各部ノ統一ヲ保持
スト云フコトハ、自己ノ政治力ト云ヒマス
カ、行政各部ノヤリ方、即チ各省大臣ノヤ
リ方デ、ソレガ宜クナイカラ一ツ改メテ吳
レナイカト云フ希望ノ表示位シカ行カナカッ
タノデスガ、結局ソレガ成ルカ成ラヌカハ、
總理大臣其ノ人ノ政治力ニ依ッテ決スルト
云フヤウナコトニナッテ居ッタノデハナイカ
ト考ヘラレルノデアリマス、處ガ最近ハド

ウシテモ總理大臣ノ權限ヲ強化シナケレバ
ナラヌト云フコトガ叫バレテ居リマス、所
謂國防國家體制ヲ確立スル所以ダト云フノ
デ、色々手段ガ考ヘラレタノデアリマス
ガ、第一ノ手段ハ内閣總理大臣ノ下ニ、所
謂總理大臣ノ政治力ヲ強メル爲ノ各種
ノ機關ヲクツ附ケルト云フノデ、或ハ
企業院等ガクツ附クトカ、技術院ガク
ツ附クトカ云フヤウナコトデ、サウ云
フヤウナ機關ヲクツ附ケテ、事實上總
理大臣ノ綜合力ヲ官制ノ上デ強メテ行ク
ト云フノデ、一方或種ノ行政ニ付テハモウ
少シ總理大臣ノ力ヲ強クシヨウト云フノ
デ、御承知ノ如ク國家總動員法ノ統轄ノ爲
ニハ、内閣總理大臣ハ行政各部ニ對シテ、
是ハ確カ官制ハ各官廳トアリマシタモノト
思ヒマスガ、是ハ各都大臣ヲ含シテ居リマ
ス、各大臣ニ對シテ指示ガ出來ルトカ、或
ハ總動員法ノ施行ノ爲ニ省令ヲ出ス場合ニ
ハ、内閣總理大臣ニ協議シナケレバ出セナ
イノダ、即チ詰リ内閣總理大臣ガウント言
ハナケレバ省令ガ出セナイト云フヤウナ特
殊ノ制度ニ付テハ、特殊ノ制度ヲ立テル
トカ云フヤウナコトニシマシテ、漸次
此ノ内閣總理大臣ノ行政各部ノ統制力ト云
フモノヲ強メテ來ヨウ、詰リ内閣官制第二
條デハ行政各部ヲ統一スルト云フ力ハアル
ケレドモ、實效アラシメル力ハナカッタ、
一ツアルノハ第三條ニ行政各部デ獨立シタ
所ノ命令トカ處分ガドウモ適當ダナイ、法
令ニ背クトカ、權限ヲ逸脱スルトカ、現在
ノ政府ノ方針ニ背クト云フ場合ニハ、ソレ
ヲ中止セシムルト云フ、中止權ガアルト云
フ位ノ程度デ、實效的ノ手段ヲ持タナイ、
ソレハイカヌト云フノデ、少クトモ總動員

ノ施行ニ關スル限リハ、何等カ特別ノ措置
ガ要ルト云フノデ、サウ云フ風ナ特別ノ立
法ガサレテ居ッタノデアリマス、今回ノ戰時
行政特例法モ思想ハ大體ソレデアリマス、
詰リ行政各部統一ノ保持ノ職能ノ擴充デハ
アルケレドモ、ソレニハ實效的ノ手段ガナ
イ、此ノ際實效的ノ手段ヲ御願ヒシテ、總
理大臣ガ戴クコトニスルト云フノガ今度ノ
趣旨デアリマス、餘程強クスルト云フコト
ヲ申シタノハ、ソレハ從前ノハ大體消極的
ナ統一保持デアッタノダケレドモ、今度ハ積
極的ニ斯ウシタ方ガ生産力擴充ノ爲ニ役立ッ
ノダ、生産力擴充ノ爲ニハ斯ウシテ貴ヒタ
イト云フ、寧ロ積極性ヲ持タシテ行クト云
フ意味デ強クスルト申上ダタノデアリマス、
制度トシマシテハ現行内閣官制デハ、各省
大臣ニ義務ヲ負ハセルヤウナ手段ハナイ、
今度ノ勅令ヲ制定シテ戴ケバ、總理大臣ハ
必要ニ應ジテ各省大臣ニ義務ヲ負ハスヤウ
ナコトガ爲シ得ルトシタ、斯ウ云フコトニ
制度ヲ立テルコトニナッテ居ルノデアリマ
ス

○竹下豐次君 色々詳シク御説明ヲ承リマ
シテ、大體御考ハ分リマシタガ、私ハ「機務
ヲ奏宣シ旨ヲ承ケテ」云々ト云フ言葉ガ、此
ノ文句ガ非常ニ重イ文句デアリマス、オ上
ノ御意思ヲ承ケテ、統一ヲ保持スル爲ニ何
カ意思表示ヲシタト云フコトハ非常ニ重イ
場合デナケレバナラス、重大ナ事項デナケ
レバナラス、而モソレガオ上ノ命ヲ承ケテ
ト云フコトニナル、其ノ場合ニスラ服從ノ
義務ガナイト云フコトハチヨット考ヘラレ
ナイデハナイカ、此ノ條文ノ解釋カラ致シ
マス、斯ウ云フヤウニ考ヘマスルト云フ
ト、此ノ職權特例ハナクテモ出來ルノヂヤ

ナイカト云フ、根本ニ疑問ヲ起シテ見タノ
デアリマス、併シ今御説明ヲ承リマシテ大
體筋道ハ分リマシタ

○政府委員(森山銳一君) 今竹下サシノ御
考ノヤウナ風ニ、内閣官制ヲ改正スベキデ
ハナイカト云フ、サウ云フ風ヲ御考ノ方モ
他ニモアルノデアリマシテ、竹下サシノ御
考ガ決シテ間違ッテ居ルトハ私考ヘマセス、
唯政府ガ從前考ヘテ來テ居ルコトハ、各省
ノ制度カラ考ヘテ見ルト斯ウダト云フコト
ヲ申上ゲタノデアリマス、確カニ同ジヤウ
ナ御考ヲ御持チニナッテ居ル御方ガアルノ
デアリマス

○竹下豐次君 此ノ職權特例ノ方ヲ拜見致
シマス、實質ハ矢張り官制ノ性質ヲ持ッ
テ居ル勅令ダト斯ウ云フ風ニ思ハレルノデ
アリマスガ、現在内閣官制ガ文句ガ足りナ
イトカ、或ハ書キ方ガ惡イトカ云フヤウナ
コトデアリマシタナラバ、ソレニ相當ノ修
正ヲ加ヘタリ、或ハ追加シタリスレバ一本
デ行キマスノデスガ、官制ノ性質ヲ持ッ
テ居ル勅令ヲ別途ニ、而モ内閣總理大臣ノ權
限ニ關スルコトヲ二ツニサレト云フコト
ハ如何ナモノカト、斯ウ云フ疑問ヲ起シタ
ノデアリマスガ、何カ併シ特別サウシナケ
リヤナラナイ御理由ガオアリダラウト思ヒ
マス、其ノ點ヲ御説明願ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 誠ニ御尤モナ御
質問デアリマス、戰時行政職權特例デ、政
府ガ考ヘテ居ルヤウナ思想ガ是ガ一般的ノ
制度トシテ宜イト云フコトニ結論スルナ
ラバ、是ハ内閣官制其ノモノヲ改正シテ、
恒久法トシテ御制定ヲ仰グト云フコトガ一
番宜イト考ヘルノデアリマス、併シナガラ
一方ニ於テ總理大臣ノ各省大臣ニ對スル指

揮權ト云フモノハ、マア從來餘リヤラナカッ
タコトヲアルコトデアリマスシ、ソレカラ
且第二條以下ニ該當スル部分ハ、是ハ内閣
官制ノ中ニ挿入スルベキ事項デナイノデア
リ、且又第五條ニ該當スル部分ハ、是ハ官
制其ノモノノ實質ヲ備ヘテ居ルモノデハナイ
ノデアリマスノデ、色々立法的ニ考ヘテ、
戰時行政職權特例ナル特別ノ勅令ノ御制定
ヲ仰グコトニシタノデアリマス、デ政府ノ
見ル所ニ依リマスレバ、今度ノ内閣總理大
臣ノ各省大臣ニ對スル指揮權ト云フモノハ、
是ハマア戰時中、ソレカラ特別ノ行政部門
ニ付テ行フト云フコトデ、マア今ノ所デハ
此ノ程度デ宜シイト考ヘテ斯ウ云フ風ヲ勅
令ノ御制定ヲ仰イダノデアリマスガ、是ガ
一般的制度トシテ妥當デアアルカドウカト云
フコトニナリマスレバ、無論政府ハ是
ハ一般的制度トシテ考ヘテモ宜イトダト考
ヘテ居ルノデス、從ヒマシテ此ノ趣旨ニ關
スル部分ニ付テハ、或ハ内閣官制ノ改正ニ
依ッテ處理スルト云フコトモ一ツノ方法デ
アツタカトモ思フノデアリマスガ、是ハ又
一方ニ於テドウモ此處迄行クノハドウダラ
ウト云フヤウナ疑念ヲ御持チノ方モアルノ
デアリマス、ソレデ政府ハ何モ同ジ勅令デ
アルカラ、内閣官制ノ改正ニ據ラウト、獨
立ノ特別立法ニ據ラウト、目的サヘ達スレ
バ宜イトデアアル、モウ一步政府カラ申シマ
スト、一般的制度ヲ運用シテ行クト云フヨ
リモ、今度ハ斯ウ云フ方面ニ特ニ行政ノ重
點ヲ置イテ行クノダト云フ、斯ウ云フヤウ
ナ措置ヲ執リマスレバハキリ現レテ行キ
マスカラ、マアソレモ政治的效果トシテ、
豫期シナイ效果ガ期待出來ルノデヤナイカ
ト云フヤウナコトモ考ヘマシテ、今度ノヤ

ウナ特別ナ單行勅令ノ御制定ヲ仰グト云フ
コトニ致シタ譯デアリマス、併シ將來ハ或
ハ内閣制度ノ改正ニ付テ、世間デハ根本的
ノ改正ト言ッテ、或ハ國務大臣ト各省大臣ト
ヲ分離スルト云フヤウナコトヲ直グ考ヘ
ルノデアリマスガ、サウ云フコトニナリマ
スト此ノ處置デハナカク、解決出來ナイコ
ト考ヘマスガ、少クトモ持示權ニ關スル
コトニ付テハ、一般的ノ制度トシテ考ヘテ
宜イトデハナイカト私ハ考ヘテ居リマス、
併シ一般的制度トシテ之ヲ行フト云フコト
ニ付テハ、マダ政府トシテハ意思ヲ決定サ
レテ居ル譯デモナイシ、ソレカラ總理大臣
モサウ云フヤウナ御意嚮デモナイノデアリ
マスカラ、唯私ノ私見ヲ申上ゲタト云フコ
トニ御聽取願ヒタイト思フノデアリマス

○竹下豐次君 今申上ゲマシタノハ、法
律ノ形式ヲ御尋ネシタノデアリマスガ、實
際此ノ社會情勢ノ變轉ナドヲ考ヘテ見マス
ト、此ノ定メラレヨウトシテ居ル職權特例
ノ勅令ガ、又後日緩メラレマシテ現在ノ狀
態ニ歸ルト云フコトハ、是ハ意見ハ違ヒマ
セウガ、私ハモウ出來ナイコトダ、斯ウ云
フコトモ考ヘテ居リマス、處ガ此ノ案ヲ見
マスルト云フト、増産目的ト云フコトガ主
ニナッテ居ルノデアリマシテ、輕金屬トカ、
鐵トカ、色々例迄書イテアルノデアリマス、
コンナコト迄内閣官制ニ謳フ譯ニ行カナ
イ、併シアナタガ御研究ニナリマスレバ、
色々宜イ書キ方モアルデアラウト思ヒマ
スガ、大體ナラ一本ニシタガ宜イ、ドウセ
後デ一本ニシナケレバナラヌモノデヤナイ
カト云フコトヲ考ヘマシテ、チヨット御尋
ネシマシタヤウナ次第デアリマス、ソレカ
ラ次ニ戰時行政特例法ト國家總動員法トノ

關係ニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマ
ス、是モ御尋ノ要點趣旨ヲ申シマスレバ、
兩方ガ狙ッテ居ル所ハ結局同ジコトデヤナ
イカ、國家總動員法ノ狙ヒモ、此ノ特例法
モ同ジデヤナイカ、ソレヲ何故別々ニナサ
ルノデアアルカ、斯ウ云フ御尋ネナシデアリ
マス、戰時行政特例法ヲ拜見シマスト云フ
ト、一番最初ニ「大東亞戰爭ニ際シ生産力擴
充其ノ他綜合國力ノ擴充運用ノ爲特ニ必要
アルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ左ニ掲グ
ル措置ヲ爲スコトヲ得」斯ウ書イデアリマス、
ソレカラ總動員法ノ第一條ニ「本法ニ於テ
國家總動員トハ戰時(戰爭ニ準ズベキ事變ノ
場合ヲ含ム以下之ニ同ジ)ニ際シ國防目的達
成ノ爲國ノ全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル
樣人的及物的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」斯
ウ云フ風ニ書イテゴザイマス、私兩方ヲ比
較シテチヨット氣ノツキマシタノハ、特例法
ノ方デハ生産力擴充ト云フ言葉ガ謳ッデア
リマス、此ノ法案ノ趣旨ハ、後ニ「綜合國力
ノ擴充運用ノ爲」ト書イデアリマスケレドモ、
先ヅ生産ノ擴充ト云フ所ニ重點ヲ置カレ
タ、ソレカラ下ハ附ケタリデヤナイカト云
フヤウナ風ニマア考ヘテ見タノデアリマス、
併シ法文ノ解釋トシマシテハ、生産力ノ擴
充ト云フ事柄ガ後ノ「綜合國力ノ擴充運用ノ
爲」ト云フ中ニ包含サレルコトデヤナイカト
思フノデアリマス、サウスルト、國家總動
員法第一條ノ方デハ「國防目的達成ノ爲國ノ
全力ヲ最モ有效ニ發揮セシムル樣人的及物
的資源ヲ統制運用スルヲ謂フ」ト書イデアリ
マス、此ノ統制運用ト云フ言葉ヲ色々考ヘ
テ見マシテモ、矢張り此ノ中ニハ増産ノコ
トモ含ムノデヤナイカ、若シ私ノ今申シマ
シタコトガ當ッテ居ルトシマスレバ、特ニ

二ツ法律ヲ御作リニナル必要ハナイイデヤナイカ、唯私ハマダ總動員法ノ各條項ニ付キマシテ、一々詳シイ研究ヲ致シテモ居リマセヌノデ、其ノ點ハ分ラナイノデアリマスガ、或ハ此ノ第一條ノ定義カラ見マスルト云フト、此ノ特例法決定メテ行カウトサレル事項モ、何處カノ條文ニ當嵌メルコトガ出來ルノデハナイイカト云フ甚ダ根據ノナイ漠然タル疑問デアリマスガ、若シソレガ出來ナカッタトスルナラバ、總動員法ニ是ダケノコトヲ御加ヘニナリ、サウシテ一本ニシテ行クト云フコトノ方ガ、實際之ヲ運用サレル方ノ立場ノ國民全般カラ見テモ分リ易ク、見易イト云フコトニナリマスルシ、ソレカラ違タモノデハナイ、目的ハ同ジダト云フコトヲハッキリセシムル爲ニモ便宜デハナイイカ、斯ウ云フ疑問ヲ持ッテ居ル譯デアリマス、其ノ點ヲ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 戰時行政特例法ヲ大キク分ケマスと二ツノ部門カラ成立ッテ居ルノデアリマシテ、一ツノ部門ハ「法律ニ依ル人又ハ法人ノ行爲ニ對スル禁止又ハ制限ノ全部又ハ一部ヲ解除スルコト」、ソレカラモウ一ツハ「法律ニ依リ監督又ハ命令、處分其ノ他ノ行爲ヲ爲ス甲ノ行政廳又ハ官吏ノ職權ヲ乙ノ行政廳又ハ官吏ヲシテ行ハシムルコト」此ノ二ツデアリマスガ、總動員法トノ關係ニ於テ問題トナルモノハ此ノ第一ノ部門、即チ禁止、制限ノ解除ト云フコトノ部分デアルト存ズルノデアリマス、後者ノ部分ハ、是ハ一種ノ實質ガ官制的ナモノデアリマスカラ、是ハ國家總動員法ト引付ケテ御考ニナルノハ聊カ適當デヤナイト云フ風ニ考ヘルノデアリマス、デ禁止制限ノ解除ノコトハ、是ハ御説ノヤウニ

國家總動員法ノ中ニ入レテ規定シテモ差支ナイ事項デアリマス、國家總動員法ノ改正手段ニ依ッテモハ絶對イカスト云フコトデモナイト存ジマス、併シ斯ウ云フ風ナ立法ヲヤリマシタノニハ理由ガアルノデアリマシテ、ソレヲチヨット申上ゲタイト思ヒマスガ、國家總動員法ノ現在ノ法規ヲ檢討シテ見マスと云フト、國家總動員法ハ、勿論國ノ總力ヲ戰争目的ニ集中發揮サセテ行ク爲ノ各種ノコトヲアル法律ナンデアリマスガ、其ノ各種ノ事柄ト云フノハドウ云フ所ニ重點ガアルカト申シマス、無論若干ノ例外ハアリマスケレドモ、從前ノ法規デハ賄ヒ得ナイヤウナ事ノ中デ、特ニ國民ニ新シク義務ヲ課シテ行ク、或事ヲ命令シテ行ク、或事ヲ禁止ラシテ行クトカ云フヤウナ、詰リ從前ノ各種ノ法制デ處理出來ナイモノヲ、此ノ總動員法ニ依ッテ新シク義務ヲ課シテ行クト云フ方面ニ重點ガアルノデアリマス、詰リ既存ノ法律秩序ノ中ニ持ッテ行クテ、總動員目的ヲ達成スル爲ニ必要ナル新シイ義務ヲ國民ニ課シテ行クト云フヤウナ方面ニアルノデアリマス、言葉ガ當ルカドウカ聊カ惑フノデアリマスガ、マア積極的ニ國民ニ對シテ或事ヲ要求スルト云フヤウナコトヲ主眼ト致シテ居ルノデアリマス、今回ノ戰時行政特例法案ハソコガ少シ狙ヒガ違ッテ居リマシテ、現在ノ各種ノ法規ガアッテ、ソレデ一應普通ノ場合ナラバソレデ法律秩序トシテ宜シイノデアアルガ、或種ノ生産ヲ増強スル爲ニハ、何カソレガ障リニナッテ居ル、サウ云フ場合ニ其ノ障リニナッテ居ルモノヲ取除クト云フコトニシタイ、言換ヘテ見ルト現在ノ法制デ義務ヲ課シテ居ルノダケレドモ、其ノ義務ヲ解除シ

テヤルコトガ、其ノ事業ノ本當ノ能率的ナ經營ヲナス上ニ於テ必要ダト云フ場合ニハ、或ハ禁止制限ヲ全部外スベキ場合モアリマセウ、特殊ノ工場トカ何トカニ付テ其ノ禁止制限ヲ外スト云フ場合モアリマセウガ、現在ノ法の制約ヲ解除シテ行クト云フ所ニ狙ヒガアルノデアリマス、其ノ部分ハ總動員法ノ狙ヒト所トハ少シ違フノデアリマス、サウ云フ所ニ著眼致シテ考ヘマス、今度ノ政府ノ生産増強ニ對スル政策ハ生産増強ヲ妨ゲルヤウナ、詰リ障礙トナッテ居ルヤウナモノハ除クノダ、而モ今度一方ニ於テ政府ノ指導監督機構ガ複雑多岐ニナッテ居ルモノヲ單純一元化シテ行クノダ、此ノ二ツガ一番重要デアルト云フ風ニ考ヘテ、其ノ二ツヲ組合セタモノヲ今度ノ生産増強ニ對スル國家ノ各種ノ政策ガアリマスケレドモ、立法の方面ヲ一番重要ナモノトシテ取上ゲテ行キタイト云フヤウナ考ヘヲ以テマシテ、矢張りハ國家總動員法ノ改正ニ依リヨリモ、其ノ特質等ニ鑑ミテ別ノ立法ヲシタ方が宜シイノデアアルマイカト云フヤウナコトデ、斯ウ云フ風ナ立法ヲ奏請スルコトニシタ次第デアリマス、長クナリマシタガ、國家總動員法ノ改正ニ依ッテ賄ッテモ賄ヒ得ナイモノデハアリマセヌ、唯政府ハサウ云フ考ヘノ下ニ別ニシタ、斯ウ云フ風ニ御了解ヲ願ヒタイノデアリマス

○竹下豐次君 今ノ御説明デ此ノ兩方ノ法律ト云フモノガ狙ヒ所ガ違フノダト云フ御氣持ハ能ク分リマシタノデスガ、總動員法ノ第一條ノ文句ヲズット讀ミ下シテ見マスレバ、今度ノ矛盾ヲ當然其ノ中ニ含シテ兩方ヲ一ツノ一本ノ法律ニスルト云フコトニ付キマシテ、運営上少シモ困ッタコトハナイノデアリマスガ、狙ヒハ左ト右ト云ッテモ、併シ本當ノ狙ヒハ國力ヲ充實スルト云フコトニ在ル譯デアリマスカラ、兩方一緒ニヤッテ行ッテモ却テ宜イノデハナイイカ、見易クモアルト云フヤウナ風ナ氣持ガ致シマスノデアリマスガ、是ハ矢張り是非二ツニ御分ケニナリマスカ

○政府委員(森山銳一君) 最終目的ハ同ジコトデアリマス、併シ其ノ行キ道ガ違フノデアリマシテ、片方ノモノハ今迄ナイ所ノ、詰リ國民ガ自由ヲ持ッテ居ル所ニ持ッテ行ッテ、其ノ自由ヲ制限スルト云フヤウナコトヲヤッテ行カウト云フノデアリマシテ、片方ハサウデナクテ今迄縛ラレテ居ルモノヲ、其ノ縛ッテ居ルモノヲ解イテ行カウト云フコトニナリマスノデ、一方ノ方ハ極メテ積極的ノ方面、片方ハ消極的ノ方面、斯ウ云フ風ニナルノデ、詰リ目的ハ同ジ所ニ行カウトシテ居ルノデアリマスガ、其ノ手段ガ違フノデ、詰リ同ジ高嶺ノ月ヲ見ルノデアアルガ、矢張り登ッテ行ク道ガ違フノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、是ハ別ノ立法ニシテ行ク方が宜シカラウ、斯ウ云フコトニシタ譯デアリマス、目的ハ御説ノ通り同ジデアリマス、先程モ申シマシタヤウニ國家總動員法ノ改正、ソレデ之ヲ賄ッテモ決シテ是ガ本質上惡イノダト云フコト迄申上ゲテ居ル譯デハナイノデ、竹下サンノ御心持ノ次第ハ私等モ能ク了解出來ルノデアリマス

○竹下豐次君 最後ノ狙ヒ所ハ同ジダト云フ御説明デ、私モサウデナクチヤナラスト思ッテ居リマスガ、處ガ特例ノアノ第一項デ御使ヒニナッテ居ル「綜合國力ノ擴充運用」ト云フ言葉ト、總動員ノ方デ御使ヒニナッテ居リマスル「國防ノ爲」云々ト云フコト實質ハ

同ジデアリマシテ、實質ガ同ジデアルコトヲ二ツノ違、タ言葉デ御現シニナルノハ如何ト思ヒマス、何カ違、タ意味ガアルヤウニ二ツノ法律ヲ讀シテ人ガ誤解シヤシナイカ、出來ルナラバ同ジ言葉デ御現シニナル方ガ宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ

○政府委員(森山銳一君) 其ノ御所見モ確カニ御尤ダト拜承スルノデアリマス、是ハ現在ノ制度ガ惡イノデハナイカト仰セニナレバソレキリデアリマスガ、企畫院ノ官制ノ中ニ此ノ綜合國力ノ擴充運用ト云フコトヲ謳ハレテ居ル、是ガマア詰リ國策ヲ立テルト云フヤウナ仕事ヲ、企畫院ハ國策ノ基本ニナルヤウナコトヲ總理大臣ノ輔佐機關トシテ處理シテ行クト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノコトヲ綜合國力ノ擴充運用ニ關スルコトト云フヤウナコトデ言ヒ現シテ居リマシテ、又其ノ外ニ企畫院トシテハ、總動員法ノ執行トカ何トカノ職掌ヲ持ツテ居リマシテ、言葉トシテハ實ハ兩方アリマスノデ、結局私ハ實質的ニハ同ジコトダト思ヒマスガ、今度ノ戰時行政特例法案ハ、企畫院官制ノ中ニアル此ノ文句ヲ借リタノデアリマス、是ハ私ハツキリシタ記憶ハアリマセスガ、企畫院ノ官制ヲ作ル時ニ、國家總動員法ノヤウナ斯ウ云フヤウナ文句ニシタラドウカト云フヤウナ意見モアツタヤウニ思ヒマスガ、綜合國力ノ擴充ト云フコトガ一番宜イノダト云フコトデ、隨分研究ノ結果此ノ言葉ヲ探ツタ、ソレナラバ此ノ企畫院ノ官制ノ中ニアル言葉ヲ此處ニ掲ゲタラ宜カラウト云フノデ、之ヲ探ツタノデス、衆議院ニ於テモ、綜合國力ノ擴充運用ト云フコトハドウ云フコトカト云フ

質問ヲ受ケタノデスガ、是ハ戰爭目的ニ國家ノ總力ヲ集中發揮サスト云フコトデアリマスト申上ゲタノデスガ、サウ云フ風ニナツテ來マスレバ御指摘ノヤウニ、國家總動員法ト少シモ違ハスト云フコトニナツテ來マス、強ヒテ言葉ヲ變ヘタト云フノデナク、企畫院官制ノ中ノ言葉ヲ探ツテ此處ニ用ヒルノガ一番宜シカラウト云フノデ此處ニ探ツタノデ、別ニソレ以上大シタ深イ考ハ、立案ノ時ニハ持ツテ居ナカッタノデス

○竹下豐次君 其ノ問題ニ付テハ尙御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ移リマシテ御尋ネ致シマス、次ニ行政職權特例案ノ第一條ニ付キマシテ御尋ネ致シタイト思ヒマス、是ハ少シ御尋ガ細カクナリマスデゴザイマスケレドモ、併シ全體ヲ了解スル上ニ於キマシテソレカラ先ニ御尋ネシナケレバ分リニクイト思ヒマスカラ御面倒デゴザイマスケレドモ、細カイ點モ御示願ヒタイト思ヒマス、此ノ「鐵鋼、石炭、輕金屬、船舶、航空機等重要軍需物資ノ生産擴充上」云々ト斯ウ書イデアリマス、先ツ此ノ五ツノ重要軍需物資、其ノ中初メノ鐵鋼、石炭、輕金屬ダケハ私トシテハ疑問ヲ持タナイノデスガ、船舶、航空機ト云フノハ、是非常ニ澤山ノ部分品ヲ集メテ拵ヘテ組立テラレテ居ルモノデアリマス、政府ノ御氣持デハ唯造船所トカ、世間デ航空機製作所ト云フヤウナ所ニ關スル限リニ於テ本條ヲ適用サレルト云フ御考デアリマセウカ、ソレトモ其ノ關係部分品全部ヲ包括スルト云フヤウナ御考デアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(森山銳一君) 船舶ニ例ヲ採ッテ申上ゲマスレバ、船舶一艘デモ餘計造船

ト云フコトニ關シテ必要ナル限度ニ於テハ、指示モ亦各省大臣ノ職權調整モ是ハ共ニ行ヒ得ルノデアリマシテ、其ノ對象ニナル事項ハ、是非常ナ廣汎多岐ナモノニ互ルト考ヘテ居リマス、唯職權調整ハ勞務、資材、動力、資金ト云フ風ニ其ノ對象ニナルベキモノヲ限定シテ居リマスガ、指示ニ至リマシテハ、色々ナ部分ニ關聯ガアルノデアリマス、船舶ト云フノハ、詰リ本當ニ運輸シ得ルヤウナ船舶ノ出來上ルコトヲ言ウテ居ルノデ、之ヲ細カク切碎イテ、サウシテ其ノ部分品ヲ一ツ／＼此處デ考ヘテ居ルト云フ譯デハナイノデス、一艘ノ實際ニ運輸シ得ル所ノ船舶ノ出來上ル爲ニ必要ナル限リハ、色々ナ行政ノ部門ニ互ツテ指示ガ發動出來ルト、斯ウ云フ風ニ此ノ勅令案ハ立案サレテ居ルノデス

○竹下豐次君 モウ少シ實例ヲ舉ゲテ御尋シタ方ガハツキリスルカト思ヒマスガ、例ヘバ船デ使フ電動機ヲ製作スル工場ガアル、其ノ電動機ヲ製作スル工場デ人ガ足りナイカラ人ヲ増サナケレバナラヌ、或ハ電力ガ足りナイカラ電力ヲ供給シテ貰ハナケレバナラスト云フヤウナ場合ニ、矢張り其ノ工場ニ於ケル電力ノ供給トカ人ノ配置トカ云フヤウナコトニ付キマシテモ指示サレル、斯ウ云フコトニナル譯デスカ、其ノ外小サイ例ヲ舉ゲレバ幾ラデモアルダラウト思ッテ居リマス

○政府委員(森山銳一君) 御考ノヤウニ私共モ考ヘテ居リマス

○竹下豐次君 ソレカラ其ノ「等」ト云フ言葉ニ付キマシテ色々疑問ヲ持チマスノデ、御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、是ハ衆議院デ法制局長官ノ御答辯デアツカト思ヒマ

スルガ、其ノ中ニハ銅ナドヲ加ヘルヤウナコトガアルカモ知レナイ、或ハ亞鉛ト云フヤウナ物ヲ加ヘルコトガアルカモ知レナイト云フ御話デアリマス、サウ云フマア軍需品トシテ直接軍ノ方デ御使ヒニナル品物ニ關スル限リニ於テ指示ヲ御與ヘニナリマスト云フコトハ、サウシテ五ツノ外ニ追加サレルコトハ御尤モノコトダト思ッテ居リマス、其ノ點ニ付テハ疑ヒヲ持タナイノデアリマスケレドモ、例ヘバ鐵ノ工場ニ於テ其ノ最モ大事ナ原料鐵石ガ要ル、其ノ鐵石ヲ掘リ出ス鐵山下云フモノガアル、其ノ鐵山下人ヲ使ハナケレバナラナイ、増シテ貰ハナケレバナラナイ、或ハ「ワイヤーロープ」モ要ルト云フヤウナ問題ガ何處デモ起ル、サウ云フ場合ヲ考ヘマス、此ノ鐵石ト云フ物ハ鐵石ソレ自體ガ軍需物資デアルト思ハレマスガ、ナイヤウニ御考ニナリマスノカ、其處迄及ンデ行クノデアリマスガ、少シヤヤコシク説明ガナリマシテ、御分リニナラナイカモ知レマセスガ、其ノ場合ニ於テ鐵礦山ノ勞務、資金、動力、其ノ他ノ問題ニ付キマシテモ矢張り指示ノ手ガ及ブノカ、或ハ鐵山下使フ「ワイヤーロープ」ヲ造ル其ノ工場ノ動力其ノ他ニ付テモ矢張り指示ヲサレルコトニナルノカ、其ノ邊ノ限界ガドウ云フコトニナリマスガ、其ノ點ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 此ノ指示ハ非常ニ廣イ行政部門ニ及ビ得ルノデアリマシテ、今御舉ゲニナリマシタヤウナ場合ニハ勿論總理大臣ノ指示權ハ發動シ得ルノデアリマ

○竹下豐次君 ソレカラ現在五ツノ物資ガ掲ゲラレテ居ルノデアリマスルガ、是ハ何

レモ私ナドノ見ル處、輕重ノ區別ヲ付ケラレナイ程大事ナ物ダト思フテ居リマス、昨日伍堂委員ノ御意見トシマシテ、船ニ特別ニ重點ノ中重點ヲ置イテ貫ヒタイト云フヤウナ希望の御意見ガアツクヤウニ伺フタノデアリマスガ、政府ノ方デモ矢張り此ノ中デモ輕重ノ區別ヲ御付ケニナリマシテ、或物ダケ特ニ重ク取扱フ、ソチヲ方ニ優先權デモ與ヘルト云フ風ニナサル御考ガアルノデアリマスガ、ソレトモ同等ニ御扱ニナリマスガ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○政府委員(森山銳一君) 此ノ五ツノ事項ト申シマスガ、或ハ品目ト申シタ方ガ宜シイカ、詰リ超重點産業ト申シテ居リマスル此ノ五ツヲ舉ゲテ居リマスルノハ、總理大臣ガ十八年ト云フノハ非常ニ重要ナ時期デアリ、斯ウ云フコトヲ常々申シテ居ラレマスルガ、此ノ重要ナ十八年ノ仕事ハ一體何カト言ヘバ、色々重要ナコトガ澤山アルケレドモ、此ノ五ツノ事項ダケハドウシテモ是ハ缺クベカラザルモノナシ、之ニ超重點のナカヲ加ヘテ行ク必要ガアルノダ、斯ウ云フコトデ特ニ五ツヲ拾ヒ上グラレテ居ルノデアリマス、之ヲ他ノ言葉デ言ヘバ絕對的ニ必要ナル産業ナリ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ此ノ五ツヲ取上グラレタノデアリマス、ソレト比較シテ今度ソレデヤソレト竝ブモノガアルカドウカト云フコトニナレバ、矢張り同ジヤウニ竝ブモノガアルノデアラウト思ヒマスガ、今度ノ勅令ノ主客ト申シマスガ、本體ハ何處カト言ヘバ此ノ五ツダト云フ風ナ考デ、併シ少シ時ガ經テ行ツテ見ルト、ドウモ此ノ五ツダケハ本當ニ行カヌノダト云フ場合ニハ、尙外ノモノモ此ノ五ツノモノト同ジヤウニ扱フ必要ガ生ジ

テ來ルデアラウト云フノデ、ソコニ一ツノ裕リヲ取ツテ、「等」ト云フ文字ヲ加ヘ、重要軍需物資、詰リ此處ニ掲ゲタヤウナモノハ重要ナ軍需物資デアアルガ、是ト竝ベ得ルヤウナ重要軍需物資ハ、又此ノ五ツト同ジヤウニ、指示權ノ對象トナルモノト考ヘテ宜シイノダト云フコトヲ此ノ勅令ノ面ニ謳フテ居ルノデアリマス、併シ政府ノ考トシテハ、何處迄モ此ノ五ツヲ絕對ノモノトシテ考ヘテ行クト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然ラバ此ノ五ツノ中ニ輕重ノ差異ガアルカト云フコトニナリマスレバ、是ハ實際行政ヲヤツテ行ツテ、サウシテ此ノ中デ其ノ時々ノ要求ニ從ツテ、ドウモ五ツノ中デ此ノ物ハ、特ニ重ク視テヤラナケレバイカヌト云フ事態ガ起レバ、或ハサウナルカモ分リマセヌ、ガ目標トシマシテハ五ツハ輕重ノ差ナク、皆取上ゲテヤツテ行カナケレバナラヌ、箇々ノ行政ガ發動スル場合ニ、或場合ニハソコニ輕重ノ差ガ付ケラレタヤウナ結果ニナルモノガアルカモ分リマセヌガ、是ハ詰リ彈力性アル行政ヲヤルノデスカラ、總テガ劃一的ニ同ジヤウニ行クト云フコト迄ハ考ヘナイノデ、或場合ニハ多少ノ差ヲ生ズル場合ガアルカモ分リマセヌガ、目標トシテハ同ジヤウニ行クト云フコトダケハ、是ハ變ラヌノデアリマス、詰リ目標ハ同ジク取扱フ、併シ箇々ノ行政ニ於テ多少ノ差異ヲ生ズルコトハ、又已ムヲ得ナイノデアアル、斯ウ云フ風ニ御考ヘ願ヒタイノデアリマス、併シ五ツヲ取上ゲテ居リマスカラ、外ノ物ヨリモ特ニ之ニ重點ヲ置イテ行クト云フコトダケハ、此ノ勅令ノ表面ニハッキリ出テ居ルノデアリマスカラ、其ノ點ダケハ變リハナイト思フ

○竹下豐次君 サウシマス取敢ズノ所、五ツノ物ノ中デ輕重ノ區別ヲ付ケテ取扱ハウトハ思ハナイ、銅其ノ他ノ物資ニ付テモ當分ノ間之ニ追ッ駆ケテ追加スルト云フ氣持ハナイノダ、五大物資ノ生産ニ全力ヲ集中シテ行クノダト云フ風ニ諒解シテ置ケバ宜シウゴザイマスガ

○政府委員(森山銳一君) 左様デアリマス

○竹下豐次君 此ノ五ツノ物資ヲ製造スル工場等ニ於キマシテ、大キイ組織ノモノヤラ小サイ規模ノモノヤラ色々アル譯デアリマスガ、ソレハドウ云フ御取扱ニナルノデアリマスガ、矢張り全部御取扱シテハ同ジヤウナ氣持デ一緒ニ取扱フ御開始ニナルノデアリマスガ、ソレトモ大キイ部分ダケヲ先ヅヤツテ、其處ニ集中シテ、小サイモノハ當分其ノ儘ニ目ヲツムツテ行クノダト云フヤウナ風ニデモオヤリニナルノデアリマスガ

○政府委員(森山銳一君) 其ノ問題ニナリマスト云フト、今私ガドウ云フ風ニスルノダト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ寧ロ不可能デアリマシテ、此ノ勅令案ノ御制定ヲ戴キマスレバ、之ノ實施ニ付テ總理大臣ハ色々ノ考ヲ決メラレテ、ドウスルカト云フ其ノ行キ方ガ其ノ上デ決ツテ來ルコトダト思ヒマスガ、大キイトカ小サイトカ、サウ云フコトニ依ツテ差別ヲスルヤウナコトハ私ハナイノデヤナイカト思ヒマス、小サイモノデモ特ニソレガ必要ナモノデアラナラバ、其ノ方ニ特ニ力ヲ用ヒテ行クト云フコトハ當然ナコトデアリマシテ、總理大臣ガ常ニ言ハレヤウニ、「今度ノ此ノ法律モ勅令モ總テ劃一的ナ發動ト云フヤウナコト

ハ考ヘナイ、矢張り特殊性ヲ見テ必要デアルモノニハドシ／＼ヤツテ行クト云フ風ニ考ヘルノデ、或工場ニ付テサウ云フコトヲヤツタカラ、他ノ工場ニモ亦同ジコトヲヤルカト言ヘバ、必ズシモサウハヤラナイ、必要ナルモノニ付テ必要ナル措置ヲ執ツテ行キタイ、是レ乃チ彈力性アル運用ナリ、俺ハサウ云フノダト云フコトヲ言ウテ居ラレル、恐ラクサウ云フコトニナリマスノデ、今御質問ノ點ハ私ハ此處デ抽象的ニドウダト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセヌノデ、是ハ一ツ御勘辨ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 竹下君、才長イナラ午後ニ願ツタラ如何デスカ

○竹下豐次君 大分長ク掛リマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ午前ハ此ノ程度ニ致シマシテ、午後ハ二時ヨリ開會致シマス

午前十一時五十九分休憩

午後二時六分開會

○委員長(伯爵溝口直亮君) 只今ヨリ委員會ヲ開會致シマス、午前ニ引續キマシテ御質問ヲ願ヒマス

○伍堂卓雄君 商工大臣ニ御伺ヒ致シマス、二月十三日ノ衆議院本會議ニ於テノ豫算委員長ノ御報告ノ中ニ、原價計算制ニ言及サレマシテ、其ノ中ニ斯ウ云フコトヲ言ハレタノデアリマス、「先ヅ原價計算制、勞務制度ニ付テハ、政府ハ依然原價計算制ヲ執ル旨ノ答辯デアアルガ、全面的ニ此ノ方針ガ續ケラル、限り、遺憾ナガラ生産増強ハ豫期ノ如ク行ハレナイノデアラウ」其ノ後ニ「ソノ聯ノ色々ヤリ方ニ付テ説明ガアリマシテ、最後ニ「政府ハ此ノ原價計算制ヲ一

○政府委員(森山銳一君) 其ノ問題ニナリマスト云フト、今私ガドウ云フ風ニスルノダト云フコトヲ此處デ申上ゲルコトハ寧ロ不可能デアリマシテ、此ノ勅令案ノ御制定ヲ戴キマスレバ、之ノ實施ニ付テ總理大臣ハ色々ノ考ヲ決メラレテ、ドウスルカト云フ其ノ行キ方ガ其ノ上デ決ツテ來ルコトダト思ヒマスガ、大キイトカ小サイトカ、サウ云フコトニ依ツテ差別ヲスルヤウナコトハ私ハナイノデヤナイカト思ヒマス、小サイモノデモ特ニソレガ必要ナモノデアラナラバ、其ノ方ニ特ニ力ヲ用ヒテ行クト云フコトハ當然ナコトデアリマシテ、總理大臣ガ常ニ言ハレヤウニ、「今度ノ此ノ法律モ勅令モ總テ劃一的ナ發動ト云フヤウナコト

ハ考ヘナイ、矢張り特殊性ヲ見テ必要デアルモノニハドシ／＼ヤツテ行クト云フ風ニ考ヘルノデ、或工場ニ付テサウ云フコトヲヤツタカラ、他ノ工場ニモ亦同ジコトヲヤルカト言ヘバ、必ズシモサウハヤラナイ、必要ナルモノニ付テ必要ナル措置ヲ執ツテ行キタイ、是レ乃チ彈力性アル運用ナリ、俺ハサウ云フノダト云フコトヲ言ウテ居ラレル、恐ラクサウ云フコトニナリマスノデ、今御質問ノ點ハ私ハ此處デ抽象的ニドウダト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセヌノデ、是ハ一ツ御勘辨ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 竹下君、才長イナラ午後ニ願ツタラ如何デスカ

○竹下豐次君 大分長ク掛リマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ午前ハ此ノ程度ニ致シマシテ、午後ハ二時ヨリ開會致シマス

午前十一時五十九分休憩

部廢止スル考ハナイカ、經理統制令ヤ、賃金統制令等ノ制約ヲ乘越エテ、高能率第一主義ヲ採用スルノ英斷ニ出デラレテハ如何トノ問ニ對シ、鈴木企畫院總裁ハ、原價計算ヲ全面的ニ持ッテ行クカドウカト云フ問題、最高能率ヲ發揮スルヤウニ、是等ノ各問題ヲ取扱フ點ニ付テハ篤ト研究シテ參リ、御意見ノ如キ方法ニ進マムトシテ居ル、但シ原價計算ヲ悉ク止メテシマフ譯ニハ參ルマイトノ答辯デアリマシテ、雙方ノ意見ハ殆ド接近シテ參リマシテ、何レ之ガ是正ヲ見ルコトト存ジマス、國家ノ爲幸慶ノ至リニ堪ヘマセヌ、斯ウ云フ應答ガアリマシテ、ソレガ九日ノ日ノ新聞ニ出サレテ居リマシタノヲ見ルト、大キナ見出しデ原價計算制緩和、サウシテ此ノ企畫院總裁ノ答辯ノ要旨ガ書イテアリマス、ソレカラ尙昨日ノ讀賣新聞、「戰力擴充ヘ總進軍議會成果」トシテ色々書イテアリマスガ、最後ニ特ニ此ノコトヲ引用シマシテ、「此ノ時僅カニ鈴木企畫院總裁ニ依テ原價計算制ノ緩和、能率利潤ヘノ適正ナル方策ガ聲明サレタノハ一收穫デアッタ」斯ウ云フコトガ書イテアリマシテ、此ノ原價計算制ノ緩和ト云フコトガ大キナ收穫デアッタヤウニ世間ニ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、之ニ關シマシテ今朝企畫院總裁ノ御意見ヲ聽キマシタ所ガ、緩和ト云フ考ハ毛頭持ッテナイノダ、自分ノ言ッタクコトガ誤リ傳ヘラレテ居ルノダト云フ言明ガアリマシタ、サウシテ其ノ御話ノ中ニ、特ニ陸海軍ニ於テハ從來通り徹底シテ原價計算制ヲ採用スルノダ、其ノ言葉ノ模様ニ依リマスト陸海軍ハ別ニシテ、陸海軍以外ノモノニ付テ價格量カラ原價計算制ニ付テ考慮スル餘地ガアルヤウナ御言葉ニ聽取レタ

ノデアリマシテ、私ノ誤解カドウカ知リマセヌガ、併シ其ノ企畫院總裁ノ御答ハ、何レニシマシテモ此ノ際ハキリト商工大臣ノ御考ヲ言明シテ戴ク必要ガアルノデアリマス、私ハ全面的ニ原價計算制ヲ採用シ、一層強化スル必要ガアル、是ハ能率増進ノ點カラ申シマシテモ、又價格問題、價格政策ノ點カラ云ッテモ其ノ必要ガアル、但シ價格政策ノ關係ニ於キマシテ單一ノ原價計算基礎トシテ價格ヲ取上ゲルト云フコトハ、或ハ却テ能率ヲ阻害スル點ガアルカモ知レマセヌガ、併シ兎ニ角暴利ヲ貪ルコトヲ防ギ、且生産能率ヲ益、向上セシメルヤウニ獎勵スル爲ニハ、其ノ個々ノ企業ニ於ケル是迄ヤリ來ツタ原價計算ニ依リマシテモ、ソレヲ調バタ上デソレニ對シテ必要ナ補助金ヲヤルトカ、又能率ヲ向上セシメルヤウニ獎勵スルトカ云フコトガ必要ナデアッテ、飽ク迄モ原價計算制ニ依ッテ價格政策モ取扱ハナクチャナラス、左様ニ考ヘルノデアリマスガ、之ニ對スル商工大臣ノ御考ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 原價計算ニ關シテ

ノ御質疑デゴザイマスガ、原價計算制度ハ今日御承知ノ通り陸海軍ニ於キマシテ軍需物資ノ調達ニ付テ最モ廣ク、一番徹底シテ行ハレテ居ルノデアリマス、商工省ノ物價局ニ於キマシテモ、先年來矢張り適正物價ト云フモノヲ定メテ行ク上カラ云ヘバ、ドウシテモ此ノ原價計算制度ト云フモノヲ各事業ニ徹底致シテ、サウシテ之ヲ基礎ニ適正物價ヲ考ヘテ行カナケレバナラナイト云フ考ノ下ニ、各重要物資ニ付キマシテ原價計算ヲ行ッテ行キマスル統一シタ基準ヲ委員會等ニ於テ研究ヲシテ貫ヒマシテ、之ニ基

イテ漸次各事業ニ對シテ重要物資ノ部門ニ於キマシテ、此ノ原價計算制度ヲ徹底強化スルヤウニ進ンデ參ッテ居ルノデアリマス、此ノ問題ハ商工省トシマシテハ從來一番大キナ粗ヒガ物價ヲ適正ナラシメル、適正物價ヲ見出スツノ方法トシテ考ヘラレテ來タノデアリマスガ、今御話ガアリマシタ通り、此ノ原價計算制度ヲ徹底スルト云フ事柄ハ企業ノ合理化、從ッテ能率増進ト云フ上カラ考ヘマシテ最モ必要ナコトデアリマシテ、更ニ此ノ價格ノ點カラ此ノ原價計算ト云フモノヲ行ッテ行クノミナラズ、原單位計算、單位ノモノガ出來ルノニ對シテ各種ノ生産條件ガドウ云フ程度ニ行ッテ居ルカト云フコトヲモ一ツ、各重要産業ニ於キマシテハ原價計算制ト相並ンデ原單位計算制ト云フモノヲ行ッテ參リマシテ、サウシテ能率ノ増進、重要産業ニ於ケル生産増強ト云フモノヲ促進スル基礎ト致シテ參リタイ考デアリマス、此ノ考カラ見マスルト云フト益、以テ此ノ原價計算制度ト云フモノハ各種企業ニ徹底強化スベキモノデアルト思フノデアリマス、唯物價問題ヲ扱ヒマス上ニ於キマシテ、此ノ原價計算ニ依ッテ各企業、各事業ニ付テノ原價計算ガ立テラレ、サウシテ合理化ガ行ハレテ行クト云フ場合ニ、出テ參リマシタ此ノ結論ヲ、ドウ云フ風ニ物價ノ面ニ表ハシテ來ルカト云フ事柄ニ付キマシテハ、色々取扱ヒ方ガアラウカト思フノデアリマス、或ハ事業別ニ、企業別ニ複數ノ價格ヲ定メマシテ、各ノ企業ガ必要トシテ居ル原價ヲ本トシテ、企業別ニ値段ヲ決メテ來ルト云フヤリ方モアリマセウシ、或ハ其ノ事業全體ヲ一本ノ原價計算ヲ基礎ニ、標準的ナ企業ヲ取ッテ之ヲ基

礎ニ價格ヲ定メルト云フヤリ方モアリマセウシ、或ハ同種ノ事業ヲ或「グループ」ニ分ケマシテ、何段階カニ分ケマシテ、サウシテ其ノ「グループ」ニ於ケル標準企業ト云フモノノ原價ヲ基礎ニ、價格ヲ「グループ」毎ニ定メテ來ルト云フヤリ方モアリマセウシ、從來モ物資、又事業ノ性質ニ依リマシテ是等ノ扱ニ付キマシテハ、色々取扱フ異ニシテ參ッテ居ルノデアリマスガ、是等ノ點モ矢張り事業ノ性質、又其ノ重要物資ノ生産狀況ト云フモノト睨ミ合シテ、適切ニ之ヲ物價ノ面ニ現ハシテ來ナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、其處ニハ矢張り基礎トナルモノハ飽ク迄嚴正ナル、正確ナル原價計算制ト云フモノヲ基礎ニ置イテ之ヲ考ヘテ行クト云フコトヲ基調トシナケレバナラヌト云フコトハ言フヲ俟タイノデアリマス、サウシテ此ノ原價計算制ヲ物價ノ面ニ表ハシテ行ク方法如何ニ依リマシテハ、却テ能率ノ増進ヲ妨ゲルト云フヤウナ結果ニ陥ル虞モアルノデアリマシテ、其ノ邊ニ付キマシテハ十分、各生産事業ノ生産能率増進ト云フコトヲ促進スルヤウニ、此ノ原價計算制度ヲ物價面ニ現ハシテ來ル場合ニハ考慮スル必要ガアラウト思ヒマス、併シ全面ニ此ノ原價計算制度ハ、是ハ強化スベキモノデアルト云フ御意見ニ對シマシテハ、私モ全然同様ナ考ヲ持ッテ居リマス

○伍堂卓雄君 原價計算問題ニ付テハハッキリ分リマシテ、私モ全然御同様ナ意見ヲ持ッテ居リマス、ソレニ關聯致シマシテ物價政策デアリマスガ、衆議院ノ豫算總會、各委員會ニ於テ商工大臣ガ言明サレマシタ所ヲ綜合致シマスト物價政策ハ二本建デ行ク、詰リ適正價格ニ依ルノ補助金政策ト二本

建デ行ク、本來言ヘバ總テ生産條件ガ變ツタ
ノニ依ッテ適正價格ニ改メルベキモノデアル
ケレドモ、基本物資ノ如キハ其ノ基本物資
ノ價格ヲ俄ニ上ゲルト、ソレガ一般ニ惡循
環ヲ及シテ非常ナ惡イ影響ヲ來スカラソレ
等ノ物、例ヘバ鐵トカ石炭トカ云フモノニ
對シテハ、價格ヲ引上ゲナイデ補助金政策
ニ依ッテヤル積リデアル、斯様ナ御考ニ集約
サレルト思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ
カ

○國務大臣(岸信介君) 大體左様ニ考ヘテ
居リマス

○伍堂卓雄君 私モ全然其ノ點ニ付テハ同
感デアリマス、唯私考ヘマスルノニ、補助
金政策ト云フモノハ、個々ノ企業ノ生産原
價ニ對シマシテ只今原價計算ニ付テ御述ニ
ナリマシタヤウニ、矢張り生産原價ニ付テ
十分ニ檢討サレテ、サウシテ甲乙ノ同ジ物
資ヲ生産シタ者ハ、能率ヲ擧ゲタ者ガ矢張
リ酬イラレルト云フ建前デナケレバナラス
ト思フノデアリマス、之ヲ言換ヘマスト能
率ノ良イ工場、能率ノ惡イ工場生産シタ
モノガ、ソレガ一樣ニ取扱ハレテ原價ガ公
定價格ニ對シテ超過シテ居ル場合ニ、其ノ
結果ガ例ヘバ七分ノ配當トカ、八分ノ配當
ニナルヤウニ逆算シテ、原價ト公定價格ノ
差額ヲ補助スルト云フ風ナコトガ劃一的ニ
行ハレマスルト、ソレハ生産増強ドコロデ
ヤナイ、別段勉強シナクテモ價格ダケノモ
ノハ相當ノ利潤ヲ見テ買ヒ取ッテ呉レルノ
ダト云フ風ナ氣持ニナル處ガ多分ニアルノ
デアリマス、デアリマスルカラ補助金政策
ノ運用ト云フコトガ非常ニ重大ナノデアリ
マス、動モスルト補助金政策ヲ實行スル爲
ニ企業ノ向上心ヲ阻害スルヤウナ處ガナイ

トハ言ヘマセヌ、又補助金其ノモノハ今年
ノ製品ノ結果ガ來年デナケレバ補助金ヲ貰
ヘナイ、詰リ直グ其ノ場デ利キ目ガナイト
云フコトガ一つノ缺點デアリマス、生産増
強ノ一番利キ目ノアルノハ、同ジ金デモ其
ノ場デヤルノト後ニヤルノトハ非常ニ效果
ガ違ヒマス、私自身ノ體驗ヲ申上ゲテ時間
ヲ取ルノハ申譯アリマセヌガ、會テ私ハ吳
海軍工廠ニ奉職中ニ、請負制度等ニ付テ色
色經驗シテ見タノデアリマスルガ、其ノ場
デ能率ヲ上ゲタダケ報イテヤルト云フコト
程利キ目ノアルモノハナイ、私ノ色々出會
ハシマシタ中ノ特別ノ例ハ、吳ニ一人ノ年
寄ノ女ガ居リマシタ、ソレガ大勢ノ人夫ヲ
使ッテ色々野外ノ工事ヲヤッテ居ル、非常
ニ上手ニ扱ッテ行ク、ヤリ方ヲ見テ居リマス
ト、例ヘバ煙突ヲ築造スル、銘々ガ是ダケ
ノ時間ニ是ダケノ煉瓦ヲ積ムノダト云フ豫
定ヲ決メテ置キマシテ、サウシテ其ノ日ノ
就業時間ガ終ツタ後ニ、其ノ決メタ煉瓦ノ數
ヨリモ超過シタ者ニ對シテ其ノ超過數ダケ
財布カラ金ヲ拂ッテヤル、是ガ非常ニ利キ目
ガアリマシテ、他ノ同ジ仕事ヲ正式ノ請負
業者ガヤッテ居ルノト較ベマシテ著シク效果
ガアル、即チ獎勵トカ補助トカ云フコトハ、
觀面ニ其ノ效果ガ現レテ行カナケレバ利キ
目ガナイ、今年ノ結果ガ來年報イラレルヤ
ウデハ補助金政策ト云フモノハ著シイ效果
ガナイト私ハ思フノデアリマス、補助金ノ
ヤリ方ニ付テ只今申上ゲタヤウナ觀點カラ
何カ御考ハゴザイマセヌデセウカ

○國務大臣(岸信介君) 低物價政策堅持ノ
見地カラ、基礎的物資ニ付キマシテハ補助
金交付ノ方法ニ依ル、所謂二重價格ノ制度
デ行ク方針デ政府ハ進ンデ居ルノデアリマ
スガ、此ノ補助金ノ政策ニ付キマシテハ適
正物價ニ直ス、物價デ直チニ之ヲ補正シテ
行クト云フヤリ方ト較ベマシテ、低物價堅
持ノ見地カラハ補助金政策ノ二重價格制度
ノ方ガ物價ニ現レルコトハ間接デアリマス
ノデ、ドウシテモ此ノ方法ガ良イト云フノ
デ採ッテ來テ居ルノデアリマス、擬テ生産面
ニ與ヘル關係ニ於キマシテハ、補助金交付
ノ方法ニ依ルト云フ事柄ハドウシテモ間接
ナ方法ニナリマスノデ、適正價格ノ方法ニ
依ルヨリモドウシテモ生産部面ニ及ス影響
ハ望マシクナイ、特ニ生産増強ト云フコト
ヲ中心ニ考ヘテ見マスルト、ドウモ望マシ
クナイト云フ事柄ハ、是亦否ムコトノ出來
ナイ事實デアラウ、其ノ理由ハ色々ノ所ニ
アルト思フノデアリマスガ、今御指摘ニナリマ
シタヤウニ此ノ補助金交付ノ政策ヲ採ル場
合ノ運用如何ニ依ッテ、餘程其ノ補助金政策
ノ缺點ト云フモノモ補ハレル、又其ノ運用ガ
適當デナイト云フコトニナリマス云フト、
補助金ノ效果ト云フモノハ非常ニ薄クナル、
斯ウ云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、先ヅ原
價トノ關係デアリマスガ、今御話ガアリマシ
タヤウニ、個々ノ會社デ現實ニ掛ツタ生産費
ト云フモノヲ、唯目的ニソレヲ基礎トシ
テ各個別ニ値段ヲ決メテ行ク、サウシテ補
助金ノ額ヲ決メテ行クト云フヤリ方ヲヤリ
マス、御指摘ニナリマシタヤウニ努力シ
テ能率ヲ上ゲテ生産費ヲ安クスル、サウス
レバ補助金額ガ少クナツテ來ル、改善ヲセズ
ニウント生産費ガ掛レバ、其ノ生産費ヲ補
テ尙一定ノ利潤ト云フモノヲ確保シテ貰フ
ダケノ補助金ガ貰ヘルト云フコトニナレバ、
苦勞シテ能率ヲ上ゲルト云フコトニ對スル
民間事業者ノ熱意ト云フモノヲ弱メル譯デ

アリマス、從ッテ其ノ補助金額ヲ個々ノ企業
ニ付テ決メル場合ニ於キマシテモ、先程原價
計算制ノ所ニ申述ベマシタ如ク、矢張り基
礎ハ原價計算ヲ基礎ニ置ケレドモ、ソレ
ヲ直チニ其ノ儘原價計算ダ出來タモノヲ盲
目的ニ補助金額ニ盛ルガ宜イノカ、或ハ
ソコニ或一定ノ標準以上ノ良イ能率ヲ擧ゲ
タ場合ニ於キマシテハ、利潤ガ或程度ノ限
度迄加ッテ行クヤウニ補助金額ヲ決メルカ、
是ハ補助金ノ額ヲ決メル場合ニ餘程考慮ヲ
シテ行カナケレバナラス問題ガラウト思ウ
ノデアリマス、今日私共ノ運用シテ居リマ
スル補助金ノ、石炭ノ例ヲ取ッテ見マスルト
云フト、御承知ノ如ク石炭ニ付キマシテハ、
山ニ依リマシテ非常ニ「コスト」ガ違ッテ居ル
モノデアリマス、此ノ違ッテ居ル「コスト」ノ中
ニハ山ニ一種ノ宿命ト申シマスカ、人力デ
如何トモスルコトノ出來ナイヤウナ客觀的
條件カラ「コスト」ノ高クナツテ居ルモノト、サ
ウデナクテ色々改善スルコトニ依ッテ事實改
善シ、能率ヲ上ゲル、ソレニ依ッテ生産費ヲ
安クシ得ル面ト二ツアルヤウニ思フノデア
リマス、金屬山等ニ於キマシテハ品位ガ惡イ
山ト云フモノハ、ドウシテモ高品位ノ山ヨ
リハ生産費ガ客觀的ニ高ク掛ル、又石炭ノ
賦存狀況等カラドウシテモ高ク付ク山ガア
ルノデアリマス、而モ今日ノ石炭ノ増産ノ必
要カラ申シマス、サウ云フ客觀的ノ條件
ノ好イ山ダケ掘ッテ、惡イ山ハ掘ラナイト云
フ譯ニハ行カナイノデアリマシテ、惡イ山
モ掘ラナケレバナラス、サウスルト惡イ山
デモ矢張り引合フヤウニ補助金ノ交付ノ場
合ニ考ヘテ行カナケレバナラス、而モソレ
ヲ同一ニ機械的ニ決メマス、賦存狀況ノ
良イ山ハ非常ニ多クノ利潤ヲ上ゲルト云フ

コトニナル、是モ適當デナイ、サウカト云ッテ山々ニ別々ニ生産費ヲ作リマス、先程來申シタヤウニ苦心シテ生産費ヲ低下スレバ、ソレダケ補助金額ガ下ッテ來ルト云フコトモ亦適當デナイ、斯ウ云フ考カラ山ノ「グループ」ヲ作リマシテ、略、同様ナ客觀的條件ニアルモノニ付キマシテハ同様ナ補助金額ヲ與ヘル、サウスルト其ノ額ノ間ニ於キマシテ、努力シテ生産費ヲ安クスレバ利潤ハ多クナルシ、努力シナイト云フト生産費ヲ償フカ或ハ償ヘナイカト云フヤウナ點ニ止ル、ソコニ努力シ、改善シ、能率ヲ上ゲルト云フコトモ或點迄出來ル、從ヒマシテ補助金ノ額ヲ決メマス場合ニ原價計算ヲ基礎トハシマスケレドモ、是デドウ云フ風ニ補助金額ヲ決メルカト云フニ付キマシテハ、事業ニ依ッテ能率増進スルヤウナ方法ニ之ヲ考ヘテ適用シテ行カレバナラヌト思フノデアリマス、次ニ補助金ノ交付ハドウシテモ所謂後金ニナツテ、生産ノ行ハレ、又ソレヲ他ニ引渡シタコトカラ言ヘバ、後カラ此ノ補助金ノナニガ入ッテ來ルト云フ事柄ハ、又能率増進、生産増強ノ熱意ノ上ニ非常ニ惡イ影響ガアルト云フコトモ御指摘ノ通りデアラウト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ今私ノ方デ補助金ヲ與ヘテ居リマス石炭及鉄鐵、鐵鋼ニ付キマシテハ、日本石炭會社、鐵鋼原料統制會社ト云フヤウナ機構ヲ作ッテ居リマシテ、是ガ一元的ニ買入レル、サウシテ補助金ハ此ノ會社ニ對シテ政府ガ與ヘルト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、會社ト生産者トノ間ノ決濟ト言ヒマスカ若シモ其ノ場引渡シサレル時ニ、適當ナ値段デ直グ是ガ金ニナツテ渡ッテ行クト云フヤウニ運用サレマスレバ、

餘程此ノ後金ト云フ事柄ノ弊害ガ少クナルト思ヒマスガ、今日ハ年度末ト云フコトデハナクシテ、一年ヲ二箇月、三箇月ト云フヤウナ期間ニ纏メマシテ、之ノ決濟ヲ致シテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、此ノ會社ト生産者トノ取引ノ關係、之ノ決濟ノ方法ヲ適正ニスルコトニ依リマシテ、補助金ガ非常ニ遅レテ手ニ入ルト云フ弊害ヲ餘程是正出來ルダラウト思フノデアリマス、十分サウ云フヤウニ是等ノ會社ノ事業運営ヲ持ッテ參リタイト思フノデアリマス、ソレカラ尙現實ノ石炭、鐵等ニ付キマシテ、此ノ補助金政策ニ付テノ非常ニ大キナ非難、又生産増強ニ對スル一ツノ支障ト考ヘラレテ居リマスノハ、此ノ補助金ノ額ガ十分ニ計上サレナイ、ドチラカト言フト金ガ常ニ下目ニ、又十分ニ補償スルト云フカ、公定價格ト生産費トノ間ノ引合ハナイ値段ヲ十分ニ補償スル額ニ達シテ居ライ、是ハマア色色ナ財政上ノ都合モアリマセウシ、又補助金ノ組マレル豫算ガ次ノ年ノ事情ヲ或點迄盛リ込シテ行ク譯デアリマスカラシテ、次ノ年ノ現實ノ生産費ノ値上リト云ッテ、サウナモノガ見込以上ニ騰ルヤウナ場合ニ於キマシテハ、其ノ間ニ差額ガ出テ來ルノデアリマシテ、是等ノ點ヲ矢張り補整致シマシテ、補助金ヲ與ヘル以上ハ所謂手ニ入ル生産者ノ適正生産者價格ト云フモノヲ生産者ニ確保シテヤルダケノ補償金ナリ補助金ト云フモノヲ計上シテ行ク、額ノ點ニ於キマシテモ考慮シテ參ラナレバナラナイト思フノデアリマス、本年ノ石炭、鐵鋼ノ補助金額ヲ計上スルノニ付キマシテハ、サウ云フ點モ特ニ留意シテ本年ハ額ヲ定メテ居ルヤウナ譯デアリマス

○伍堂卓雄君 能ク分リマシタガ、モウ少シ掘リ下ゲテ具體的ノ問題デ御尋ネシタイト思ヒマス、鐵ノ生産ニ付キマシテハ最モ重點ヲ置カレテ居ル今日デアリマシテ、一「トン」デモ多クノ鐵ノ生産スル必要ガアル、是ト價格問題ニ付キマシテ關聯シテ御尋ネシタイト思フ、製鐵業者ガ使用シマスル鐵石、石灰石、「マンガシ」其ノ他ノ原料ハ今後益々其ノ品位、其ノ形狀ニ於テ種種多トナルコトデアリマセウ、從ッテ是等ヲ用ヒテ造リマス鐵鐵ノ原價モ亦不可抗力的ニ變化ヲ見ルコトハ勿論デアリマス、現狀ニ於キマシテハ、私ガ申述ベマスルコトガ或ハ間違ッテ居ルヲ御訂正ヲ願ヒタイト思フ、現狀ニ於キマシテハ鐵鋼原料統制會社カラ配給サレマス鐵石及北支カラノ北支炭、其ノ鐵石及北支炭ダケハ「エフ・オー・ビー」山元渡シノ「プール」價格デ以テ配給サレテ居ル鉄鐵ノ原料ノコトヲ申シテ居ルノデアリマス、鐵石ハ内外地共、石炭ハ北支炭ダケガ「エフ・オー・ビー」山元渡シノ「プール」價格デ、其ノ價格ヲ以テ製鐵業者ニ配給サレテ居ルノデアリマシテ、石炭ノ中デモ内地ノ石炭、ソレカラ其ノ他ノ副原料ハ掛ッタ原價ニ依ッテ異ッテ居ル、區々ノ價格ヲ以テ配給サレテ居ルノデアリマシテ、統制會社カラ配給サレテ居ルモノモアリ、又他ノ會社カラ配給サレテ居ルモノモアル、デアリマスカラ是等ノモノハ山元原價ヤ、輸送費ノ差ニ依リマシテ業者ノ買取値段ニモ相違ガアルノデアリマスカラ、各製鐵業者ハ、例ヘバ下級品デアッテモ、品物ガ惡クテモ高ク買ハサレタリ、又品物ノ良イ高級品デアッテモ安く買取ルコトトナルヤウニ思ハレルノデアリマス、一

方現行ノ鉄鐵公定價格ハ「トン」當リ確カハ十一圓程度ト承知シテ居リマスガ、此ノ八十一圓ト云フコトハ昭和十二年、私共ガ取扱ッテ居リマシタノデ記憶シテ居リマスガ、昭和十二年、即チ支那事變前ノ原價ヲ基準トシタモノデアリマシテ、現在ノ原價ハ業者ニ依ッテ違ッテ居リマスガ、恐ラク公定價格トノ間ニ相當ノ差額ガアルダラウト思ヒマス、政府ハ鉄鐵ガ基礎的物資デアッテ、其ノ價格ヲ引上ゲルコトハ一般物價ノ惡循環ヲ來スモノトシテ、價格ヲ適正化スル代リニ補助金政策ヲ採用シテ居ラレルコトハ只今迄御話ニナツタ通りデアリマス、私ノ承知シテ居リマス所デハ其ノ補助金ノ標準ハ、大體七分配當ガ可能ニナルヤウニ補助金ヲ交付シテ居ルノデアリマスルガ、只今申シマシタヤウニ配給原料ノ價格ガ不合理ナノデアッテ、生産能率ノ良否ニハ關係ガナク、掛ッタ原價ニ一定率ノ利潤ヲ見テ補助スルノデアリマスカラ、業者ノ創意工夫ニ依ル生産増強ヲ期待スルコトハ困難トナル虞ガアルノデアリマス、業者ヲシテ能率ノ向上ニ邁進サセル爲ニハ最モ必要ナコトハ、生産ノ基礎條件デアル原料ノ引渡價格ヲ合理化致シマシテ、能率ノ比較ニ便ナラシメルヤウナコトガ必要デアルト思ヒマスルガ、是ガ爲ニハ政府ハ速カニ原料、材料ノ全面的ノ工場渡シ「プール」價格制ヲ實施スル必要ガアル、山元渡シノ「エフ・オー・ビー・プール」價格制デハ使フ所ノ地理的状況ニ依リマシテ、輸送費其ノ他ガ高ク掛ルモノモアリマスシ、從ッテ山ノ同ジ品質ノモノヲ使ッテモ買取價格ハ違ッテ來ル譯ナノデアリマスカラ、現在「プール」價格制ニシテ居ラレルモノデモ、ソレハ工場渡シ「プール」價

格制ニ直サレテ、又現在「プール」ニナッテ居ナイモノハ此ノ際「プール」ニシマシテ、サウシテ各業者ノ能率ヲ公正ニ比較シタ上デ、業者ヲ責ニ歸スルコトノ出來ナイ不可抗力ニ因ル原價損ヲ基準トシテ補償スルヤウニスベキモノト考ヘマスルガ、是ハ鐵ノ増産ニ關聯スルコトデアリマシテ、非常ニ重大ナコトダト思ヒマシテ、特ニ此ノ點ニ付テ商工大臣ニ伺ヒタイ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク鉄鐵ノ原料ニ付キマシテ此ノ鑛石、是ハ内外地トモ又使ヒマスル支那炭ニ付キマシテハ、御話ノヤウナ「プール」價格制度ガ昨年ノ秋以來採ラレテ參テ居ルノデアリマス、ソレ以前ハ是等ノ價格ニ付キマシテモ、現在他ノ副原料等ト同ジク各工場區々デ、極メテ不合理デアッタノデアリマス、之ヲ合理化スル爲ニ先ヅ鑛石ト原料炭ノ、特ニ支那炭ニ付キマシテ「プール」價格制度ヲ設ケテ譯デアリマス、更ニ目下此ノ他ノ原料ニ迄之ヲ擴張スルコトニ付キマシテハ、關係方面ノ間ニ於キマシテ鋭意研究ヲ遂ゲテ居リマス、尙又此ノ「プール」價格ノ基礎ヲ「エフ・オー・ビー」山元渡シ價格ニセズシテ、工場渡シ「プール」價格ヲ定メルベキモノデアルト云フ御意見ニ付キマシテモ、他ノ副原料等ニ此ノ「プール」制度ヲ擴張スルコトト併セテ十分ニ一ツ研究ヲ致シテ見タイト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、御話ノ如ク大事ナ鉄鐵ノ能率ヲ増進シ、生産増強ヲ致シテ行ク上ニ於キマシテハ、各工場ノ能率ト云フモノヲ比較シ、ソレノ最モ標準ニナルヤウナ工場ノ能率ト云フモノヲ基準トシテ、他ノ工場ノ能率ヲ増進シテ行ク必要ガ、是ガ最モ有效ナ方法ダト思ハレルノデアリマス、

サウスル上ニ於キマシテハ、各工場ノ能率比較ノ基礎トナル所ノ原材料等ノ入手スル價格ニ付テ合理的ナ基準ニ置カレテ、初メテ各工場ノ能率ト云フモノガ一目瞭然トナル譯デアリマス、一目瞭然トナレバ自然全體ノ能率向上ノ上ニ非常ニ資スル所大ナルモノアリト考ヘマシテ、十分御趣旨ノヤウナ點ニ付キマシテハ、鋭意研究ヲ致シテ參リタイ、斯ウ思ヒマス

○伍堂卓雄君 商工大臣ノ御答辯ニ満足シマシテ、商工大臣ニ對スル御質問ハ是デ終リマス、次ニ技術院總裁ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、昨年ノ十一月創立サレマシタ調査研究聯盟、是ハ法人デアリマス、聯盟ノ會長ハ企畫院總裁デアリマス、此ノ調査研究聯盟ハ、其ノ目的ハ國內各種ノ主要調査研究機關ヲ綜合一致シマシテ、ソレノ機關ノ特長ヲ國家目的ニ副フヤウニ完全ニ活用セムトスルノデアルト認メマシスルガ、此ノ各種主要調査研究機關ノ中ニハ、固ヨリ科學技術ニ關スルモノガ入ッテ居ルト思ヒマスルガ、技術院ノ使命ノ最モ重大ナモノノ一ツハ、我が國ノ科學技術ヲ徹底的ニ總動員スルコトニアルト思フノデアリマス、言ヒ換ヘマスルト、日本ノ科學技術、日本ノ貧弱ナリト雖モ澤山アリマシタル大小研究機關、科學技術ニ關スル研究機關ヲ綜合統一シテ、ソウシテ最モ有効適切ニ之ヲ活用スルコトガ、技術院ノ重大ナ使命ノ一ツデアルト私ハ考ヘルノデアリマスルガ、ソレガ調査研究聯盟ニ依ッテ綜合統一サレルト云フコトニナッテ來マシタルト、技術院ノ重大ナ使命ガソコニ移ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、私ハ科學技術ニ關スル限りハ技術院ガ直接之ニ當ルベ

キモノダト考ヘマスガ、此ノ點ニ關シテ技術院總裁ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(子爵井上匡四郎君) 御答ヘ致シマス、從來我が國ノ官民ノ調査機關ト云フモノハ相當澤山存在シテ居ルノデアリマス、是等ノ機關ノ相互間ノ關係ハ必ズシモ密接デアリマセズデ、時ニハ又重複シテ居リ、又或時ハ互ニ其ノ結果ニ付テ閉鎖的デアッタリ致シマシテ、國策遂行ノ基礎トシテノ意圖ニ副ハザル點ガ往々ニシテアルコトハ否ムコトノ出來ナイコトデアリマス、今ヤ決戰下ニ於キマシテ是等ノ調査研究機關ヲ集中動員致シマスルニハ、如何ニシタラ宜イガト云フコトヲ考察致シマス、調査研究ハ之ヲ大別致シマシテ、一般ノ政治、經濟、文化ニ關スル實體把握ヲ主要目的トスル所謂調査機關、ソレト科學技術ノ刷新向上ヲ目的トスル所謂研究機關トニツニ大別スルコトガ出來ルト考ヘルノデアリマス、此ノ第一ニ屬シマス點ハ、是ハ主トシテ企畫院ノ仕事ニ屬シマス、此ノ第二ノ科學技術ニ對スル調査機關ノ調整指導ト申シマスガ、是ハ伍堂委員ノ御述ニナリマシマス、此ノ科學技術ノ研究機關ノ民間ノモノハ、ソレノ經營團體ニ附屬シテ居リマシテ、之ヲ國家目的ニ即應スル如ク調整指導シテ行カケレバナライノデアリマスルガ、之ヲ單ニ政府ヨリノ行政的處置ノミニ依存セシメルコトハ必ズシモ萬全ノ方策デナイト考ヘマシテ、ソレノ研究機關自體ノ連絡機關ヲ設ケシメテ、自主的ニモソレダケノ效果ト實踐ノ促進ヲ圖ルコトガ適當デアルト考ヘタ次第デアリマス、此ノ前ニ申シマシタ政治、經濟、文化ニ關スル部

分ニ付キマシテモ、企畫院ニ於テ同様ノ考カラ其ノ組織ヲ作ラレタノデアリマシテ、之ヲ調査研究聯盟ノ中ニ於テ一部、二部ト分ケテ居リマス、此ノ二者ヲ結合シテ調査研究聯盟ト致シマシタ理由ハ、從來我が國ノ一般調査即チ第一部ニ屬スルモノハ科學技術ノ要素ヲ缺イデ居ルト云フコト、又他方科學技術ニ關スル第二部ノ方ノ研究ハ政治的ノ意思ノ反映ガ少イト云フ弊風ガアル、是等ヲ一掃致シマスト共ニ、兩者ノ關係ヲ一方ハ人文關係、他方ハ自然科學ヲ擔當スルモノデアリマスケレドモ、本質的ニハ對象ノ如何ニ拘ラズ其ノ根本態度ニ於テ共通スルモノガアルト考ヘタ次第デアッテ、之ヲ一ツノ調査研究聯盟ノ中ニ統一一致シタノデアリマス、而シテ本聯盟ノ會長ト致シマシテハ、國務大臣タル、企畫院總裁ガ之ニ當ッテ居リマスガ、副會長ト致シマシテハ企畫院次長及技術院次長ヲ以テ之ニ充テテ居ルノデアリマス、ソレノ一段調査關係及ビ科學技術研究ノ各部門ヲ分擔シテ居ルノデアリマスガ、只今述ベマシタ如ク調査研究聯盟ノ中ニ、科學技術ノモノガ第二部トシテ含マレテ居ルノデアリマスガ、第二部ハ技術院次長ガ之ノ副會長トシテ第二部ヲ統率シテ居ルノデアリマシテ、全ク此ノ部ハ技術院ノ外廓團體トシテ將來有力ニナリ、使命ヲ達成スルノデアリマス、從ッテ技術院ト致シマシテハ、個人ヲ對象ト致シマシテハ全科技聯、調査研究ノ團體ヲ對象致シマシテハ此ノ調査研究聯盟第二部ヲ外廓團體ト致シマシテ、其ノ水準ノ上ニ先般創設セラレマシタ科學技術審議會ト云フモノガ、科學技術ニ對スル最高諮詢機關トシテ存在シマシテ、我が國ニ於ケル科學技

術ノ刷新向上及ビ伍堂委員ノ述ベマシタ動
員體制ヲ整備シテ行クト云フ體制ヲ整ヘテ
行クモノデアリマス、調査研究聯盟ハ決シ
テ技術院ト離レタモノデハナイノデアリマ
シテ、總裁ハ企畫院總裁ガ其ノ職ニ當テ居
ラレマスガ、内部機構ニ於テ第二部ハ全ク
技術院ノ所掌ニ屬シテ居ルノデアリマス、
御述ニナリマシタヤウ御心配ハナイト考
ヘマス

○伍堂卓雄君 御説明ハ能ク分リマシテ、
大體ニ付テハ了解シタノデアリマス、其ノ
ヤリ方ガ良イカ悪イカト云フコトニ付テハ
別ノ意見ガアリマスガ、是ハ此ノ際出來テ
シマッタモノニ對シテ彼此云フ必要ハナイ
ト思ヒマス、唯私ノ希望ハ、科學技術ニ對
スル新體制要綱ト云フモノニモハッキリ書
イテアリマス、又今日我が國ノ生産力質的
ニ向上シテ、所謂「アメリカ」ノ誇ル量ヲ以
テスル生産力ニ對シマシテ、質ヲ以テスル
日本の性格ノ生産力ヲ以テ之ニ對抗シタケ
レバナラス時代ニ遭遇シテ參リマシテ、科
學技術ト云フモノガ特別ニ取扱ハレナケレ
バナラナイ、斯クノ如ク其ノ他ノモノト一
緒ニシタ調査研究聯盟ノ中ニ入レルベキ筋
合ノモノデナイ、若シモ外部團體ガ要ルナ
ラバ技術院ガ獨自ニ、科學技術ノ研究機關
ヲ獨自ノ組織ニ依ッテ統合セラルベキモノ
デハナイカト思ヒマス、企畫院總裁ヲ會長
トシタ下ニ、一部ニハ技術院ノ次長ガ入ッテ
居ラレルコトハ結構デアリマスケレドモ、
サウ云フ風ヲ組織ニスベキモノデハナイ、
科學技術ガ獨立ニ組織サルベキモノダ
ト考ヘマスガ、出來上ッテシマッタ以上、是
以上申上ゲテモ甲斐ガナイコトデアリマス、
唯特ニ科學技術ニ對シマシテハ總裁目ヲ陣

頭ニ立ッテ、徹底的ノ動員ヲサレマスヤウ特
ニ希望致シマシテ、技術院總裁ニ對スル質
問ヲ終リマス

○瀧正雄君 伍堂サンハマダ御發言ガ續ク
ヤウデアリマスケレドモ、此ノ際商工大臣
ガ御歸リニナルヤウニモ想像サレマスノデ、
御歸リニナル前ニチヨット一言發言ヲ御許
シ下サイマスカ、如何デセウカ

○伍堂卓雄君 ソレニ付キマシテチヨット
速記カラ除イテ戴キタイ點ガアリマス、先
程ノ銑鐵ノ現在ノ生産原價ノコト、從テ公
定價格トノ差額ノ點ハ御省キヲ願ヒタイト
思ヒマス、八十一圓ト云ッタコトハ公定デス
カラ差支アリマセスガ、相當ノ差額ト云フ
コトニ御改メヲ願ヒマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 承知致シマシ
タ

○瀧正雄君 商工大臣ニチヨット御伺ヒ致
シテ見タイノデスガ、只今生産ノ増強ヲ考
ヘマス場合ニ、何處ニ弱點ガアルカト申シ
マス、舉ゲレバ色々ノ點ガアラウト思ヒマ
ス、ゲレドモ一番端のニ我々ノ目ニ著ク所
ハ資材ノ不足デアルト云フ點ガラウト思ヒ
マス、今日ノ需要ニ比較致シマシテ資材ノ
足りナイト云フコトハ掩フベカラザル事實
デアリマスガ、此ノ委員會ニ掛ッテ居ル法案
ハ重要軍需物資ニ付テ主トシテ考ヘラレテ
居ル點カラ考ヘマシテ、其ノ中デ特ニ鐵ダ
ケニ付テチヨット考ヲ申上ゲマシテ、十分御
考ノコトトハ存ジマスガ、御意見ヲ承ッテ見
タイト思フノデアリマス、鐵ノ資材ガ不足
シテ居ル、需要ニ對シテ非常ニ釣合ヲ失シ
テ居ルト云フ場合ニハ、彼此融通スルト云
フコトヲ當然考ヘナケレバナラスト思ヒマ
スガ、之ニ付テ今日商工省ノ御執リニナッテ

居ル方法ハ、供出ヲ命令スルト云フコトデ
色々相融通スル方法ヲ御考ニナッテ居ルヤ
ウニ思ハレマス、處デ其ノ供出ヲ命令サレ
ルコトニ付テモ現在不足ノ資材ヲ、現在ノ
條件ノ儘デオヤリニナルノデアリマスカラ、
茲ニ前提トシテモウ少シ御考ニナッタラド
ウカト思ハレル點ガ一ツアル、ソレハドウ
云フ點カト申シマス、供出ヲ命令ズル前ニ
現品ニ付テノ色々ナ整理調査ヲサレルト云
フコトノ外ニ、帳簿上整理ヲサレテ、帳簿
上調査ヲオヤリニナル必要ハアリハセスカ
ト云フコトニ氣ガ付クノデアリマス、帳簿
ノ上デ資材ノ整理ヲスルト云フノハドウ云
フコトヲ言フノカ、考ヘテ居ルノカト申シ
マス、鐵材ニ付テ品別ニ一ツノ調ヲ
スル、又大イサニ付テ寸度別ニ調ヲスル、
一品毎ニ一ツノ「カード」ヲ作リマシテ、其ノ
「カード」ニ付テ現在此處ノ工場ニハ是ダケ
ノ存在量ガアル、將來到著ノ豫定サレルモ
ノハ斯ウ云フモノガ到著ノ見込ニナッテ居
ルト云フヤウナコトヲ、一品毎ニ一葉ノ
「カード」ニズット記入サセ、サウシテソレヲ
整理ヲサレマシテ、サウシテ茲コニ工場毎
コソレガ出來ルノミナラズ、一地域別ニ其ノ
「カード」ガ整理ヲサレテ來マスト、資材ノ
「プール」制度ト云フモノガ考ヘラレテ來ル
ト思ヒマス、資材ヲ「プール」制ニシテ彼此
融通ノ途ヲ御考ニナリマスト、不足勝チナ
資材ヲ非常ニ生産的ニ、經濟的ニ有利ニ御
利用ニナレルノデハナイカト、斯ウ考ヘラレ
ルノデアリマス、無論斯ウ云フ重點のニ考
ヘル時代デアリマスルカラ、主ナル工場ノ
ミニ付テデ宜イト思ハレマス、主ナル工場
ノミニ付テヤリマスト、無論「カード」式ノ調
ベト云フモノハ非常ナ面倒ナモノデアッテ、

ナカノウマク行カナイト云フ面倒ナ點ガ
アリマスガ、只今モ御話ノアッタヤウニ、原價計
算ト云フモノガ非常ナ面倒デアアルニモ拘ラ
ズ、ソレヲ敢テ斷行セラレタト云フ所ニ非常
ナ又效果ガ上ッテ居ルト同ジヤウニ、此ノ
「カード」式ノ帳簿整理、之ニ依ッテ資材ノ
「プール」制ト云フモノヲ御考ニナルト、生
産ノ増強ニ非常ナ效果ガ現レテ來ルヤウニ
思ヒマス、無論十分御考ノ上デ御研究ノ
コトトハ存ジマスケレドモ、何カサウ云フヤ
ウニ一方御進メニナッタラバ如何カト云フ
ヤウナ氣ガ致シマスノデ、チヨット御考ヲ
承ッテ見タイト思ッタ次第デアリマス

○國務大臣(岸信介君) 今日生産増強上
不足シテ居ル資材、之ヲ如何ニ重點工場其ノ
他生産増強ヲ要スル工場ニ確保シテ行クカ
ト云フ點ニ付キマシテハ、誠ニ私共苦心ヲ
致シテ居ル所デアリマシテ、今御話ニ相成
リマシタヤウニ、各工場ガ持ッテ居ル資材ハ
品別、規格別ニ申シマスルト云フト、隨分
「エリート」云フ工場ニ於テハ或規格アル品質
ノモノハ餘ッテ居ル、併シ之ニ反シテ或是ト
違ッタ寸法ナリ品質ノ資材ガ足りナイ「ビー」
ノ工場ニ於テハ丁度「エリート」ノ工場ト逆
ノ現象ニアル、此ノ間ニ彼此資材ヲ融通スレ
バ兩工場トモ非常ニ生産増強ノ上ニ效果ガ
アルト云フ、此ノ資材ノ彼此融通ト云フ問
題ニ付キマシテハ、誠ニ御意見ノ通りニ極
メテ緊要ナコトトダト考ヘテ居リマス、昨年
來實ハ此ノ問題ニ關シマシテモ、政府トシ
テモ段々資材ガ詰ッテ參リマシタノデ、各工
場ノ現場ノ實情ニ基イテ、此ノ彼此融通ト
云フコトヲ考ヘテ行キタイト考ヘマシテ、
統制會ヲ中心ニ同種ノモノノ中ニ於キマ
シテモ、或程度資材ノ融通、彼此融通ト云

フコトモ行ッテ來テ居ルノデアリマス、併シナガラ其ノ效果ハマダ十分デナイノデアリマス、昨秋政府ハ重要工場ニ對シマシテ、一定ノ資材ノ保有量ヲ云フモノヲ規則決メマシテ、ソレ以上ノ保有量ニ付キマシテハ之ヲ供出スルヤウニ、サウシテソレヲ重要物資管理營團ヲシテ管理セシムルト云フ施設ヲ講ジテ來タノデアリマス、其ノ基礎ト致シマシテ各工場ガドウ云フモノヲ是ダケ持ッテ居ルト云フ此ノ事實ヲ調査シ、各工場カラ届出ヲ取リマシテ、之ニ基キマシテ供出量ヲ決メテ供出シテ貰ッタノデアリマス、併シナガラ此ノ供出スルニ付キマシテモ、必ズシモ其ノ供出ハ其ノ工場カラ皆其ノ品物ヲ持出シタ譯デハナクシテ、「エー」ト云フ工場ニハ是ダケノ鐵材ガ供出材トシテアル、其ノナニハ是ダケアルト云フコトデ仕分ケ致シテ居リマシテ、輸送ノ關係其ノ他ノ關係ヲ能ク考ヘマシテ、必ズシモ皆一箇所ノ所ヘ保管シテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマスガ、更ニ此ノ考ヘ方ヲ徹底シテ、今御提案ニナリマシタヤウニ、各工場ノ持ッテ居ル資材ト云フモノヲ詳細ニ明確ナラシメル「カード」式ノ帳簿ノ上ニ於テモ整理シ、サウシテ之ヲ或ハ同種ノ産業、或ハ地域的ナ關係ニ於テ彼此融通シテ行クト云フ御考ハ極メテ適當ナ御考デアラウト思フ、是等ニ付キマシテハ統制會等トモ一ツ十分協力致シマシテ、是ノ實行方法ニ付テハ尙研究ヲ致シテ見タイ、斯ウ思ヒマス

○委員長(伯爵濱口直亮君) 只今ヨリ總理大臣ガ出席サレヤウデゴザイマス、總理大臣ニ對スル御質問ヲ先ニ願ヒマス

○伍堂卓雄君 總理大臣ニ御尋ネ致シマス、政府委員ノ説明ニ依リマスト職權特例ノ總

理大臣ノ關係、各省大臣ニ對スル指示、ソレカラ職權委讓、是等ハ軍機軍令ニ關スルモノヲ除クト云フ説明デアリマシタガ、更ニ陸海軍ノ管理工場ニ於ケル生産ニ付テハ軍機軍令ノ中ニ入ルノカト云フコトヲ聽キマシタ處、ソレハ軍政ニ屬スルモノデアリ、指示サレル中ニ含マレテ居ルノダト云フ御答デアリマシタ、サウ致シマスト私カラ申上ゲル迄モナク、今日生産増強上喫緊ナ要務ハ現在アル設備、資材、技術、人力等ヲ完全ニ活用シテ合理的ニ運營スルコトニアルノデアリマスガ、一ツノ事業場デ陸軍、海軍、商工、ソレノ別箇ノ立場デ管理監督ヲ行ッテ居リ、生産ノ割當、資材ノ配給、設備ノ擴充ヲソレノ別箇ノ立場カラ行ハシメル、其ノ間ノ連絡ガ不十分デアリマシタガ爲、事業場トシテノ綜合的計畫の運營ヲ困難ナラシメマシテ、從ッテ生産増強ヲ阻害サレテ居ル實情ニアルノデアリマス、職權特例ノ指示ノ具體的方法ニ付テハ、總理大臣ハ色々ノ機會ニ於テハ自分ニ委セテ呉レト云フノデ、具體的ノ方策ニ付テ御發表ニナリマセヌデゴザイマシタガ、恐ラク御研究中デアラウト思ヒマス、私ハ此ノ點ヲ特ニ重大視シテ居ルノデアリマシテ、今日五ツノ軍需物資ノ生産ニ對シマシテ、其ノ大キナ部分ヲ陸海軍ガ直接ニ管理シテ居ラル、コトト考ヘマス、之ヲ除クト極ク小部分ニナリハセヌカト考ヘルノデアリマス、ドウシテモ非常立法ニ依ッテ劃期的ノ生産増強ノ實ヲ擧ゲマスノニハ、今日、只今申シマシタヤウナ實情ニアル割據主義ト申シマスカ、別々ニヤッテ居ル所ヲ最モ能率ヲ上ゲルヤウニ綜合的ニ、或ハ彼此融通スル、技術ノ公開デモ交流デモ、資材、設備、勞

力等ノ相互融通ガ出來ルヤウニスル必要ガアルヤウニ思ヒマスガ、之ヲ總理大臣ノ指示ニ依ッテオヤリナリマス御意向デアリマスカドウカ、其處ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(東條英機君) 指示、是ハ勿論軍機、軍令ハ除カレマス、即チ統帥事項ハ除カレ、其ノ他ノ國務行爲ニ關シテハ、是ハ管理工場デアラウト何處デアラウト指示權ガ及ブ、ソレデハ調和ハ取レスデハナイカ、其處ガ根本問題ニナル、ソレデハ何處デ一體統帥ト國務ト調整シテ行クノカ、是ハ豫算總會等ニ於テ御説明シテ居ル通り、其處ガ連絡會議ノ非常ナ活用スル所デアル、ソコデ大本ト云フモノハキチント統制サレテ來ル譯デアル、ソレトモウ一ツハ其處ガ日本ノ非常ニ面白イ處デ、私陸軍大臣、海軍大臣ハ別ニアル、アナタニ對シテ釋迦ニ說法見タイニナリマスガ、私ハ國務大臣トシテ國務ヲ輔弼スル責任ガアリ、軍部大臣トシテ陸軍ニ關スル國務上ノコトニ對シテ責任ヲ持ッテ居ル、併シナガラ又反面ニ於テ私ハ帷幕ノ參畫者デアル、統帥ノ參畫者デアル、陸軍大臣、海軍大臣ハ……茲ニ於テ私ハ國務ト統帥ト云フモノガ、軍部大臣、私ニ依ッテ、私ノ一ツノ身體ニ於テ三面人格ヲ持ッテ居リマスカラ、此處デ調和ヲ取り、ソレガ今度ハ國務ノ上ニ反映シテ行ク、小サイ事ハソレデ以テ調和シ、大キイ事ハ連絡會議デキチント調和ヲ取ッテ行ク、此ノ兩面ノ結果ガ管理工場ニ及ンデ行ク、例ヘバ管理工場今御指摘ノヤウナ點、是ハ私或ハ海軍大臣、軍部大臣トシテ閣議ニ出席シテ、色々ノコトガアレバ閣議ニ於テ、統帥ノ要求ヲ反面ニ能ク考ヘテ、其處デ調和ヲ取ル、今度ハ國務ニ對シテ指示ガ行クト云フ

コトニナル、單ニ指示ダケヲ御考ニナルト變ニ御考ニナルカモ知レマセヌガ、立派ニ是デ調和ガ取レテ行ク

○伍堂卓雄君 サウスルト、特ニ此ノ法律ヲサウ云フ意味ニ於テ御活用ニナリ、今迄工合ノ惡カッタ點ヲ御直シニナル御考ト見テ宜シウゴザイマスカ

○國務大臣(東條英機君) ソコデモウ一ツ、是ハ分リ切ツタ話デスケレドモ、一體何ノ爲ニ指示スルノカ、是ハ生産ヲ止メル爲ノ指示デハナイ、是ハ何處迄モ此處ニ示シテアル所ヲ五ツノ重要物資ノ生産擴充ヲ増大シテ行クノダ、是ガ此ノ勅令ノ根本目的ナシテ、ダカラ統帥上ノ要求、例ヘバ船ヲドノ位造ル、或ハ火砲ヲドノ位造ル、斯ウ云フ統帥上ノ要求、之ヲ此ノ數ハ多過ギルカラ減ラシテ呉レト國務自體トシテハ喙ガ容レラレナイ、ソレハ總理大臣ガ連絡會議デ必要ガアレバ決メタル、或ハ閣議ニ於テ之ヲ軍部大臣トシテハ頭ニ入レテ、其處デ國務ト調和ヲ圖ッテ行ク、其處デ決ル、何處迄モ生産ヲ上ゲテ行ク、其ノ生産ヲ助成シテ行ク、助長シテ行クト云フコトガ其ノ指示ノ目的ナシテ、ソレヲ頭ニ入レテ、國務ノ範圍内ニ於テ指示スベキコトガアレバ、目的ニ合スルヤウニ指示シテ行ク

○伍堂卓雄君 詰リ今迄殆ド分リ切ツタコトデ出來ナカッタコト例ヘテ見ルト具體的ニ申シマス、航空機ノ發動機ノコトガ一ツノ會社ノ一ツノ工場デアル、ソレヲ國デ片方ハ陸軍、片方ハ海軍トシテ居ルコトニ依ッテ生産上下ノ位損ヲシテ居ルカモ知レナイ、別々ノモノヲ拵ヘテモ宜シイ、併シ發動機ノ部分品ヲ拵ヘルノニハ、自ラ機械ノ配列ガ種類ニ依ッテ

一緒ニシテヤツタ方ガ澤山出來ル譯デアリマス、ソレヲ二ツニ分ケテ、分ケタ所デ専門別ニ並べルヨリモ一ツニシテチヤント並べタ方ガ宜イノダガ、矢張り區切りヲ設ケテ、コチラハ海軍ノ方、コチラハ陸軍ノ方トシテアルノハ、生産上能率上イケンイト云フコトモ誰モ認メルコトナンデスガ、サウ云フコトガ、是迄分リ切ツタコトガ行ハレナカッタノヲ、斯ウ云フ法律ニ依ッテ行ハレルヤウニナツタト見テ宜イノデスカ

ニ垣根ヲ設ケテヤル必要モアルト思フ、斯ウ云フモノハ何モサウ無間ニ喧シク言フ必要モナイト思フ、是ハ一ツノ統帥上ノ目的ヲ持ッテ居ル、ソレ以外ノモノハ指示ガナクテモ直スベキデモアリ、又必要ガアレバ指示シタラ宜イ

運營ニ付キマシテハ今日現實ニ色々生産能率ヲ阻害シテ居ル點ニ付テ申ス迄モナイコトデアリマスガ、適當ナ御指示ヲサレマシヤウニ特ニ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレガ最短期間デ處分ガ決定スルコトガ望マシイノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトニ對シテ特ニ御考ヲ願ヒタイ、此ノ行政事務ノ簡素化ト云フコトハ一生懸命ニ政府デヤッデオイデニナリマスガ、併シモウ今年ノ問題ナノデスカラ、餘リ研究調査ニ時ヲ過スベキデナイト思ヒマス、一層促進ヲシテ戴キマス同時ニ、只今申シマシタヤウナ各省ニ跨ッテ居ル事務手續等ヲ簡素化スルコトニ對シテ御配慮ヲ願ヒタイ

○國務大臣(東條英機君) ソレハ此ノ法律ガナクテモ、サウ云フヤウナ生産ガ上ツテ居ナイト云フコトハ直シテ行クベキダト思フ、現ニ直シツ、アルノデ、現ニ發動機、戰鬥機ノ發動機、是モ釋迦ニ說法ニナリマシガ、三菱ヲ三菱デ造ッテ居マスガ、同ジ發動機ヲ別ノ名前デ造ッテ居ル、サウシテ別々ニヤッテ居ルト云フヤウナ事態ガアルト、サウ云フモノハ斯ウ云フ指示ガアラウトナカラウト、ソナモノハ常識カラ考ヘテ直シテ行カナケレバナラス、又事實直シテ居リマス、又是カラ造ル發動機ニシテモ、出來ルダケ同ジヤウナ目的ヲ持ッテ居ルモノハ同ジ發動機デ之ヲ活用シテ行ク、サウシテ同ジ物ヲ造ッテ行ク、斯ウ云フヤウニ進ンデ行クノデ、是ハ指示ガアラウトナカラウト、常識デ考ヘテモサウ進ムベキデ、是ハ陸海軍デモハッキリシテ居ル、又現ニサウデアアルノデアリマスガ、其ノ指示ノ發動ノ關係、ソレハ其處ニ指示ノ發動ノ必要トスル場合ニ於テハ、是ハ今ノ國務上ノ純行為ニ對シテ必要ガアレバ是ハ直セル、此ノ指示ガ發動ガ出來ルト思フ、唯何カ其處ニ純統帥ト國務ノ關係ト云フコトニナリマス、要スルニ統帥上ノ息ノ掛ツタモノ、其ノ必要上何カ別ニ其處

○國務大臣(東條英機君) ソレハ釋迦ニ說法デスガ、從來ノ色々發達ノ歴史ト云フモノガ個々ニアルカラ、所謂海軍ハ海面ノ戰鬥ニ適スルヤウナ飛行機ヲ造ッテ行キタイ、陸軍ハ陸上戰鬥ニ適スルヤウナ飛行機ヲ造ッテ行キタイ、是ハ無理カラスコトト思フ、咎ムベキ點デハナイト思フ、海軍ニ協力スル戰鬥機、陸ニ協力スル戰鬥機、是ハ各、ソコニ目的ガ違ッテ居ルノデアルカラ、從ッテ發達ノ歴史モ違ヒ、一ツノ發動機ニシテモ此ノ影響ヲ受ケテ、今ノヤウナ形ニナツテ、同ジ戰鬥機ト云フ點カラ行ケバ共通性ノモノモ多分ニアル、此ノ點カラ見ルト甚ダ不自然ニナツテ居ル、此ノ實體ハ是ハ又行政的ニハ握ッテ行カナケレバナラス、明日カラ直グ變ヘルト云フ譯ニモ行カナイ、是ハ漸ク追ッテ之ヲ一緒ニ同ジ方向ニ歩カシテ行カナケレバナラス、又現ニ歩カシテ居ル譯デアリマス

○伍堂卓雄君 色々歴史ノ關係カラサウ直チニト云フ譯ニ行カス、是ハ私モ能ク了解シテ居リマス、能ク心持ハ分リマシタガ、結論ハ軍需物資ノ特別ナ方法デアリマシテ、其ノ軍需物資ノ大キナ部分ガ軍ニ於テ直接管理シテ居ラレルノデアリマスカラ、之ガ

○國務大臣(東條英機君) 御趣旨、私御同感デス、大體ノ御趣旨ハ、調査研究ニ名ヲ藉ッテ、サウシテ敏速ナ事務ヲ阻害スルト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ頭ヲ十分直シテ、サウシテ敏速化ヲ圖ッテ行クト云フコトニシテ行クベキデアル、又サウ云フ風ニ指導シテ行キタイト思フノデス、ソレカラ共管事項ニ付キマシテハ今現ニヤッテ居リマスガ、努メテ共管事項ヲ、共管ノ窓口ト云フカ、各省ノ關係スル數ヲ成ルベク減ラシテ行キタイト云フ風ナコトハ現ニヤッテハ居リマスガ、此ノ上トモ出來ルダケ其ノ數ヲ減ラシテ行クガ、ドウシタツテ關係スル共管事項ガ起ッテ來ルノデス、ソレヲ一ツノ窓口ニスルト云フ點モ、原則トシテハ出來ルダケサウ云フヤウナ精神デ持ッテ行キタイト思ヒマス、併シ共管事項ヲ一ツノ窓口ニシテシマフト云フコトハ、行政的ニ相當ムジカシイ點モ御想像ガ付クト思ヒマスガ、併シナガラ、大體御趣旨ノ方向ニ歩カシテ行キタイト思ッテ居リマス

○國務大臣(東條英機君) ソレハ此ノ法律ガナクテモ、サウ云フヤウナ生産ガ上ツテ居ナイト云フコトハ直シテ行クベキダト思フ、現ニ直シツ、アルノデ、現ニ發動機、戰鬥機ノ發動機、是モ釋迦ニ說法ニナリマシガ、三菱ヲ三菱デ造ッテ居マスガ、同ジ發動機ヲ別ノ名前デ造ッテ居ル、サウシテ別々ニヤッテ居ルト云フヤウナ事態ガアルト、サウ云フモノハ斯ウ云フ指示ガアラウトナカラウト、ソナモノハ常識カラ考ヘテ直シテ行カナケレバナラス、又事實直シテ居リマス、又是カラ造ル發動機ニシテモ、出來ルダケ同ジヤウナ目的ヲ持ッテ居ルモノハ同ジ發動機デ之ヲ活用シテ行ク、サウシテ同ジ物ヲ造ッテ行ク、斯ウ云フヤウニ進ンデ行クノデ、是ハ指示ガアラウトナカラウト、常識デ考ヘテモサウ進ムベキデ、是ハ陸海軍デモハッキリシテ居ル、又現ニサウデアアルノデアリマスガ、其ノ指示ノ發動ノ關係、ソレハ其處ニ指示ノ發動ノ必要トスル場合ニ於テハ、是ハ今ノ國務上ノ純行為ニ對シテ必要ガアレバ是ハ直セル、此ノ指示ガ發動ガ出來ルト思フ、唯何カ其處ニ純統帥ト國務ノ關係ト云フコトニナリマス、要スルニ統帥上ノ息ノ掛ツタモノ、其ノ必要上何カ別ニ其處

○伍堂卓雄君 色々歴史ノ關係カラサウ直チニト云フ譯ニ行カス、是ハ私モ能ク了解シテ居リマス、能ク心持ハ分リマシタガ、結論ハ軍需物資ノ特別ナ方法デアリマシテ、其ノ軍需物資ノ大キナ部分ガ軍ニ於テ直接管理シテ居ラレルノデアリマスカラ、之ガ

○國務大臣(東條英機君) 御趣旨、私御同感デス、大體ノ御趣旨ハ、調査研究ニ名ヲ藉ッテ、サウシテ敏速ナ事務ヲ阻害スルト云フ點ニ付キマシテハ、是ハ頭ヲ十分直シテ、サウシテ敏速化ヲ圖ッテ行クト云フコトニシテ行クベキデアル、又サウ云フ風ニ指導シテ行キタイト思フノデス、ソレカラ共管事項ニ付キマシテハ今現ニヤッテ居リマスガ、努メテ共管事項ヲ、共管ノ窓口ト云フカ、各省ノ關係スル數ヲ成ルベク減ラシテ行キタイト云フ風ナコトハ現ニヤッテハ居リマスガ、此ノ上トモ出來ルダケ其ノ數ヲ減ラシテ行クガ、ドウシタツテ關係スル共管事項ガ起ッテ來ルノデス、ソレヲ一ツノ窓口ニスルト云フ點モ、原則トシテハ出來ルダケサウ云フヤウナ精神デ持ッテ行キタイト思ヒマス、併シ共管事項ヲ一ツノ窓口ニシテシマフト云フコトハ、行政的ニ相當ムジカシイ點モ御想像ガ付クト思ヒマスガ、併シナガラ、大體御趣旨ノ方向ニ歩カシテ行キタイト思ッテ居リマス

○山岡萬之助君 此ノ大東亞戰下ニ於キマシテ軍需生産擴充ヲ中心ニ、非常ナ御決心

ヲ以テ此ノ重大案ヲ御提出ニナラレマシタ、私ハ二三ノ點ヲ申上ゲテ此ノ案ノ遂行ニ萬全ヲ期スル點ニ付テ少シク申上ゲテ、御意見ノ程ヲ承テ置キタイト思フノデアリマス、此ノ案ノ内容ヲ見マスル、行政組織ヲ單一、一元化スル、而シテ權限ヲ委讓スルトカ、或ハ指導監督ノ複雜ヲ簡易ニスル、殊ニ統制法規ノ複雜カラ來リマスル行政事務ヲ煩瑣ニシテ居ル、之ヲ簡易ニスル、ソレカラ其ノ結果國民生活ヲ潑刺トスル、斯ウ云フコトヲ率直ニ御説明ニナリマシタ、即チ統制法規ハ相當行過ギテ居ル、斯ウ云フコトヲハッキリ御説明ニナリマシタ、私ハ頗ル同感デアリマス、是ガ今日迄累ラシテ居ッタノデアル、此ノコトヲ前提ト致シマシテ、牽聯シテ御尋ネ致スノデアリマス、法制ノ建テ方ニ付テ今事新シク申ス必要ハアリマセヌガ、行キ道トシテ一言申上ゲタイ、曾テノ自由主義ノ時代ダト云フト、國家ノ要請上必要ダケ法令ヲ以テ臨ム、後ハ全ク各人ノ自由競争ニ委ネテ居ル、各人ガ幾ラデモ腕ヲ伸バス、然ルニ此ノ統制時代ニナリマス、從前トハ異リマシテ、國民ノ行爲ヲ或程度迄統制スル、取締ルト云フコトデハ、イカナイノデアリマシテ、國民ノ總テノ行動ガ國家ノ要請、國家ノ目的ニ歸一シナクチャナラヌ、此處ガ此ノ從前ノ法制ノ建テ方ノヤウナ考ラシテハ、是ハモウ全ク適切ヲ缺イテシマフノデアアル、此ノ點ニ於キマシテ國家ノ要請ヲ達成致シマスル爲ニ、今迄ノ統制ト云フモノハ慣レナイ所モアッタノデアリマセウ、又ハ外國ノ手本モ相當採ッタヤウデアリマス、全部法令ヲ以テ臨ムト云フ考ヘ方ヲシタノデアリマス、ソレデアリマスルカラシテ、統

制法規ノ省令ノ如キハ、百數十ヲ以テ算フル、二百ニモナッテ居ルカモ知レナイ、サウ云フ譯デアアルノミナラズ、ソレハモウ重イ刑罰ガ皆附イテ居ル、基本法規ニ刑罰ガアル、ダカラ皆刑罰法規ニナル、是デハ國民ノ生活モ御説明ノヤウニ身動キガナラナイ、過去ノ時代ニモ省令ニハ、罰則ナドハ極ク低イ罰則デアッタ、ソレガ今度ノ省令ハ刑法ト同等ナ……刑法ナンデアル、處ガ誠ニ行過ギマシテ、御説明ノアリマシタヤウニ國民ハ全ク萎縮シテ居ル、然ラバドウスルノダト云フ此ノ問題デアリマス、私ハモウ統制時代ト云フモノハ、國民ノ行動ハ全部國家目的ニ歸一シナケレバナラヌ、歸一スルノナラバ、法令的ニ行ケバ法令ヲ見ナケレバナラヌ、私ハソレデ行カナケレバイカスト思フ、國家ノ目標ヲ達成致スガ爲ニ骨組、根本、是ダケハ強イ法令ヲ一ツ書イテ、而モ御説明ニモアリマシタヤウニ今後ト雖モ統制ハ強化スル、全ク同感デアリマス、ソレハ、根柢ダケハシカリシナクチャナラヌト思フ、ソレガ決リマシタ後ノ枝葉末節ニ至リマシタラ、宜シクハ他ノ方法ヲ以テ臨ムコトガ適當デアル、ドウスルカト申セバ、今日國民組織其ノ他色々變テ參リマシタ、組合、團體等相當組織ガ強化セラレテ居ルンダカラ、ソコニハ準則ガアル、組合ノ規約ガアリマスルシ、申合セモアリマス、又官吏ニ對シマシテハサウ云フ法規ガアリマセヌデモ、色々ノ方法ヲ以テ遵守スベキコトハ示スコトガ出來ルノデアリマス、サウ云ツタ點ニ於テ國家ノ要請スル所ノ全體ニ對シ、根本ハ強イ法規ヲ以テ臨ム、ソレ以外ノ所ハ今申上ゲタヤウナ社會的、經濟的、或ハ道德的ノ一ツノ基準ト言ヒマスカ、之

ヲ以テ臨ム、執行シマスゴトニ於テ初メテ國民ノ心カラノ動キガ出來ル、サウシテ首相ハ時ニ觸レテ此ノ強權ヨリモ忠誠心ト云フ御説ヲナサッテ居リマスルノデ、刑罰法ヲ以テ全部臨ムモノナラ全部強權ニナッテシマフ、サウデヤナクシテ其ノ根本ダケニシテ、後ハ忠誠心ニ懇ヘルト云フコトガ御考ニ一致スルモノデハナイカ、サウ云ツタ考ヘ方ニ進メテ行クコトガ適當デハナイカト云フ考ヲ致スノデアリマスガ、ドウカ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(東條英機君) チョット私、統制ガ行過ギテ居ルカラ今度ノ法令ヲ出スト云フコトヲ、私ハ申シタ記憶ハチヨットナイノデアリマスガ、サウデナクシテ統制的制限ガ必ズシモ重複煩雜ノ弊ナシトシナイガ故ニ、其ノ結果却テ生産増強其ノ他國家總力ノ發揮ヲ阻害シテ居ルンダト云フ論モナイデハナイト云フコトヲ一ツノ理由ニ述ベタ積リデアリマス、現在ノ統制ガ行過ギルト云フコトヲ肯定シタ私ハチヨット記憶ハナイノデアリマスガ、サウ云フ御意味ガラウトマア閣下ノ今ノ御話ハサウガラウト思ヒマスガ、ソコダケチヨット訂正サセテ貰ヒマス、ソレデ苟クモ此ノ重大ナル大戦争下ニ於キマシテ生産ヲ伸バシテ行ク、是ガモウ何ト云ツタ目的デアアル、目的ニ合スルヤウニ必要ナ統制ハ、是ハモウ實施シテ行カナケレバナラヌ、統制法規ノ決定モ其ノ目的ヲ達スルヤウナ點ハ、十分ハ縛ル所ハ縛ッテ行ク、一方ニ於テハ併シナガラ他面ニ於テ國民ガ、其ノ法規ノ範圍内ニ於テ十分手足ガ伸ビテ、サウシテ喜ンデ活動スルヤウニ統制法規ト云フモノハ作ラルベキデアルト斯ウ思ヒマス、ソレハ今アナタノ

仰セニナリマシタ點モ其ノ點デアラウト思ヒマス、今回此ノ趣旨モ、矢張り目的ハ同一デアリマシテ、之ヲ更ニ目的ヲ迅速ニ達シテ行キタイト云フ爲ノ一ツノ方途デアアルデアリマス、是ダケ述ベマシテ、次ニチヨット筆記ヲ止メテ戴ク

○委員長(伯爵瀧口直亮君) 筆記止メ

(速記中止)

○委員長(伯爵瀧口直亮君) 速記ヲ始メテ……

○山岡萬之助君 先程首相ヨリ仰セニナリマシタ統制ノ行過ギト云フコトハ、私ノ言葉ハ御説明ノ、統制ニ於ケル法的制約ト云フコトニ依ッテ國民ノ活動ヲ害シテ居ル、此ノコトヲ申シタノデアリマシテ、御考トハ別ニ變ッテ居ナイ點ヲ茲ニ附加ヘテ置キタイト存ジマス、ソレカラ進ミマシテ少シ御尋ネシタイ點ハ、此ノ指示及ビ權限委讓トノ關係デアリマスルガ、此ノ點ハ先刻伍堂委員ヨリ御質問ガアリマシテ、其ノ一端ハ既ニ御説明ニナッテ居リマス、此ノ點ニ付キマシテ内閣官制第二條ニ於テハ、總理大臣ハ各大臣ノ首班トシテ行政各部ノ統一ヲ保持スル、斯ウ云フコトガ示サレテ居ルノデアリマス、同時ニ行政各部ノ措置ガ適當デナカッタ場合、命令ガ適當デナカッタ場合、之ヲ中止シテ勅裁ヲ仰グコトガ出來ル、斯ウ云フ風ナコトニナッテ居リマシテ、是ハドウモ憲法ノ施行ト同時ニ出來マシテ、今日既ニ六十年ニ近クナッテ居リマス、サリナガラドウモ言ヒ表シ方ハ何處迄モ消極的デアリマシテ、是ハ午前ニ消極的ト政府委員ガ御説明ニナリマシテ、今度ハ指示權ヲ樹立シテ積極的ニ行ク、斯ウ云フ御説明ガアリマシタガ、全ク其ノ通りデアリマシテ、今

度ノ此ノ勅令ニ依リマシテ總理大臣ノ權能ハ積極的ニ各省ニ及ブ、而モソレハ今日ノ急務ニ應ズル、即チ軍需ノ生産ニ關スル限リニ於テ強イ力ヲ御持チニナル、斯ウ云フ次第デアリマシテ、此ノ點ハ私ハ當然ナコトト思ヒマスルガ、唯先刻來チヨット御話ノアリマシタ統帥ト國務ノ關係ニ付テモ十分ニ研究シテ置カケレバナラヌト同様ニ、此ノ關係モ亦相當ニハ明カニシテ置ク必要ガアルト思ヒマス、衆議院ニ於テ首相ハ獨裁ト云フヤウナコトデヤナイト云フ御説明ニナリマシテ、私ハ此ノ點ニ付テアレ以上茲ニ承ル必要ハナイ、全ク御説ノ通りデアリマス、唯併シナガラ今迄ノヤウナ程度デハナク、今日ノ時代ニ於ケル斯ウ云々權能ヲ何ト説明スルカト云フコトニナルト、私ハ此ノ頃統裁ト云フ字ガ使ハレテ居ル、正ニ其ノ統裁ト云フ權能迄ニ是ハ及ンデ居ルト私ハ思フノデアリマス、既ニ各方面ニ能ク使ハレテ居リマシテ、其ノコトデアルト云フコトニナレバ能ク分ル、而シテ私ハ茲ニサウ云フ風ニナリマシテモ、各方面ニ使ハレテ居リナガラ、矢張りドウモ多數決ト言ッテハ少シ言ヒ過ギカモ知レマセヌガ、多數決氣分デ、ドウモ統裁ト云フコトガ本當ニ行ッテ居ナイト私ハ思フノデアリマス、此ノ度非常ナ御決心ヲ以テ此ノ案ヲ御提出ニナリマシタ以上ハ、此ノ權能ハ十分ニ御使ヒニナルコトハ私ガ申ス迄モナイ話デアリマス、ソレニ依ッテ自然此ノ權限ノ委譲等モナサルコト思フノデアリマスルガ、其ノ中ニハ總理大臣自ラ各省ノ權限或ハ其ノ他ノ行政上ノ權限ヲ行フ場合ガアル、或ハ他ノ方ハ委譲スル場合ガアル、斯ウ云フコトニナッテ居リマシテ、

今日迄モウ既ニ相當此ノ點ハ御考ノ所モアラウカト存ジマスルノデ、實際上總理大臣自ラ其ノ權ニ當ル場合モアルデアリマセウカラ、アルトスルト、今日内閣直屬ノ機關ハ此ノ程度デアリマシテ、ドウモ何カ御考ニナル必要ガアリ、又各省ヘ移ストシテモ相當負擔ガ重クナリマスルカラ、何カハ御考ニナラナケレバナラヌ答ダト思ヒマスルガ、御腹案ノ點デモアリマシタラ、其ノ點モ承ッテ置ケバ幸ト存ジマス

○國務大臣(東條英機君) 先ツ内閣官制ノ現制度トノ關係、今日迄ハ私ハ現制度ノ運営ニ於テ實行シ、各關係ト共ニ實行シテ來タノデス、ガ併シナガラ此ノ昭和十八年、十九年、是ハモウ決勝ノ年ナンドス、是サヘシカリ乘リ切ッテシマヘバ、私ハ茲ニ戰爭ノ大部分ト云フモノハ解決スルノデヤナイカト、斯ウ思ッテ居ルノデス、從ヒマシテ今日迄ノヤウナ歩キ方デハ到底イケナイノデ、茲ニ數歩ヲ飛躍シタ歩キ方ニ依ッテ生産ヲグット上ゲテ行キタイ、斯ウ云フ風ナデス、ソレヲマア政府委員ハ積極的ト斯ウ云フ言ヒ表シ方ヲシテ居ルノデアリマス、ソレガ今統裁ト云フ字ヲ御使ヒニナリマシタガ、如何ナル名稱ヲ付ケルカト云フコトハ、是ハドウモ私ノ關知シタ所デナイノデ、世人ガ何カ言フノデ、ソレハ私ノ關知シタ所デヤナイ、併シナガラ「ヨーロッパ」ノ「ヒトラー」總統ナリ「ムッソリ」ナリ其ノ他ノヤッテ居リマスル、アノ日本トマルデ別個ノ國體ニ基イタ獨裁トカ何トカ云フ風ナ名稱ヲ使ハレルコトハ私ハオ斷リデ、サウ云フ意思ハ毛頭ナイ、又サウ云フ考ノ下ニ日本トシテハアルベキデヤナイ、併シ此ノ形ハ

ドウ云フ名稱ヲ御付ケニナルノガ便宜カト云フコトハ、是ハ世人ガ後年ニ付ケルカモ知レヌデスケレドモ、ソレハ兎ニ角、斯ウ云フ歩キ方ニ於テ此ノ十八年、十九年ヲ乘リ切ッテ行キタイ、此處デ觀點ガアリ、其ノ目標ハ何處迄モ戰時的ノ一時ノ措置デアリ、而モソレハ行政部面ニ於ケル措置デアリ、主眼點ハ差當リハ五ツノ品目ノ生産ヲ上ゲテ行ク、是ガ目的デアアル、斯ウ考ヘルノデアリマス、運営上ニ付キマシテハ、是ハ毎回申シマスルヤウニ、此ノ法令ヲ運營シテ行ク爲ニ内閣内若シクハ其ノ他ノ部面ニ、茲ニ大キナ機構ヲ作ルト云フコトハ今日考ヘテ居ナイノデ、何處迄モ人ノ活動ニ俟ッテ行キタイ、而シテソレニハ民間ノ意見モ聞カウシ、或ハ各省大臣ノ活潑ナル所ノ活動ニモ依ラウシ、又ソレカラ各省大臣ノ意見モ十分聽イテ行カウ、サウシテ行キ、又現ニ企業院ニハ生産ヲ擴充セシメル增強委員會ガアリマス、是デ生産擴充ニ關スル一部ノ仕事ヲサセテ行キマス、是モ十分活用シ、總テノ力ヲ綜合シテ此ノ目的ヲ達シテ行キタイ、斯ウ思ッテ居ルノデアリマス、ソレデ今御尋ノヤウナ特殊ノ機構ヲ茲ニ作ルト云フコトニ付キマシテハ、今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ

○山岡萬之助君 御趣旨ハ能ク承リマシタ、次ニ此ノ行政ノ監督指導ノ點デアリマスガ、此ノ點ハ自然官廳ヲ經テ事業ノ上ニ迄及ブコトデアリマス、此ノ效果ヲ上ゲマス爲ニハ、是ハ相當ナ用意ガナケレバナラヌト思ヒマス、今日迄ノ實情ヲ見マスルト、ドウモ末梢迄徹底致シテ居ラスノデアリマス、今日ノ統制ノ強化、是ハ世ノ中ガ急激ニ變テ來テ居リマシテ、官ノ方デ分ッテ居ル積リ

私ハ出來ルと思フノデアリマス、其ノ點ニ付テモ首相ノ常ニ仰セノアル忠誠心、是ガ具現シテ來ルヤウニナラヌグレバナラヌカト思ヒマス、國民ノ側ハサウ云フコトデアリマスガ、ソレニ對シマシテハ矢張り官界ノ關係ガ私ハ大事デアルト云フコト一言茲ニ申シテ置キタイ、指導監督ニ關シマスル官界ノ動キハ、簡素化ニ伴ヒマシテソレダケ基準ガ變ルノデアリマシテ、相當變ルト思ヒマス、又形ダケデヤナイ、精神ガ變ラナクチヤナラヌと思ヒマス、其ノ點ニ付テハ法規ヲ出シ、或ハ通牒等ヲ以テ是等ノ準則ハ御定メニナラレト思フノデアリマシテ、ソレニ依テ官吏ノ適從スル途ガ明カニナル、唯併シ此ノ官界ノ事ト申スノハ私ガ茲ニ申ス迄モナイコトデ、百モ御承知ノコトデアリマス、法令其ノ他ノ規程ヲ遵法スルト云フコトガ所謂循吏デアルガ、サウシテ置キサヘスレバ仕事ノ成績ハ上ルト云フモノデハナイ、時ニハ準則モ越ス位ノコトガナグレバナラヌ時モアルと思ヒマス、ドウモ官界ノ動キガ大體準則ヲ守ルト云フコトデ、ソレニ反スルコトハ大體許サレナイノデアリマス、是ハマア私ハ官界ノ通態デアルト存ズルノデアリマス、併シ此ノ度ノ立法ト云フモノハ、ソシテ生ヤサシイモノデハナイノデアリマス、平素ニ於ケル所ノ工作ヲ軍需品ノ製作ノ爲ニ變ヘテシマフノデアリマスカラ、サウ云フ意味デ所謂非常立法デアル、サウシマスレバ此ノ法律ヲ施行スル爲ニ色々變ル點ニ付キマシテハ、官吏ガ相當思ヒ切ツタ仕事ノ出來ルヤウニスル必要ガアルと思フ、之ヲ具體ニ申セバ、相當自由裁量ノ餘地ヲ與ヘルヤウヲ訓示ヲ致スナリ、其ノ他ノモノヲ出シマシテ

モ其處ニ行カナケレバナラヌと思フ、餘リ微ニ入り細ヲ穿ツタラ、又同ジ様ナ弊害ヲ茲ニ生ズルノデアリマス、總理ノ仰セニナツタ統制法規ニコダハル、統制ノ目的ハ國家ノ力ヲ擴充スルコトデアリマス、是ハ私ハ全ク御同感デアリマス、統制ノ爲ニ統制スルノデヤナイ、國力ヲ増進スル爲ニ今日迄ヤツテ來タノデアリマス、唯ソコニ甚ダ適當ナラザルモノガアツタト云フコトデアルガ、此ノ度ハ先程モ仰セノアリマシタヤウニ、實ハ今ハ重大時デアル、些々タル事情ニ拘泥スベキデハナイと思フ、故ニ生キタ仕事ヲスルヤウニ、官吏ガ責任ヲ以テ何處迄モ仕事ヲ本當ニヤレト云フ所ニ、此ノ訓令其ノ他ノ書キ方ニ付テ相當御考ニナル必要ガアルノデヤナイカ、此ノ案ニ依リマスレバ、此ノ經濟ノ損益ヲモ超越シ、殊ニ公益ニ依テ制限シテ居ルコト迄モ撤廢スル、例ヘバ工場法ノ制限モ撤廢スルト云フ如キ、此ノ非常ノ手段ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、今度ノ場合ニ於キマシテハ、官吏ノ手腕ガ十分揮ヘマスヤウニ、其ノ腕ヲ揮ツテモ御叱リハ受ケヌ、準則違反ト云フコトニハナラヌヤウニスル必要ガアルと思フ、此ノ指導監督ノ點ニ付キマシテ、官吏ノ方面ニ付テハ劃期的ナモノデアアル、此ノ時代ニ於ケル活潑ナ動キガ、將來我ガ國ノ國力發展トナル、戰時ガ過ギテモ尙行ケル位ノ慣習ヲ作ル必要ガアルノデヤナイカ、コシテ風ナコトヲ考ヘマスノデ、指導監督ニ付テ御伺ヒ致シタイと思ヒマス

生産ヲ阻害スルヤウナ指導監督ハ、是ハサセデハナラヌ、何處迄モ指導監督ハ生産ノ目的ヲ擧ゲテ行ク如ク指導スベキデアル、而シテ此ノ指導監督スル所ノ根據トナルベキ所ノ色々ノ法律ナリ何ナリ、或ハ閣議決定ヲ見タ其ノ他ノ事項ニ對スル趣旨徹底ト云フコトニ付キマシテハ、是ハ十分政府トシテモ遺憾ナキヲ期シテ行キタイ、現在ニ於キマシテモ、色々十分デナイ點モ多々アリマスガ、ソレハ十分氣ヲ付ケテ行キタイト考ヘテ居リマス、又同時ニ啓蒙ノ必要、是ハモウ御説ノ如ク能ク分ラシテ行クト云フコトガ、生産ノ部門ニ於キマシテモ其ノ能率ヲ上ゲルコトガ重要ナリト云フ點ニ付キマシテハ御同感デアリマシテ、是ハ政府ト致シマシテモ、ソコニ機密ニ互ラス點ニ付キマシテハ極力解説シテ行クト云フ方向ニ歩イテ行クベキコトト思フテ居リマス、現ニ大體ハ其ノ方向ニ實行シテ居ル積リデハ居リマス、ソレカラ官吏ノ法規運營ニ對スル心得、是ハ御説ノ通りデアリマシテ、即チ法規ハ何處迄モ死物デアリマシテ、之ヲ運營スルコトハ所謂人ニ存スルノデアリマシテ、而モ其ノ運營ハ條章ノ末節ニ徒ニ拘泥スルコトガ主體デヤナクシテ其ノ條令ノ適切ナル運營ニ依リマシテ其ノ目的ヲ達スルト云フコトガ、是ガ何處迄モ主體デアアル、從ヒマシテ此ノ官吏ハ此ノ運營ニ當リマシテハ、此ノ目的ニ合スルヤウニ積極的ニ之ヲ活カシテ行クト云フコトト、ソレニ對シテ十分責任ヲ取ルト云フ點ニ付キマシテハ私御同感デアリマス、サウ云フ風ニ指導モシ、又當然官吏トシテモサウ心掛ケデヤツテ居ルコトトハ考ヘマスガ、其ノ點ニ付キマシテノ政府ノ指導トシマシテモ、以上

ノ御趣旨ニ付キマシテハ御同感デアリマス
○山岡萬之助君 只今官吏ニ對スル點ニ付テモ詳細述べラレマシテ、其ノ訓令トカ、其ノ他ノモノガ兎ニ角決リ切ツタ行キ方ニナリマシテ、モウ最早裁量ヲ執ル餘地ガ今ハナイノデアリマシテ、裁量ノ餘地ヲ御與ヘ下サルコトヲ尙望ミマス、次ニ衆議院ニ於キマス本案ノ委員會ニ於テ首相ガ御述リニナリマシタ、總理大臣ハ全國ノ指導者デアルト仰セラレテ居ルノデアリマス、大體ソレガドンナ意味ダト云フコトハ私ニモ分ツテ居ル譯デアリマスガ、併シモウ少シ其ノ意味ヲ正確ニ承ツテ置クコトガ宜カラウト存ジマスルノデ、敢テ此ノコトヲ申上ゲルノデアリマスガ、ソレハ政治上ノ意味カ、法律上ノ意味カ、或ハ行政上ノ意味カ、或ハ其ノ他ノ意味デアリマスガ、唯サウ御述ニナツタダケテ甚ダハッキリ致シテ居リマセヌノデ、其ノ御説明ヲ伺ヘレバ幸デアリマス
○國務大臣(東條英機君) 實ハ私ハ貴衆兩院其ノ他、方々喋ツテ居リマスノデ、其ノ尻尾ヲ擱ヘラレルト實ニ困ルコトガ屢アリマス、私ハ貴衆兩院ニ於ケル答辯トシマシテハ、モウ虚心坦懷ニ十分私ノ氣持ヲ分ツテ貰フト云フコトヲ主體トシテ喋ツテ居ルノデアリマス、今ノ一體指導者ナリト、斯ウ言ツタコトニ對シ、ソレハ法律ノコトカナンダ、斯ウ詰メラレルノデスガ、ソレハ私ハ法律的ニ言ツテ居ル譯デハナイ、私ノ氣持ヲ言ツテ居ルノデアツテ、私ハ大命ヲ奉ジテ、大命ノ下ニ私ハ總理大臣トシテ内閣ノ首班ニ立ツテ居ル、此ノ至誠ヲ私ハ氣持ニ於テ、サウ云フ指導者ナント云フ名前ノ下ニ於テ表シテ居ル、是ハ語弊ガアリマス、語

弊ガアリマスガ、私ハ何モソレヲ法律的ニ
言ッテ居ルンデモナンデモナイ、私ハ内閣總
理大臣ト云フ重責ノ上ニ大キナ自覺ヲ持チ、
サウシテ日常ノ國政ヲ變理シテ行ク上ニ於
キマシテ、斯ウ云フ内閣總理大臣トシテノ
氣持ヲ申述ベテ居ルノデアリマス

○山岡萬之助君 御説明デ能ク了解致シマ
シタ、詰リ總理大臣トシテノ行政ノ最高者
トシテ氣持ヲ御述ニナル、即チ行政上ノ
範圍ニ於テ統轄セラレルト云フ御氣持ヲ現
シテ、誠ニ御明答ヲ得マシテ能ク分リマシ
タ、今一點甚ダナンデアリマスガ、御許シ
ヲ得テ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、政
府ノ行政簡素化ト云フヨトハ、自然此ノ度
法律ノ方モ整備シテ行クト云フヤウニ御作
リニナッテ居ル譯デアリマスガ、是ハ法律ト
云フモノハ一體大綱ニ止メテ、運用ガ適正
ニナルト云フコトヲ、サウ云フモノノデナケ
レバナラヌト云フヨトヲ劈頭ニモ申上ゲタ
ヤウナ次第デアリマス、今日迄戰時法令ト
云フモノハ、國力増強ノ爲ニモウ澤山ニ出
テ居ルコトハ先ニ申上ゲタ通りデアリマス、
サウ云ツタコトガ今日迄ハ複雑ニ法令ガ出デ
居ル、ソレハドウ云フ所カラ一體原因シテ
居ルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト云フト、
統制ト云フコトガ兎モ角モ最近ノコトデア
リマシテモ、誰モハ不慣レデアアル、今後慣
レテ參リマスレバ、段々ト良クナルコトハ
是ハ當然ダと思フ、今日ハ唯徒ニ咎メルト云
フヤウナコトハ爲スベキコトデハナイと思
フ、全く不慣レデアアル、不慣レナコトデア
ルガ、併シ今日迄物資ノ統制ヲシ、有ラユル
部面ニ進ンデ參ッテ居ルノデアアル、私ハ其ノ
不慣レト云フコトモ原因デルアルガ、法制局
ノ手不足ト云フコトガ、是ガ重大因ヲ成シ

テ居ルト思フノデアリマス、法制局ハ實際
今日數名ノ參事官シカ居ラスノデアリマス、
閣議ニ出マス法律其ノ他勅令等ヲ審査スル
ト云フコトヲ深く研究ノ餘地モナイト云フ
テ審議スル以外ニ研究ノ餘地モナイト云フ
コトヲ私ハ能ク知ッテ居ルノデアリマス、此
ノ形ハ是ハモウ十數年前ノ形ト申シテモ私
ハ宜イト思フ、其ノ時代ノ法律構成ト云フ
モノト今日ト比較ニナラヌ程多イノデアリ
マス、隨分アレハ忙シイ、忙シ過ぎル、ソレガ
ダカラ重大因ヲ成スモノダト思ヒマス、殊
ニ閣議ニ出シマスルモノダケガ彼處ニ掛ル
ノデアリマスガ、省令ガ先刻申上ゲルヤウ
ニ非常ニ統制法令ガアリ、罰則ガ皆附ク譯
デアリマスカラ司法省ニ會議スル、サリナ
ガラ隨分多クノ法令デアリ、急速ヲ要スルノ
デ事前審査ト云フコトモ司法省トシテモ餘リ
ニ困難デアルト私ハ想像スルノデアリマス、
サウ云フ譯デアリマスカラ、罰則ノ附イデ
居ルモノニ付テハ國民ノ利害休戚ニ直接シ
マスカラ、是非立派ナ法令トスル必要ハ申
ス迄モナイノデアリマス、デアリマスカラ
罰則ノアルモノハ法制局ニ持ッテ行ク、罰則
ナキ省令ト雖モ各省ノ不慣レノ人ガ立案ス
ルヨリモ、所謂此處ニ勅令ノ要綱ヲ御出シ
ニナツタヤウニ、斯ウ云フ要綱ヲ各省デ拵ヘ
テ、サウシテ法制局ニ於テ之ヲ立案致シマス
ナラバ法制ノ形式モ立派ニナリマスルシ、無益
ニ慣レナイ人ガ書ケバ三條デ濟ムモノガ十條
ニナル、ソレ迄行カナイト網羅出來ナイモ
ノモ、法制局ニ來レバソレガ整備サレマス、
短イモノデモ要領ガ得ラレルト同時ニ系統
ガ立ツ、各省デヤリマス段々ヨク世間デ
謂フ割據ノニナツテ、此ノ省、此ノ省ニ依ッ
テ筆法迄變ル、アレデハ法令ノ統制ト云フ

コトハ無論言ヘナイカラ國民モ迷フ、實ハ
法制ノ關係ト云フモノハ過去ニ於テハ先刻
仰セニナリマシタヤウニ、治外法權撤廢ノ
爲ニ法令ガ整備サレテ、爾來段々ト策キ上
ガラレテ、成長シタノデアリマス、ガ併シ
ナガラ法令ト云フモノガナケレバナラスコ
トハ勿論デアリマスルガ、其ノ立テ方ニ私
ハアルト思ヒマス、立テ方ヲ良クシタナラ
バ、簡易ニシテ誰ニデモ分ルヤウニ、専門
家ナラバ無論分ル、專門家デナクテモ分ル、
今日ノ統制法令ト云フモノハ專門家ニモ是
ハ分ルコトハ餘程困難ダト思ヒマス、サウ
云フ風ナコトデ刑罰ヲ以テ臨ムト云フコト
ハ隨分私ハ無理ダト思フ、サウ云フ次第デ
アリマスカラ、此ノ省令ノ審査スルニハ
法制局ノ今日ノ機能デハ不十分デアル、又議
會ヘ出マス所謂今日ノ閣議ヲ經テ居リマスモ
ノデモ、ドウモ其ノ立案ニ不備ナ點ガアリ
マシテ、我々審査ヲ致シテ修正ヲ必要トス
ルモノガアリマス、併シナガラ御説明ニ依ッ
テ記錄ヲ殘ス必要モアルシ、議論ヲ進メテ
行クト云フコトニシテ居ルガ、是モ若シビッ
タリ出來デ居リマスレバ、我々ハ何ノ審議
ヲ彼此トシテ居ル必要ハナイノデアリマス、
ダカラ此處ハドウカモウ少シ擴大強化シマ
シテ、議會ニ於テ其ノ字句トカ、其ノ法令
ノ形式的ナ議論デ以テ議論倒レシテ居ル
コトハ私ハ是非避ケタイト思フ、サウ云フコ
トデ此ノ議會ニ於テ修正スルト云フコトハ
誠ニ心苦シイ、我々ハ喜ンデ協賛ヲ致シタ
イ、デアリマスルカラ少クとも法制局ノ機
構ハ今日ノ場合ニ速カニ強化ナサル必要ガ
アル、否省令ガ、出來マスナラバモウ一步
擴大サレマシテ、サウシテ國民モ此ノ準則
ガ能ク分ッテ、サウシテ國民一體國家ノ爲ニ進

メルヤウニ致シタイト云フコトガ私ノ長イ念
願デアリマス、時ニハ之ヲ申スノデアリマ
スルガ、少シモソコヘ參リマセヌシ、此ノ
度行政ノ簡素化デ法制局モ少シ減ツタヤウ
デアリマスガ、是ハ全體ノ一律ニ行ツタ場
合デ已ムヲ得マセヌガ、併シ法制局ノ事重
大ト云フ意味カラ照シマシテ、之ヲ廢合致
シテ見タ所デ、其ノ爲ニ浮ブ費用ハ、少々
ハアリマセウケレドモ、極メテ少イ費用ヲ
以テ重大ナ結果ガ出ルト思ヒマス、此ノ點
ハ實ハ御質問ヲ申上ゲルト云フヨリモ私ノ希
望ヲ述ベマシタ、御意見ヲ承レバ幸ト思
ヒマス

○國務大臣(東條英機君) 今御質問ノ點ハ、
私御意見トシテ實ハ承ツタ次第デアリマス、
唯此處デ申上ゲテ置キタイノハ法制局ト
云ハズ、何處ノ役所ト云ハズ、之ヲ強力ニ
シテ行ク、サウシテ任務ヲ完全ニ達成シテ
行キタイト云フ點ニ付キマシテハ、是ハモ
ウ當然ナ話ダト思ヒマス、唯申上ゲタイノ
ハ、私ハ強力ニスルト云フコトハ實ノ強
力、物ノ強力、兩方見テ行カナケレバナラ
ヌト思ッテ居リマス、ソレデ實ハ段々國ノ
仕事ト云フモノガ忙シクナッテ來マスコト
ハモウ當然ナ話デス、殊ニ大東亞地域ニ迄
日本ノ勢力ガ及ンデ行ッテ居ル今日ニ於テ
ハ、加速度ノニ仕事ガ増シテ行ッテ居ル、ソ
レニ應ジテ人間ト云フモノヲ殖シテ行ツタ
ンデハ堪ヘ切レナイ、實ハ十七年度ノ各省
ノ人員ノ要請ハ一年間ニ放ッテ置クト〇〇
位殖エル、ソレデ今日ハウント之ヲ査定シテ
シマツタ、〇〇ト云フト——デスカラ——以
上毎年々々官吏ガ殖ニテ行ツタンデヤ始ラナ
イノデス、官吏、人間ヲ殖スト云フコトハ仕
事ガ能ク出來ル所以デモナイ、其ノ點私ハ

樂ニ考ヘテ居ル、寧ロ忙シクナッタラ人間ヲ減ラセ、私ハ此ノ主義ナシデス、陸軍省ハ此ノ主義デヤッテ居リマス、忙シイ、忙シイ、宜シイ、オ前ノ所ハ人間ヲ減ラセ、又事實殖シテ居リマセヌ、一人殖シテモヤカマシイ、其ノ方ガ仕事ハテキパキ行クノデス、事實私ハ陸軍省デハヤッテ居ル、ダカラ今デハ人間ヲ殖シテ與レト一切陸軍省デハ言ハナシ、内閣ニ於テモ人間ヲ殖スコトハ非常ニヤカマシク言ッテ居ル、最小限シカ人員ヲ殖シテ居リマセヌ、將來モ是デ行カナケレバナラスト思ヒマス、是ハモウ一年ニ——大體官吏ガ殖エテ行ッテハ國家ハ堪ラナイ、サウシテ鈍重ニナッテシマフ、ソレデ私ハ強化スルト云フコトハ即チ人ヲ殖スト、斯ウ解釋シテ居ナイ、寧ロ人ヲ減ラセト解釋シテ居リマス、是ハサウシテ行キタイガ、併シ今度ハ質ニ於テ之ヲシカリシタ人ヲ置キ、サウシテ之ヲ活動サシテ行クト云フ方向デ行クベキダト思ヒマス、其ノ仕事ニ於テ今度ハ仕事ノヤリ方ヲ考ヘテ行カナケレバナラヌ、ドン——仕事ガ尙殖エテ行ク、人間ガ少クナレバ是ハドウシテモ仕事ノヤリ方ヲ變ヘテ行カナケレバナラヌ、ソレハ上ニナレバナル程大綱ダケ握ッテ居レバ宜イ、サウシテ其ノ下ノ人間ノ能率ヲシカリ活用シテ行クト云フダケノ大綱ダケ示シテヤル、サウシテ下ノ者ハ責任ヲ以テ活動シテ行クト、斯ウ行カナケレバナラヌト思ヒマス、一カラ十迄上ノ人ガ皆細カイ點迄采配ヲ振レト云フ頭ナラバ、是ハモウ日本ガ大キクナレバナル程動カナクナル、ソレデサウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマス、今御話ノ點ニ付キマシテモ、ソレハ私法制局ノ仕事ヲ十分、一カラ十迄知ッテ居リマセヌガ、原則ハ

私ハ同ジダト思ヒマス、ソレハ法制局ガ各省ノ省令トカ云フ所迄ハハ喩ヲ容レテイジリ始メタラ限リハナイ、各省ニハ各親補セラレタ所ノ、親任セラレタ所ノ各省ノ大臣ガ居ル、是ガ全責任ヲ以テ自分ノ出ス省令ハ自分ガ責任ヲ執ルカラ全責任ヲ以テ之ニ當ッテ行ク、又ソレニ對スル幕僚モ法制局ナシカヘ行ッテ彼此言ハレルヤウナコトデヤイケナイ、サウ云フ頭ダトソシテ法律ナリ、或ハ省令ヲ持ッテ來ルナラバ、ソレハ私カラ言ハセレバ責任ヲ盡シテ居ナイ、斯ウ言ヒタイ、ソレデ今御話ノ、併シナガラ各省ガバラノ——ニナルデヤナイカ、斯ウ云フ問題、其處ガ大事ナ點デアリマス、ソレハ法制局ガ其ノ方針ナリ、或ハ斯ウ云フ風ナ方向デ行クシダト云フ事柄ヲ豫メ必要ナラ閣議デ以テ決メテ、其ノ點ハ法制局ガ立案シテ決メテ、ソレヲ各省ニ示シテ、各省大臣ガ其ノ方針ニ於テ法律ナリ省令ヲ作ッテ行ク、作ル者ハ是ハ全責任ノ上ニ立ッテ作ル、法制局ニ持ッテ行ッテ一筆デモ入レラレ、バヤカマシク言フ位ノ責任ヲ以テヤル、斯ウ思フノデアリマス、私ハ其ノ仕事ノヤリ振リニ依ッテハ十分出來ルト思ヒマス、人間ヲ多クスルノガ能デヤナイト思ヒマス

○山岡萬之助君 只今ノ速記ナシノ御説明デ能ク諒解致シマシタ、私モ其ノ點ハ御同感デアリマシテ、手ヲ徒ニ殖シテ行クノガ必ズシモ能率ヲ上ゲル所以デアリマセヌ、唯此ノ法制局ハ今日ニ於テハ無理押シト云フコトニナッテ居ル、法制局ハズツ以前ノ、餘リ外ヘ出テ居ナイ以前デ、其ノ儘殖エテ居ナイ、實ハ無理ガ其處ニアル、外ノ方ハ經濟面トカ其ノ他グシノ下伸ビル、法制部面ハ私モ關係ガアル、是ハ少シモ伸ビテ居ナイ、ソレデアルカラ無理モ出來テ來ル、伸ビテ居ルノヲ削ルノハ心持モ好イ、併シ一方ニ伸ビテ居ナイノヲ削ルノハ、瘦セ細ッテ居ルモノヲ更ニ減ラスト云フコトニナル、ソレデケラ附加ヘテ申上ゲマス、是デ私ハ終リマス

○國務大臣(東條英機君) チョット速記ヲ……

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記中止

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ、總理大臣ハ四時半ニ御歸リニナリマスカラ、成ルベク簡單ニ御質問ヲ願ヒマス

○竹下豐次君 二ツ御尋ヲ致シタイト思ッテ居リマシタガ、時間ノ都合上デ一ツハ取止メナケレバナラナイカト思ッテ居リマス、先ツ綱紀ノ肅正ノ問題ニ付キマシテ見ルヲ少シ述ベサシテ貴ヒマシテ、總理ノ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ問題ニ付キマシテハ衆議院デモ貴族院デモ度々議員ノ方カラノ御質問モ出マシテ、總理ノ御答辯ヲ承ッタデアリマスガ、書キ物ニ依リマシテ承知シテ居ルノデアリマス、此ノ問題ト此ノ生産増強ノ問題トハ、非常ニ密接ナル關係ガアルト思ヒマスノデ、重ネテ時間ヲ潰シテ戴キタイト思ッテ居ル譯デアリマス、綱紀ノ肅正ト申シマシテモ、贈收賄ノ問題ガ先ヅ能ク問題ニナルノデアリマスルガ、總理モ會テ檢察ノ事務ヲ御ヤリニナツタコトモゴザイマスカラ能ク御存ジノ通り、贈收賄罪ト云フノハ、ドウモ犯罪トシテ檢舉サレタトカ、刑罰ヲ食フタ者ノ統計ガ出テ居ルト云フダケデハ、事實其ノコトガ多イノカ少イノカト云フコトノ判斷ガ付カナイノデアリマシテ、外ノ竊盜罪トカ傷害罪トカ云フモノノヤウ

ニ、被害者ガ片方ニアルト云フ譯デハナシ、大體ノ場合ニ於テ兩方共得スルト云フコトニナッテ居リマス、サウシテ兩方共犯罪人ニナル譯デアリマスカラシテ、兩方デ隠ス、ソレデケ分リガ惡イ、何カ投書デモアルト云フヤウナ場合、何カ又外ノ事件デモアッテ、其ノ引掛リトシテ分ッテ來タト云フヤウナ場合ニ發見サレルノガ普通デアリマス、司法大臣ノ御話ナドヲ承リマシテモ割合ニ數字ハ少イヤウデアリマスガ、ソレヲ以テ大體此ノ事件ハ少イノダト云フ風ニ見ル譯ニモ行カナイノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、之ヲ少クスル爲ニハドウシタラ宜イカト云フ問題デアリマスルガ、是ハ根本的ニ申シマスレバ教育カラ改メテ行カナケレバナラナイ、又宗教モ關係シテ行カナケレバナラナイト云フコトニナリマスガ、ソシテ問題ヲ言ッテ居ッテハ間ニ合ヒマセヌ、ソレデ私ハ手取り早イ方法ハ何カト云フコトヲ、私ハ自分ノ思ッタ儘ヲ極ク露骨ニ申上ゲテ總理ノ御答辯ヲ御願ヒシタイト思ッテ居ルノデアリマス、ソレハ私ハ、官吏ノ如何ハシイ宴席ニ出入スルコト、之ヲ出來ルダケ少クスル、殊ニ業者ト官吏ガ宴席ヲ共ニスルト云フヤウナコトニ付テハ、餘程嚴シク抑ヘテ貰ッタラ如何ダラウカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ私ハサウ云フ方面ヲ自分デ一々漁ッテ、誰ガ何處ニ行ッテ業者ト飲食ヲ共ニシタカト云フヤウナコトヲ調べタコトガアル譯デモナシ、又サウ云フコトヲ調査スル機關モ持ッテ居リマセヌ、併シ能ク世間デソレヲ噂ニシテ居ルノデアリマス、ソレガ事實デアルカ否カハ總理ノ方ガ能ク御分リダラウト思ッテ居リマス、若シ此

ノ噂ガ全ク形ガナイト云フコトデアリマシ
タナラバ、是ハ初メカラ問題ニナラナイコ
トデアリマス、是ハ噂ノ儘ニ御傳ヘ致シタ
イト思ッテ居ル譯デアリマス、ソレデ其ノコ
トハ、犯罪自體ガ惡イコトデアルト云フコ
トヨリモ、其ノ外ニ又國民大衆ニ及ス思想
的ノ影響ト云フモノガ非常ニ多イ、是ハ非
常ニ大キナ問題デアル、世間デハ先ヅ、殊
ニ田舎ニ行キマスレバサウデアリマスガ、
官吏ハ矢張り指導者デアル、身ヲ以テ社會
大衆ヲ率キテ行カナケレバナラス立場ニア
ル人達デアルト云フヤウナ風ニ考ヘテ居リ
マス、ソコニ今申シマスルヤウナコトガ、
世間ノ噂ニ上ルヤウナ程度デアルト致シマ
スレバ非常ニ官ノ威信ヲ失墜スル、ソレガ
爲ニ各方面ニ及ス影響ガ非常ニ多イダラウ、
サウ云フ風ニ思ッテ居ルノデアリマス、
宴席ノコトナド小サイコトノヤウデアリマ
スケレドモ、可ナリ是ハ場面ノ廣イコトデ
アリマスシ、關係ガ廣クナッテ居リマスノ
デ、考ヘヤウニ依リマシテハ重大ナ結果ヲ、
重大ナ結果ト云フノハ言葉ガ強過ギマス
ガ、相當惡イ影響ヲ與ヘルコトガアル、ソ
レデ此ノ贈收賄罪ヲ、私モ會テ「サール」
ヲ提ゲタコトガアリマスガ、檢舉致シマシ
タ時ノ經過ヲ見テ見マスト云フト、ドウモ
此ノ宴會ノ席ガ其ノ搖籃ニナッテ居ル場合
ガ非常ニ多イヤウニ思フノデアリマス、宴
席ニ行ッタ者ガ必ズシモ不正ナ事ヲスルト
ハ相成ッテハ居リマセヌ、サウシナイ人ガ多
イ譯デアリマスガ、併シ犯罪ガ成立スル經
過ヲ見マス、其處デ何カ矢張り因縁ガ起
ル機會ヲ與ヘラレルト云フコトガ非常ニ多
イヤウニ私ハ思ッテ居ルノデアリマス、サ
ウ致シマス先ヅ中央ノ方カラ、地方ノ方

ニモ、官吏ノ方ニモサウ云フ機會ヲ出來ル
ダケ避ケルヤウニ、ヤカマシ過ギルト云フ
位ニ御訓示ナリマスル方ガ、多數ノ者ヲ誤
ラシメナイコトニモナリマスシ、ソレガ部
下ニ對スル御深切ノ一ツヂヤナイカト、斯
ウ云フ風ニモ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、
大變ニハ窮屈ナコトヲ申上ゲルヤウデアリ
マス、又私自身モ嘗テ官界ニ居リマシテ、
業者ト席ヲ共ニシタコトガ全クナカッタ
云フコト言ハレマス、全クナカッタト云
フコト言ヒ切ルコトモ出來マセヌ、出來ル
ダケ避ケテハ居リマシタ、ダカラ何時ヤッ
タカト云フコトモ一ツモ記憶シテ居リマセ
ヌガ、此ノ點ハ考ヘヤウニ依リマシテハ非
常ニ大事ナ點デアリマシテ、斯ウ云フ瀆職
罪ヲ豫防スルニ最モ手近ナ效果のナコトデ
アル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス、以上ハ私、官吏ニ付テ申上ゲタノデア
リマスガ、是ハ公吏ニ付テモ同様デアリマ
ス、ソレカラモウ一ツ大事ナノハ、是ハ直
接總理カラ御訓示ナサル譯ニハ行カナイダ
ラウト思ッテ居リマスガ、各種ノ統制團體ト、
公ノ關係ノ仕事ヲシテ居ル團體ノ役職員、
是ガ矢張り、其ノ監督ト申シマスルカ、其
ノ方ノ世話ヲ受ケル業者ト宴席ヲ共ニス
ルト云フヤウナコトガ非常ニ、近頃多イ
ト云フ噂モ專ラデアリマス、是モ矢張り
其ノ及ス惡イ影響ト云フモノハ、官吏ノ
場合ト較ベマシテ、或場合ニハ寧ロ多イト
云フコトモ考ヘラレレル譯デアリマス、此ノ
點モ餘程氣ヲ付ケナケレバナラナイト云フ
風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、實ハ私第
七十六議會ニ於キマシテ、刑法中改正法律
案ノ特別委員會ノ委員ニナリマシタ際ニ、
斯ウ云フ種類ノ役職員ヲ公務員ニ準ズル取

扱規定ヲ刑法ノ中ニ設ケテ、貫ヒタイト云
フコトヲ申述ベタノデアリマスガ、急ニサ
ウ云フ譯ニモ行カナイカラト云フ其ノ當
時ノ柳川司法大臣ノ御答ガアツタコトヲ記
憶シテ居リマス、其ノ私ノ記憶スル所ニ依
リマス、日本銀行トカ、ソレカラ各種ノ
營團等ニ於キマス役員、職員等ニ對スル
相當ノ制裁規定ガ設ケラレタヤウニ記憶シ
テ居ルノデアリマス、併シ其ノ外ノ各種ノ
統制會等ガドウ云フコトニナッテ居リマス
カ、ソレハ一々私調ベテ居リマセヌノデ十
分ニ知リマセヌケレドモ、何デモ或團體ニ
對シテハ制裁規定ガ設ケラレテアルケレド
モ、或他ノ團體ニ付テハ制裁規定ガナイノ
ダト云フコトガ事實ヂヤナイカト思ヒマス、
若シサウ云フ區々ノコトニナッテ居リマス
ルナラバ、同ジヤウニ矢張り制裁ノ規定ヲ
設ケテ貫ヒタイ、制裁ノ規定ヲ設ケテ貫ヒ
タイト云フコトノ外ニ、矢張り成ルベク先
ニ申シマスルヤウナ宴會ノ、詰リ自分ノ世話
スル方ノ業者ト宴席ヲ共ニスルト云フヤウ
ナ風ノ機會ヲ少クスルヤウニ御指導ヲ願フ
ト云フコトガ、物ノ集荷ニシテモ、配給ニ
シテモ、何レノ場面ニ對シテモ及ス影響ガ
非常ニ大キイノヂヤナイカト、斯様ニ考ヘ
テ居ル次第デアリマス、大變卑近ナコト、
又窮屈ナコトヲ申上ゲマシテ、如何カト思
ヒマスガ……

○國務大臣(東條英機君) 官吏ノ綱紀ヲ嚴
正スルト云フ點ニ付キマシテハ、是ハモウ
申ス迄モナク御同感デアリ、且又此ノ點ニ
付キマシテハ政府トシテモ十分注意ヲ拂ヒ、
又各官吏モ當然ニサウ考ヘテ居ルコトヲ思
フノデアリマス、而シテ此ノ點ハ重要ナル
點デアリマスルガ故ニ、明治二十年以來官
吏服務規律ガ御制定ニナッテ居リ、或範圍ニ
於キマシテ、今言ハレタヤウナ部分ノ或範圍
ニ於キマシテハ、一ツノ制限ヲ官吏ニ對シ
テ與ヘラレテ居ルノデアリマス、又其ノ制
限ニ於キマシテハ官吏服務規律ノ十七條ニ
於テ、公務員ニ對シマシテモ適用サレルヤ
ウニナッテ居ルト承知シテ居リマス、今御示
ノ全部デアリマセヌケレドモ……唯茲テ
ソレ以外ニ、官吏ハ一切合財ノ宴會ニ行ッ
ヤイカヌトモ、決メテ決メラレヌコトモナ
イダラウト思ヒマスガ、私ハ其ノ點ハ各、相
當立派ナ官吏デアリマスルガ故ニ、何處迄
モ官吏服務規律ハ是ハ守ラナケレバナラス、
ソレ以外ニ於キマシテハ先程山岡君カラモ
御話ニナッタヤウナ御趣旨、自肅デ行キタ
イ、自分デ自ラ正シウスルト云フ方向ニ私
ハ持ッテ行クノガ宜イノヂヤナイカ、之ヲ法
律的ニ、或ハ訓示的ニコイツヲ宴會ニハ一
切行ッチャナラスト、斯ウヤルコトガ果シテ
官吏ヲ指導スル所以デアルカドウカト云フ
點ニ付キマシテハ疑問ガアルノデアリマス、
私ハ法令其ノ他ニ於テコイツ一切合財罷
り成ラヌト、斯ウ云フ風ニ決スル意思ハ今
ノ處ハ持ッテ居リマセヌ、何處迄モ官吏其
ノ人ニ懇ヘテ、サウシテ自覺シテ正シウシ
テ行ク、サウシテ世ノ中ノ模範トナッテ行
クヤウニ仕向ケテ行ク、斯ウ行キタイ
ト思ッテ居リマス、今サウ考ヘテ居リマス
○竹下豐次君 私モ一切合財止メテ戴キタ
イト云フ處迄ハ申上ゲナカッタ積リデアリ
マス、言葉遣ヒガ惡カッタカモ知レマセヌ
ガ……業者トノ關係ノコトデゴザイマシタ、
業者トノ關係デ宴會ノ席ヲ共ニスル、御馳
走ニナッタト云フコトニナリマス、ソレ
自體ガ犯罪ニモナルコトモアルカト思ヒマ

スガ、ソコデ其ノ服務紀律モゴザイマスノ
デ、ソレニ從テ居ル管ナノデアリマスケ
レドモ、色々ナ噂ガアリマス、ソレガ餘リ
高過ギルノデ、何カ斯ウ……

○國務大臣(東條英機君) 其ノ點ハ業者ト
ノ、殊ニ直接關係ノ者ハ、業者トノ宴會、
何ト言ヒマスカ、響應ニ應ズルト云フコト
ハ、是ハキチツト規定ガ出來テ居リマセ
ウ、サウ云フモノハ……

○竹下豐次君 ソレハ色々ナ噂ガ餘リ高過
ギルノデアリマスカラ、サッキ申シマシタ通
リ……

○國務大臣(東條英機君) ソイツハ服務紀
律ヲ違反デアリ、今チヨットハッキリシマセ
スケレドモ、今調ベサセテ見マセウ、刑法
上ノ問題ニナルト思ヒマスガ……

○竹下豐次君 ヤッテイケナイト云フコト
ハ、今日迄分ツテ居ルトスレバ、ソレヲドウ
スレバ宜イカト云フ問題ガ起リマスノデ、
又此ノ際ソレニ對シテ御訓示デモ、訓令デ
モサレルト云フコトニナレバ、觀面ニ效果
ガ上リハシナイカト、斯ウ考ヘルノデス

○國務大臣(東條英機君) 刑法ノ第九十
七條ニ載テ居リマス、其ノ點ハ……ソレヲ
今度ハ更ニ喚ビ起ス爲ニ、過チナカラシメ
ルヤウニ訓示ヲ出シタラドウカ、斯ウ云フ
意味デスネ

○竹下豐次君 此ノ際サウ云フ噂ガ多いノ
デ、御注意ヲ願フタラドウカト云フコトデ
ス、尙訓令ヲ是非出シテ戴カナレバナラ
スト云フ譯デモアリマセヌガ、自肅ト云フ
ヤウナコトドウマク行ケバソレハ結構ナコ
トデアリマスガ、各官廳デ或ハ申合セマス
ルトカ、官吏同士デ……ト云フコトモ一ツ
ノ方法デアラウト思ヒマス、特ニサウ云フ

噂ガ高イヤウデスカラ、其ノ點ヲ……

○國務大臣(東條英機君) ソレハ一應御意
見トシテ承ツテ置キタイ、ソレハ一ツノ行政
上ノ運営ニ屬シマスルノデ、御意見ヲ參酌
シテ參リタイト思ヒマスガ、併シナガラ各、
皆要處々々ニハ、一體責任ヲ持ツタ大臣ナ
リ、或ハ縣知事ナリ、軍デ言フナラ師團長ナ
リ皆居ルノデ、是ガ責任ヲ以テ指導シテ、
サウ云フコトニハ部下ヲシテ過チナカラシメ
ルヤウニ指導スルノガ當然ナコトデス、責任
上……ソレヲ内閣カラ之ヲ訓示シテヤルト
云フノハ、實ハ私カラ言ヘバ野暮ダト思フ
ノデス

○竹下豐次君 私モサウ云フコトヲ申上
ルノハ野暮ダハナイカト云フ氣モ致シマシタ
ガ、併シ結果ハ相當ニ上ルノデハナイカト
思ヒマシタノデ申上ゲタ次第デアリマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 先程商工大臣
ニ御質問ニナリマシタノガマダ殘ツテ居ル
サウデス、商工大臣ガオイデニナツテ居リマ
スカラ、御質問願ヒマス

○竹下豐次君 此ノ五大産業ヲ特ニ重ク見
ラレマシテ、總理大臣ノ權限ヲ擴張サレ
ルニツク法案ガ出テ居ル譯デアリマスガ、ソ
レニ關聯致シマシテ、相當ニ大キナ犠牲產
業ト云フモノガ出テ來ルノデヤナイカト思
フノデアリマス、ソレハ其ノ中ニハ、平和
産業モアリマセウシ、或ハ軍需産業デアッ
デ、其ノ能率ノ上ラナイモノヲ整理シナケ
レバナラスト云フノモアラウカトモ思ヒマ
ス、色々ナ種類ガアルガラウト思ヒテ居リマ
スガ、私ノ想像シマスル所ニ依リマスト云
フト、此ノ前、現在モヤッテ居ラレル中小商
工業者ノ整理ノ場合ニ較ベマシテ、可ナリ
大物ガ犠牲ニサレルト云フコトモ想像サ

レルノデアリマス、サウシマスルト、其ノ下請
工場ヲヤッテ居リマストカ、或ハサウ云フ大
キナ所及ビ下請工場ト取引關係ノアルモ
ノト云フヤウナモノヲ皆總括シテ見ルト、非
常ニ大キナ數ニナルト想像サレルノデ、一體
ドンナ影響ガアルト云フコトニ付キマシテ
ハ、世間デモ相當ニ氣ヲ揉ンデ居ルコトモ
承ツテ居リマス、此ノ點ハ大臣ノ方デモ能ク御
氣付キノコトデアルト思フノデアリマスガ、
ソコデ此ノ際御伺ヒ致シタイノハ、先ヅ第
一ニ犠牲産業ノ主ナル業體ハドウ云フモノ
デアルカ、其ノ中ニハマア原料ヤ資材ノ不足
ノ爲ニ止メナケレバナラナイモノモアル
ガラウト思ヒマス、資材ヲ其處カラ出
サセル爲ニ求メラレルモノモアリマセ
ウシ、勞力ガ足りナイカラドウモ止メテ
貫ハナケレバシヤウガナイ、サウシテ勞力
ヲ其處カラ出シテ重工業ノ方ニ廻シテ行ク
ト云フヤウナモノモアルガラウト思ヒマス、
マア色々アルガラウト思ヒマスガ、ドウ云
フ種類ノモノヲ犠牲産業トシテ御出シナ
ル御積リデアリマスカ、又是ハ御伺ヒ致シ
テモドレノト云フコトヲハッキリ御決メ
ニナツテ居ラレルノデヤナイガラウト思ヒ
マスケレドモ、極ク重立ツタモノニ付キマ
シテハ既ニ此ノ案ヲ御作リニナル前ニ見當
ヲ付ケラレテ居ララウト思ヒマスカラ、
其ノ程度ニ於テ結構デアリマス、御示ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク此ノ五
重點産業ニ勞力、資材、動力、資金等ヲ集
中致シマシテ、是等ノ生産増強ニ總力ヲ上
ゲテ參ルト云フコトニナリマス、今日ノ
勞務、資材、動力等ノ關係カラ見マシテ、
自然他ノ産業ニモ非常ナ重大ナ影響ヲ與ヘ

ルノデアリマス、言フ迄モナク各産業ハ極
メテ複雑ナ關係ニ於キマシテ、互ニ關聯ヲ
致シテ居ルノデアリマシテ、五重點産業ダ
ケヲ取出シテ、其ノ「プロパー」ノ五重點產
業ダケヲ推進シテ行クト云フコトハ、是ハ
出來ナイノデアリマシテ、ドウシテモソレ
ニ關聯シテノ幾多ノ産業ト云フモノハ、矢
張り此ノ五重點産業ト歩調ヲ同ジクシテ生
産増強サレナイト云フト、是ハ出來ナイコ
トハ言フヲ俟タナイノデアリマス、例ヘバ
造船所、船ト云フモノハ五大産業ニ舉ゲラ
レテ居ルノデアリマスガ、造船所ダケヲ擴
充シ、其處ダケニ總テノモノヲ集中シテモ、
機械産業ノ方ヲ蔑ニシマスト云フト船ガ出
來ナイ、又鐵鋼ノ方ヲ蔑ニシマスガ、之ニ
關聯シテ色々ノ原料ノ工業モアリマセウシ、
或ハ耐火煉瓦、其ノ他之ニ關係シテノ原材
料ヲ造ル方面ニ於ケル事業ガ、矢張り製鐵
事業ト歩調ヲ一ニシテ、生産ガ増強サレテ
行カナケレバナラス、從ヒマシテ謂ハハ五
ツノ産業ガ頂點ニ立ツテ、其ノ下ニ澤山ノ產
業ガクッ附イテ居ルト云フノガ先ヅ大體ノ
狀況ガラウト思ヒマス、併シ同時ニ又全然
又ハ比較的此ノ五大産業ト關係ナシニ存在
ヲシテ居ル一連ノ産業モアラウカト思ヒマ
ス、從テ關係ノナイ産業ノ部面ガドウシテ
モ影響ヲ受ケルコトガ大きいト思フノデア
リマス、此ノ影響ニ對處シマシテハ出來ル
ダケ其ノ影響ガ急激ニ起ラナイヤウニシタ
イト云フノガ政府ノ考デアリマスガ、同時
ニ起ツテ來ル影響、犠牲ト云フモノニ對シ
テハ強力ナル方策ヲ講ジマシテ、是ガ産業
界全般ニ不安ヲ起シ、經濟界ニ混亂ヲ醸ス
ヤウナコトヲ起シマシテハ、五大産業ノ生
産増強モ、其ノ爲ニ却テ支障ヲ來スト云フ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク此ノ五
重點産業ニ勞力、資材、動力、資金等ヲ集
中致シマシテ、是等ノ生産増強ニ總力ヲ上
ゲテ參ルト云フコトニナリマス、今日ノ
勞務、資材、動力等ノ關係カラ見マシテ、
自然他ノ産業ニモ非常ナ重大ナ影響ヲ與ヘ

ルノデアリマス、言フ迄モナク各産業ハ極
メテ複雑ナ關係ニ於キマシテ、互ニ關聯ヲ
致シテ居ルノデアリマシテ、五重點産業ダ
ケヲ取出シテ、其ノ「プロパー」ノ五重點產
業ダケヲ推進シテ行クト云フコトハ、是ハ
出來ナイノデアリマシテ、ドウシテモソレ
ニ關聯シテノ幾多ノ産業ト云フモノハ、矢
張り此ノ五重點産業ト歩調ヲ同ジクシテ生
産増強サレナイト云フト、是ハ出來ナイコ
トハ言フヲ俟タナイノデアリマス、例ヘバ
造船所、船ト云フモノハ五大産業ニ舉ゲラ
レテ居ルノデアリマスガ、造船所ダケヲ擴
充シ、其處ダケニ總テノモノヲ集中シテモ、
機械産業ノ方ヲ蔑ニシマスト云フト船ガ出
來ナイ、又鐵鋼ノ方ヲ蔑ニシマスガ、之ニ
關聯シテ色々ノ原料ノ工業モアリマセウシ、
或ハ耐火煉瓦、其ノ他之ニ關係シテノ原材
料ヲ造ル方面ニ於ケル事業ガ、矢張り製鐵
事業ト歩調ヲ一ニシテ、生産ガ増強サレテ
行カナケレバナラス、從ヒマシテ謂ハハ五
ツノ産業ガ頂點ニ立ツテ、其ノ下ニ澤山ノ產
業ガクッ附イテ居ルト云フノガ先ヅ大體ノ
狀況ガラウト思ヒマス、併シ同時ニ又全然
又ハ比較的此ノ五大産業ト關係ナシニ存在
ヲシテ居ル一連ノ産業モアラウカト思ヒマ
ス、從テ關係ノナイ産業ノ部面ガドウシテ
モ影響ヲ受ケルコトガ大きいト思フノデア
リマス、此ノ影響ニ對處シマシテハ出來ル
ダケ其ノ影響ガ急激ニ起ラナイヤウニシタ
イト云フノガ政府ノ考デアリマスガ、同時
ニ起ツテ來ル影響、犠牲ト云フモノニ對シ
テハ強力ナル方策ヲ講ジマシテ、是ガ産業
界全般ニ不安ヲ起シ、經濟界ニ混亂ヲ醸ス
ヤウナコトヲ起シマシテハ、五大産業ノ生
産増強モ、其ノ爲ニ却テ支障ヲ來スト云フ

ヤウナ虞モアリマスノデ、是等ニ付キマシテハ十分ナ方策ヲ政府トシマシテモ考究致シマシテ、遺憾ノナイヤウニ致シタイト思フノデアリマス、ドウ云フ産業ガ最モ犠牲ヲ受ケルコトガ大キイカト云フコトニ關シマシテハ、一應私共ノ方ニ於キマシテモ考究ハ致シテ居リマス、唯今日ソレヲ公ニ致シマシテ、斯ウ云フモノガヒドイゾト云フコトヲ警告スル事柄ハ、色々ナ關係カラ適當デナイト思ヒマスノデ、此ノ後ハ速記ヲ止メテ戴キタイト存ジマス

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ止メテ

(速記中止)

○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ

○竹下豐次君 此ノ整理統合ヲ御始メニナリマスノハ何時頃カラノ御豫定デゴザイマス、ソレカラ大凡ドノ位ノ期間デ一應整理スルト云フ御豫定デゴザイマス

○國務大臣(岸信介君) 既ニ統制會等ノ結

成サレテ居リマスル重要産業ノ方面ニ於キマシテハ、統制會ト協力致シマシテ具體的ナ案ヲ立テ、之ガ實施ニ當テ居リマス、何時頃迄ニ是ガ終ルカト云フ問題ニ關シマシテハ、事業ノ種類ニ依ツテ色々違フダラウト思フノデアリマス、緊急ヲ要スル部面ノモノハ早クヤリマスシ、サウデナイトモハ少シ長ク掛リマス、成ルベク一時ニ總テノ部面ガ同時ニ大袈裟ナ整理ガ、各地ニ行ハレルト云フヤウナ事柄ハ、産業界ニ相當ナ動搖ヲ與ヘルト思フノデアリマス、出來ルダケ私共トシテハ急イデ早クハヤラナケレバナラヌケレドモ、此ノ與ヘル一般國民ニ對スル感シハ、非常ナ急激デナイト云フ風ニマア考ヘタイト思ッテ居リマシテ、統制會等ヲ動員致シマシテ、既ニ一部著手

致シテ居リマス

○竹下豐次君 今御尋ネ致シマシタノハ、實ハ現在迄ヤッテ居ラレマスル中小商工業者ノ整理、是ハ可ナリ長クオヤリニナリマシタノデスガ、其ノ色々ナ行違ヒト云ッテハ、チョット言葉ガ惡イカモ知レマセヌケレドモ、初メ政府デ豫想サレタヤウニ進マナカッタカノヤウニ承ッテ居リマスルシ、其ノ爲ニ民間ノ方デ不安ヲ感ジタ期間ガ相當ニ長ク續イタヤウデアリマス、今御話ノ趣旨ハ、私結構ダト思ッテ居リマスルガ、其ノ點ヲ御含ミ下サイマシテ、専心セラレテ成ルベク早くト云フヤウナコトニヤッテ戴キタイト思ヒマス、之ヲ御願ヒ申上ゲテ置キマス、ソレカラ犠牲産業者ヲ相當纏メテ南方ノ方ニ送り出シテ、仕事ヲサセル御計畫ガアルノデゴザイマセウカ、何カサウ云フヤウナ噂ヲチョット承ッタノデゴザイマスガ……

○國務大臣(岸信介君) 大陸、南方、大東

亞共榮圈全域ニ此ノ整理サレタ者ヲ出ス、又出テ行キタイト云フ希望ハ相當強イモノガアルノデアリマス、將來大東亞建設ノ前途ヲ考ヘテ見マスルト云フト、相當日本ノ産業ガ是等ノ地ニ伸ビテ行クト云フコトハ、寧ろ望マシイコトナノデアリマス、丁度整理サレテ遊休ニナルモノノ一部ヲ移駐サセルト云フコトハ、其ノ方策トシテ極メテ適切デアラウト思フノデアリマス、今回整理致ス場合ニ於キマシテモ、保有シテ置ク設備ト云フモノハ、將來南方其ノ他ノ地域ニ轉出スル、移駐スルコトモ計畫ノ中ニ入レテ、其ノ保有量ト云フモノヲ決メテ参リタト思フノデアリマス、唯其ノ時期ニ付キマシテハ既ニ一部、或地域ニ於キマシテハ

或種ノ工場、例ヘバ「フイリッピン」等ニ於キマシテ「ゴム」靴ヲ造ル工場アルトカ、或ハ金屬製品ノ家具等ノナニヤッテ居リマス仕事デアルトカ、或ハ修繕ノ仕事デアルトカ云フモノガ、軍ノ要求ニ基キマシテ、一部業者ヲ移駐シタモノモアリマス、併シ軍政ノ段階ト睨ミ合セテ、是ハ實質的ニ決メナケレバナラヌ、尙又設備ダケデナシニ、經營者等ガ参リマス場合ニ於テ、相當現地ノ事情ニモ通曉シ、其處ノ指導的地位ニ相應シイヤウナ鍊成モシテ置カナケレバナラナイノデアリマス、是等ノ點ニ付キマシテモ、政府トシテハ準備ヲ今致シテ居リマシテ、轉廢業スル、整理サレタ人ノ一部ヲ、或機關デ人選ヲ致シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、軍政ノ段階ト睨ミ合セマシテ、適宜ニ一ツ相當是等ノ整理サレタ産業ガ、大東亞地域ニ出テ行クト云フコトニ付テモ考慮シテ参リタイト、斯ウ思ッテ居リマス

○竹下豐次君 中小商工業者ノ整理ニ際シマシテハ色々救済策ヲ講ゼラレテ居リマスガ、此ノ際出テ來マス犠牲者ニ對シマシテハ又チヨット模様ガ違ヒマスノデ、アレト同ジヤウナ救済策ト同ジヤウニモ行カナイト思ッテ居リマスガ、何カ新ナナル御計畫デモアリマスナラバ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 具體的ノ方法ニ付

キマシテハ政府デ目下考究致シテ居リマシテ、今日具體的ニ申上ゲルマダ時機ニ至ッテ居リマセヌガ、中小商工業者ノ場合ニ於キマシテハ、生活ヲ保障スルト云フ事柄ガ相當重要ナ内容ニナルト思ヒマス、大キナ事業等ニ於キマシテハ、其ノ生活問題ハ寧ろ其處ノ從業員カ何カノ問題デアッテ、企業者自體ノ問題ニ付テハサウ云フコトハナイ、

而モ相當之ヲ行ッテ参リマス上ニ於テ、全體カラ考ヘマスト云フト相當大キナ、ヤリ方如何ニ依ルト、金ニ上ルト思ヒマス、サウ云フモノガ唯無計畫デ放置サレルト云フト、産業界全體ニ相當惡イ影響ヲ齎ス虞モアリマスノデ、是等ニ付キマシテハ其ノ救済スル方法、又從ッテ政府ガ支出スル所ノ資金等ノ額ニ於キマシテモ十分「インフレーション」ニ陥ラナイ、惡イ影響ヲ與ヘナイヤウニ考慮シ、而モ一方國策ノ遂行上起ッテ來タ所ノ犠牲デアリマスカラシテ、之ニ對シテハ十分一ツ不安ヲ持タナイダケノ救済ノ途ヲ講ジテ行キタイト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、具體的ノ案ニ付キマシテハ目下考究致シマシテ、近ク何等カノ形ニ於テ現レテ來ルト思ヒマス

○竹下豐次君 救済ニ關シマス點ニ付キマシテノ御尋ハ大體ソレデ終ヘタ譯デアリマスガ、尙此ノ際チヨット御含ミ迄ニ私ノ希望ヲ申述ベテ見タイト思ヒマス、實ハ中小商工業者ノ整理ノ問題ニ付キマシテ、私翼政會ノ其ノ方ノ小委員會ノ委員ニナッテ、其ノ方ノ専門家バカリデヤアリセヌケレドモ、調査シタリシタ人ノ話ヲ聽キ、私自身モ調査シタノデアリマス、貴族院ノ調査會デモ其ノ方ヤリマシタ、色々多數ノ人ノ意見モ聽イテ居リマシテ、マア教ハッタ譯デアリマスルガ、ドウモアノ整理ハ政府トシテハ豫定通りノ效果ヲ收メ得ラレルコトガ出來ナカッタノダラウ、其ノ原因ハ何カト云フト、一度定メラレタ方針ヲ途中デ又變更サレタ、是ガ一ツノ邪魔ニナッテ居ル、ソレカラ各省ノ間ノ步調ガ必ズシモ一致シナカッタ、ソレデ直接其ノ仕事ニ當ッテ居ル地方長官ノ立場ト云フモノガドンナコトニナツタカ、仕

事ガシニクカッタ云フヤウナコトモ一ツノ理由ニナッテ居ル、斯ウ云フ風ニ、其ノ外マア政府ノ本當ノ方針ガ地方ニ滲透シナカッタ、私モは一ツ自分デ打ッ突カッタコトガアルノデアリマスガ、或地方デハ政府ノ方デ人員ヲ充タスコトガ一ツノ目的デアルト同時ニ、他ノ目的トシテ企業ノ整備デ、此ノ目的トスルニ本立ニシテ居リマス譯デス、其ノ儘ニ解シテ居リマセヌデ、矢張り人ヲ出セバ宜イノダト云フヤウニ考ヘテヤッテ居、タ所モアリ、マア色々大體宜カッタと思ヒマスケレドモ、少クトモサウ云フ面ガアッタヤウデアリマス、サウ云フ風ニシテ地方下級ノ官吏ニ政府ノ御意思ガ本當ニ徹底シテ居ナカッタ點モアル、斯ウ云フコトガアル、マア色々アリマシタデセウガ、大體此ノ三ツノ點ガ邪魔シタノデハナイカト云フヤウナ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、此ノ問題ハ、今度ノ整理ニ付キマシテモ、矢張りサウ云フ間違ヒガ起リ得ル性質ノモノデヤナイカト思ッテ居リマスノデ、此ノ點ヲ御聞キノコトト思ヒマスガ、十分御注意ヲ願ヒタイト考ヘル次第デアリマス、委員長續ケテ宜シウゴザイマスガ

○委員長(伯備藩口直亮君) 商工大臣ニドノ位アリマスガ

○竹下豐次君 モウ少シデス

○竹下豐次君 ソレデヤドウ

○竹下豐次君 ソレデヤ鐵ノコトニ付キマシテ御尋ネ致シマスガ、鐵ノ規格ガ區々ニナリ過ギテ居ルノデ、ドウモ其ノ爲ニ生産ノ能率ヲ、妨害シテ居ルコトモアルヤウニ承ッテ居ッタノデアリマス、處ガ近頃承リマス、規格ノ單純化ヲシヨウト云フ御計畫

ガアルト云フコトデアリマス、ソレハ何時頃御決メニナルノデアリマセウカ

○國務大臣(岸信介君) 鐵鋼關係、殊ニ此ノ鋼材ノ規格ガ非常ニ多數アリマシテ、其ノ爲ニ生産ノ能率ヲ非常ニ阻害シテ居ル所ガアルノデアリマス、之ヲ統一シナケレバナラナイト云フコトハ、色々各方面カラ要望サレテ居ル所デアリマス、處ガ今日御承知ノ通り、鋼材ノ需要ノ非常ニ大キナモノハ陸海軍、軍需方面ノモノガ非常ニ多イノデアリマシテ、又造船ノ關係モ相當ニ纏々大キナモノガアルノデアリマスガ、既ニ造船ノ方面ニ於キマシテハ、元來造船自體ノ計畫ヲ單純化サレテ、簡易ノ造船ト云フコトニ力ヲ入ラレ、從ッテ之ニ要スル資材ト云フモノモ、從來ノ如キ規格デハナクシテ、極ク單純化サレテ而モ規格ノ程度ヲ下ゲタモノノ宜イコト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、此ノ造船用資材ノ規格ニ付キマシテハ、今著々何ガ行ハレテ居リマス、陸海軍ニ於キマシテモ、軍需品ノ規格ニ付キマシテモ、陸海軍トモ從來動モスルト、陸海軍別々ノ規格デアリ、又陸海軍内部ニ於キマシテモ、非常ニ複雑ナル規格ヲ要望サレテ居ッタノデアリマスガ、一方只今直接兵器ニ用ヒラレル特殊ノ部分ニ付キマシテハ、規格ハ飽ク迄段々精密高度化シテ來ル傾向ガアリマスガ、其ノ他ノ分ニ於キマシテハ、成ルベク陸海軍共通、而モ規格ヲ單純ニ致シマシテ、色々方面ニ供用出來ルヤウナ規格ニシテ貰フコト云フ考ノ下ニ、既ニ「パイプ」類等ニ付キマシテハ、從來ノ規格ヲ著シク單純化シタ規格ノ下ニ、陸海軍トモ此ノ方面ノ製品ノ單純化ヲ圖ラレテ居リマス、尙併シ其ノ他ノ部門ニ付キマシテモ、關係

方面ガ協力致シマシテ、著々此ノ生産増強ニ必要ノアル、單純化スコトノ必要ガ痛感サレテ居ルモノカラ著々手ヲ著ケテヤッテ參ル積リデアリマス、現ニヤッテ居ル狀況デアリマス

○竹下豐次君 特殊鋼ノ現在ノ狀況ヲ技術的ニ一々詳シク説明ヲ願フ譯デモナイノデスガ、特殊鋼ガドウモ「アメリカ」アタリニ比ベテ良イモノガ出來ナイノダト云フ噂ヲ能ク聞カサレマスノデ、處ガ大臣ハ御存ジダラウト思ッテ居リマスガ、嘗テ八幡ノ製鐵所ノ技師アタリデハ、特殊鋼ノ必要性ヲ餘程前ニ認メテ、是非之ヲ研究シナケレバナラナイト云フコトヲ主張シタ時ガアルノデアリマススケレドモ、ドウ云フモノカソレガ容レラレナイデ、長イ間マア特殊鋼ソナモノハ外國カラ買ヘバ宜イノダト云フヤウナザックバラシニ言ヘバサウ云フヤウナ取扱ヲ受ケテ長イ間續イタ、只今特殊鋼ノ製鋼所ガ幾ツカアルマススケレドモ、マダ此ノ國家的ノ研究ト申シマスガ、サウ云フ點ハ餘程力ヲ入レナケリヤ足リナイノデヤナイカト云フヤウナコトヲ心配シテ居ル向ガアルヤウデアリマス、何カ新シイ御計畫デモゴザイマスガ

○國務大臣(岸信介君) 御話ノ如ク此ノ特殊鋼ハ、從來鐵鋼部門ニ於キマシテモ、我々國ニ於テ遲レテ居タ部門デアリマス、ソレハ比較的此ノ數量ガ少イ爲ニ、成ルベク外國カラ自由ニ入ッテ居ル時ニハ、外國カラ買ハウト云フヤウナ傾向ガアリ、ソレカラ御承知ノ通り、特殊鋼ノ鋼源トシテ、若シクハ之ニ混ゼル色々特殊ナ金屬等ノ日本ニ於ケル生産ガ少イト云フヤウナコトカラ、自然製品デ輸入スルト云フヤウナ傾キガ從來アッ

タノデアリマス、支那事變前後カラ急速ニ國內ニ於キマシテ、特殊鋼ノ事業ガ勃興致シテ參ッタノデアリマス、特ニ軍需上必要ナ部分ニ於キマシテ、特殊鋼ニ對スル需要ガ急激ニ激増致シマシタノデ、之ニ應ジテ此ノ特殊鋼ノ事業ト云フモノモ、アッチコッチニ非常ニ澤山起ッテ參ッタノデアリマス、供シ今日ニ於キマシテハ、色々研究モ、相當支那事變前ト比ベテ見マスルト進ンデ參ッテ居リマスガ、我が國ノ最モ缺點トサレル一ツノ大キナ點ハ、出來マシタ製品ノ「ユニフォームテイ」ト申シマスガ、是ガ缺ケテ居ル、即チ特殊鋼ノ大量生産ト云フモノガ出來テ居ラナイ、各種ノ工場デ出來マスル特殊鋼ノ品質規格ト云フヤウナモノガ、ソレハ「特長ハ持ッテ居ルケレドモ、非常ニ特殊ナモノデアッテ、今日ノ如キ色々兵器其ノ他ノ特殊鋼ヲ要スルモノニ於キマシテモ、大量生産ヲ必要トスル所ノ原材料トシマシテ、材料ノ「ユニフォームテイ」ヲ缺イテ居ルト云フ事柄ハ、非常ナ支障ナノデアリマス、是ハ比較的小サイ設備デ、色々區々ノ技術デヤッテ居ルト云フ點ニ其ノ缺陷ガアルノデアリマス、從ヒマシテ或程度矢張り、今日ノ狀況迄來マス、澤山アル特殊鋼ノ工場ヲ適當ニ整理致シマシテ、統合スベキモノハ統合シ、或ハ他ノ會社ト密接ナル關係ヲ持チ、技術的ナ關聯ヲ持ツモノハサウ云フヤウニ統合シテ行クト云フヤウニ指導致シマシテ、特殊鋼界全體ノ敷理必ズシモ是ハ工場ヲ潰ストカ何トカ云フコトデナイノデアリマスガ、謂ハハ無計畫ニ濫立シテ居ルモノニ系統ヲ與ヘテ、サウシテ技術指導並ニ製品ノ規格ニ付キマシテモ、今最モ缺陷トサレテ居ル「ユ

ニフオーミテイ」ト云フモノヲ相當保ツヤウニ指導シテ參ルト云フコトガ、最モ必要デアラウカト思ヒマス、唯今日非常ニ苦シイ立場ニアリマスノハ、從來此ノ特殊鋼ノ原料トシテ上等ノ「スクラップ」ヲ外國カラ輸入シテ居タモノガ、マダ「ストック」ガアツタノデ之ヲ用ヒテ居タノデアリマスガ、段段是ガナクナツテ參リマスノデ、最近ハ矢張り特殊鋼ノ元デアル所ノ「スクラップ」ニ代ルベキ原料ヲ必要トスルモノデ、色々ナ純鐵ヲ造リマスル各種ノ方法、若クハ特殊鋼ノ原料トシテ「スポンヂ・アイアン」、其ノ他ノ特殊ナ物ヲ造ツテ行ク方法ト云フモノハ段々發達致シテ居リマスガ、マダ其ノ方面ノ規模、内容ガ充實致シテ居ラナイノデアリマシテ、此ノ方面ニ今後特別ニ力ヲ入レテ行ク必要ガアルダラウト同時ニ、此ノ目下ノ必要ニ應ジマス爲ニハ、矢張り優良ナ「スクラップ」ヲ回收シマシテ、此ノ特殊鋼製造方面ノ原料ニ供給シテ行クト云フヤウナ點ニ付キマシテ考ヘテ居ル次第デアリマス

○竹下豐次君 新聞デ見タノデアリマスルガ、製鐵ノ方法ヲ、何ト云ヒマスガ、新シイ今迄ナイ特長ノアル方式ノ鑄鐵爐ヲ拵ヘテ、盛ニ生産スルヤウニシタイト思フト云フヤウナ風ノ御話ガ、政府筋カラアツタト云フコトヲ見掛ケマシタガ、又技術院總裁ノ御話ノ中ニ、大連ノ上島サシノヤツテハ鑄鐵爐ノ製造狀況ガ大變成績ガ良イヤウデアアル、尙研究中ダト云フヤウナ風ノ御話ガアツタヤウニ書イテアリマス、ソレカラモウ一ツハ、砂鐵ハ幾ラデモアルノデ、此ノ砂鐵ノ工場ヲ方々ニ作ル政府ノ計畫ガアラシイ、斯ウ云フコトモ伺ツテ居リマス

ガ、今迄何處ニモナク日本獨得ト申シマスルカ、新シイ方式ドウント増産スルノダト云フ政府ノ見當ト云フモノハ、此ノ二ツカ、或ハ此ノ中片方ダラウト思フ、外ニハ色々方法ハナイダラウト想像シテ居ルノデアリマスルガ、サウダトシマスレバ、何レモ研究中ナノカモ知レマセス、研究中デアリマシタナラバ、何處迄カ政府ノ方デシツカリ肚ヲ決メテ、ウント乗り出シテオヤリニナル積リデアルカ、是ハ技術ノ關係デ、期限ヲ切ツテ御伺ヒスルコトハ甚ダ非常識デセウガ、斯ウ云フ際デアリマスカラ、分ラナイノダトモ言ツテ居レナイ問題ダト思ヒマス、御差支ガナイナラバ、其ノ御見込ヲ研究ノ程度、ソレカラ増産ノ量、見込ニ付キマシテ、是ハ私等トシテハ非常ニ頼リニナルコトト思ツテ居リマスノデ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(岸信介君) 近時鐵ノ生産ニ付キマシテ、從來ノ鑄鐵爐ノ方法ニ依ルモノ以外ニ色々新シイ研究ガ各方面ニアツテ、是等ガ問題ニナツテ居ル譯デアリマス、併シ申上ゲル迄モナク、今年度及來年度ト云フ此ノ緊迫シタ重大時期ニ於ケル鐵鋼ノ基礎トシテ之ヲ確保スル問題ニ付キマシテハ、何ト申シマシテモ、現在アル所ノ鑄鐵爐ヲ出來ルダケ十分ニ働カスト云フ事柄ニ一番力ヲ入レルベキモノデアルコトハ言フヲ俟タナイト思フノデアリマス、何トナレバ、是ハ設備能力トシマシテハ既ニ非常ナ數ガアルノデアリマシテ、現在ノ需要ニ十分當ル何ガアルノデアリマスケレドモ、其ノ何十「パーセント」トカ、其ノ他ノモノガ輸送ノ關係其ノ他ニ於テ動力ナイト云フ狀況デアリマスルノデ、輸送力等ガ許ス

限リニ於キマシテハ、之ニ原料ヲ持ツテ來テ、之ガ増産ヲ圖ルト云フコトガ第一デナケレバナラヌト思フノデアリマス、第二ニ考ヘルベキモノハ、矢張り「スクラップ」ノ回收ニ依ツテ、此ノ「スクラップ」法ニ依ル製鐵ノ問題デアリマス、是ハ御承知ノ通り、既ニ日本ノ鐵工業ト云フモノハ、從來「スクラップ」ニ相當依存シテ居リマシテ、其ノ設備、技術其ノ他最モ容易デ、「スクラップ」サヘアレバ鐵ガ出來ルノデアリマス、此ノ「スクラップ」ノ回收ト云フコトガ最モ大事ナノデアリマス、斯ウ云フ狀況デアリマスルノデ、現在色々ナ新シイ方法ハ研究サレテ居ルガ、實施サレルコトハ結構デアリ、是等ノ方面カラ鐵ガ出テ來ルコトハ結構デ、政府トシテハ、サウ云フモノヲ助成シ、援助スルコトハ當然デアリマスガ、唯之ヲ作リマス爲ニ輸送力ノ點トカ、或ハ原材料ノ點ニ於テ、今申シマシタ却テ鑄鐵爐ガソレダケ動力カナナル、鑄鐵爐ニ運ブベキ石炭ガ鑄石ノ輸送量ヲ取ツテ、是等新シイ是カラ出來ル研究ノ方ニ向ケルノダト云フコトハ、此ノ緊迫シタ時代カラ言ツテ適當デナイ、從ツテ今申シマシタ飽ク迄此ノ基本ヲ中心ニシテ之ニ支障ヲ與ヘナイ、「プラス・アルファ」ト云フコトデアルノハ多々益辨ズルト云フノデ、是ハ政府トシテハ重視スベキモノダト思ヒマス、從來ナカッタ新シイ方法トシテ、サウ云フ見地カラ先ヅ相當大キク取上ゲラレ得ルモノハ、言フ迄モナク固ヨリ鑄鐵爐ノ問題デアリマス、是ハ建設ニ著手シテ完成迄比較的短イ期間ニ出來ル、特ニ原料ガアル大陸方面ニ建設シテ、從來ノ石炭、鑄石ヲ持ッテ來ルヨリ、銑鐵ニシテ持ッテ來ル方ガ、輸送量ヲ輕減スルト云フノデ、朝鮮、臺灣、

滿洲、北支、中支等ニ相當量ノ小型鑄鐵爐ノ建設ヲ考ヘテ居リマス、著々進行致シテ居リマス、恐ラク今ノ豫定デアリマス、五月ニハ其ノ一部ガ火ガ入ル豫定デアリマス、是ハ最モ私共今迄ナカッタモノトシテ、新シク今度考ヘタ方法トシテ、一番期待シテ居ルノデアリマス、其ノ外ニハ新聞ニモ出テ居リマシタヤウニ、砂鐵ヲ利用スル方法、是モ從來研究シテヤツテ來テ居タモノアルノデアリマスガ、斯ウ云フモノハ既ニ設備ノアルモノハ、ソレデ動力シテ參リマスガ、其ノ外ニ新タニ考ヘラレテ居ル方法、所謂「ミット」法ト云ヒマスガ、私モ技術ノ方ハ餘リ詳シカリマセスレドモ、特殊ノ藥品ヲ用ヒマシテ、瞬間的ニ非常ナ高温度ヲ出シテソレヲ還元スル方法、是ハ實驗的ニハ出來上ツテ居ルノデ、之ヲ或規模ニ於テヤル、又餘剩電力ヲ使ヒマシテ、低周波ノ電氣製鍊ノ方法、是モ實驗的ニハ二三ノ工場ニ於キマシテ出來テ居ルノデアリマス、是等モ何レモ現在ノ鑄鐵爐ヲ動力カニ必要ナ輸送力ヤ資材ノ邪魔ヲシナイト云フ範圍内デ考ヘラレテ居ルノデアリマス、又大連ノ上島ノヤツテ居リマスル製鍊ニ付キマシテモ、過般技術院其ノ他ノ方面カラ技術者ガ行キマシテ、是等ヲ檢討ヲ致シテ、其ノ報告ニ依レバ、極メテ、從來利用サレナカッタ水分ノ多イ褐鐵礦ヲ利用シテ、純鐵ニ近い鐵ヲ造リ上ゲルト云フコトニ付テ、極メテ好成绩ヲ擧ゲテ居ルト云フ技術的ノ報告ガアリマシタガ、是等ニ付キマシテモ、今申上ゲマシタヤウナ條件ノ下ニ、是等ノ建設ヲ進メテ行キタイト思フテ、居リマス、從ヒマシテ此ノ數量ヲ今日ドレダケアルト、殊ニ物動ナリ本年度ノ生産力

午後五時二十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵溝口 直亮君
副委員長 織田 萬君
委員

侯爵西郷 從德君
侯爵淺野 長武君
子爵織田 信恒君
男爵赤松 範一君
伍堂 卓雄君
男爵山中秀二郎君
男爵近藤 滋彌君
山岡萬之助君
瀧 正雄君
竹下 豐次君
野田六左衛門君

國務大臣

內閣總理大臣兼
陸軍大臣 東條 英機君
國務大臣 鈴木 貞一君
商工大臣 岸 信介君

政府委員

法制局長官 森山 銳一君
法制局參事官 佐藤 達夫君
企畫院部長 柏原兵太郎君
技術院總裁子爵 井上匡四郎君
陸軍主計中將 栗橋 保正君
海軍主計中將 武井 大助君
商工省交易局長 山口 喬君
商工書記官 赤間 文三君
燃料局長官 楠瀬 常緒君
物價局長官 菱沼 勇君

擴充ノ基礎トシテ、ドノ點迄認メテ行クカ
ト云フ點ニ付キマシテハ尙研究スベキ點モ
アリマスルノデ、私共明確ニ申上ガ兼ネル
點ガアリマスガ、唯政府トシマシテハ、是
等ノ色々ナ方法ハ、恐ラクソレカラ出テ來
ル鉄鐵ノ原價、鐵鋼ノ原價ハ相當高クナル
ノデハナイカト思ヒマス、併シナガラ高ク
ナリマシテモ、經濟的ノ點ニ付キマシテハ、
十分其ノ原價ニ引キ合フダケノ價格デ買ヒ
取リマシテ、サウシテ鉄鐵全體ヲ「プール」
シテ、適當ナ値段デ拂下ゲル、從ッテ其ノ間
ノナニニ對シマシテハ、補償金等ノ制度ノ運
用ニ依リマシテ、生産者ニ對シテハ經濟的
ニ引キ合ハナイ不利ナ事情ハ十分「カバー」
シテヤル、サウシテ建設方面ニ付キマシ
テモ、從來ノ遊休施設ヲ利用スルトカ、或
ハ其ノ他ノ點ニ於キマシテ政府ガ援助スベ
キ事柄ニ關シマシテハ有ラユル角度カラ援
助ヲシテ參ル積リデアリマスガ、今申シマ
タヤウナ意味ニ於テ、本年度ノ物動ノ最モ
確實デ而モ多量ノ基礎ハ、矢張り從來ノ鑛
鑛爐、「スクラップ」及ビ小型鑛鑛爐ニ之ヲ期
待シテ居ル譯デアリマス
○竹下豐次君 實ハマダ御尋ネシタイコト
モナイデハアリマセスガ、時間モ遅クナリ
マシタカラ、大臣ニ對スル御尋ハ之デ終リ
マス
○委員長(伯爵溝口直亮君) ソレデハ商工
大臣ニ對スル御質問ハ外ニ別ニゴザイマセ
ヌカ、速記ヲ止メテ……
(速記中止)
○委員長(伯爵溝口直亮君) 速記ヲ始メテ、
本日ハ此ノ程度ニ於テ散會致シマシテ、次
會ハ來ル二十七日土曜日午前十時ヨリ開會
致シマス